

ロータリーの友

# Rotary

JAPAN

[www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)

5

2024

May

青少年奉仕月間

青少年の育成を  
支援すること

パキスタンのポリオ最前線

もっと知りたいパキスタン





# ラーニングセンターで リーダーシップの スキルを磨こう

オンラインコースで、活動や仕事に役立つスキルを  
磨き、リーダー職への就任に備えましょう。  
いつでもどこでも 自分に合ったペースで学べる  
コースが豊富に用意されています。

## 参加型の学びを体験

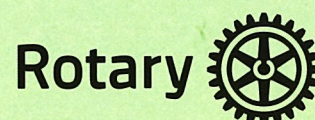
- インタラクティブな学び
- 学んだことを「知識チェック」で確認
- 進み具合を確認、バッジ・ポイント・  
修了証を取得

## 各自の学習ニーズに合った方法で

- 学習プラン：役割やトピックごとに  
関連コースをまとめた便利なプラン
- 学習トピック：特定の主題についてユ  
ーザーが投稿したリンク、資料、コー  
スのコレクション



会員ならどなたでもラーニングセ  
ンターのコースをご利用いただけ  
ます。早速[rotary.org/learn](https://rotary.org/learn)を  
ご利用ください。





# CONTENTS

5 月は 青少年奉仕月間

## RI 会長メッセージ ..... 4

RI 会長 ゴードン R. マッキナリー

## 特集 青少年奉仕月間 ..... 7

### 青少年の育成を 支援すること

RYLA セミナー

第 2820 地区 / 第 2660 地区

青少年との適切な距離を知りましょう

## 特集 パキスタンのポリオ最前線 ..... 14

### もっと知りたい パキスタン

## 特集 能登半島地震 ..... 18

### 応援します！ 能登

大阪中央 RC 高垣知佳 / 熊本南 RC / むつ RC /  
中津 RC / 高山西 RC / 御坊南 RC / 富良野 RAC /  
和歌山市内 9 RC / 花園高等学校 IAC / 京都落西 RC・  
京都洛西 RAC / 第 2830 地区中グループ /  
大館市内 4 RC

## 視点 ガバナーのロータリー・モメント ..... 23

第 2650 地区 中野博美 / 第 2660 地区 延原健二 /  
第 2670 地区 吉岡宏美 / 第 2680 地区 安行英文 /  
第 2690 地区 石倉貞昭 / 第 2700 地区 吉田知弘 /  
第 2710 地区 井内康輝 / 第 2720 地区 膳所和彦 /  
第 2730 地区 池ノ上克 / 第 2740 地区 緒方信行

## ロータリー地域雑誌編集者セミナー ..... 28

### Rethinking the Magazine

雑誌を再考する

### 雑誌は学びとインスピレーションを与える

ロータリーの友委員会委員長 高野孫左エ門

## よねやまだより ..... 30

米山から世界の町へ ③

カザフスタン・アルマトイ

## 地区大会略報 V ..... 39

第 2750 地区 / 第 2580 地区 / 第 2680 地区

## ELEVATE ROTARACT ..... 40

堺ローターアクトクラブ

## NEW GENERATION ..... 41

インターアクター 小屋くるみ /

ローターアクター 柿本知樹

- 6 ● ロータリーとは
- 32 ● People of action around the globe
- 34 ● ROTARY AT WORK
- 42 ● パズル de ロータリー / 詰め碁
- 43 ● エバンストン便り
- 44 ● 2024 年国際大会 RI  
● 財団管理委員長からのメッセージ RI
- 45 ● 内外よろず案内 / パズルの答え / 詰め碁の答え /  
障害者施設(作品)情報募集
- 47 ● お知らせ 新 IAC / 『友』誌上半期ご購読数の変更につ  
いて / 地区別クラブ数・会員数一覧表 / 『友』6 月号主要記事予定
- 48 ● 日本ロータリー分布図 / 奥付
- 49 ● 投稿規定

● 本誌中の RI は国際ロータリー、RC はロータリークラブ、RAC はローターアクトクラブ、IAC はインターアクトクラブの略です。  
● 縦組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。 ● 本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。  
● 公式ロゴ、誇りのシンボル、簡易公式ロゴ、および ROTARY は、国際ロータリーが保有する商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。





## The first glimmers of a lasting change

I am deeply gratified by Rotary magazine's focus on mental health in this edition — and I'm ecstatic about the enthusiasm shown across the world in the past year to better support the mental health needs of each other and the people we serve.

In January 2023 when I first spoke about the need for Rotary to become more engaged on this crisis, I noted that the global mental health system couldn't be described as broken only because it didn't exist. But I also offered a highly aspirational wish that Rotary could help build that system.

The first glimmers of this vision have been brought to light by you in dozens of mental health projects. But just as important is the invitation many of you have given to fellow Rotary members to share their stories.

I am impressed by the leadership young Rotarians and Rotaractors have shown, and some of their brave, inspiring stories are highlighted in these pages. Former Rotaractor Freddie Almazan has an especially powerful personal narrative that you can learn about here — and hear firsthand at this month's Rotary International Convention in Singapore.

You can read in this issue about a great example of a project with the kind of sustainable impact that creates lasting change: Rotary clubs in Colorado endowing a pediatric mental health fellowship at Children's Hospital Colorado.

At the convention, you can also hear from 2024 People of Action honorees lauded for the impact they and their clubs have made through mental health initiatives. Bindi Rajasegaran will talk about a Rotary-led project in Malaysia helping children develop skills to cope with mental health challenges and building capacity for support throughout the country.

In addition, Rita Aggarwal, an officer of the Rotary Action Group on Mental Health Initiatives, will be recognized for her success in applying the Wellness in a Box framework, a mental health literacy approach for adolescents, in her hometown of Nagpur, India. Read about the project in the "Stand by me" feature. This highly scalable and clinically backed framework can be adapted for use just about anywhere — reach out to the action group if your club would like to support or implement it.

As we look ahead, the Rotary Action Group on Mental Health Initiatives will play a critical leadership role in promoting proven, measurable projects. In doing so, it will empower clubs to focus on initiatives that drive scalable, sustainable impact.

After you've read through the magazine, I invite you to go to the Learning Center on My Rotary and check out the Increase Your Impact series, which includes a wonderful short video explaining impact. When we focus on impact, we bring Rotary's vision statement to life, creating lasting change across the globe, in our communities, and in ourselves.

**R. Gordon R. McInally**  
President, Rotary International



# PRESIDENT'S MESSAGE

RI会長メッセージ



## 持続的な変化の兆し

この1年間、ロータリーの雑誌でメンタルヘルスにフォーカスを当てて掲載したこと、そして、皆さんが世界中で熱心にこの問題に取り組んでくださったことを心から感謝しています。

ロータリーがこの問題に、もっと積極的に取り組むべきだと私が初めて発言したのは2023年1月です。その時、世界的なメンタルヘルスシステムが存在しないからといって、機能していないとは言えないと指摘しました。同時に、ロータリーがそのシステムを築く力になれるのではないか、という強い希望も伝えました。

この希望が現実になる兆しが最初に見えたのは、皆さんが立ち上げた何十件ものメンタルヘルスプロジェクトに出合った時でした。また、多くの皆さんが、その諸活動を人々に伝えるよう、仲間のロータリー会員に勧めてくれたことも、同じくらい重要です。

若いロータリアンとローターアクターが示したリーダーシップ、そして、その勇敢で感動的なストーリーに私は心から感銘を受けました。元ローターアクターのフレディ・アルマザンさんは今月、シンガポールで開催される国際大会でその力強い生きざまを語ってくれます。

アメリカ・コロラド小児病院で小児精神保健のための奨学金を提供しているコロラドのロータリークラブのプロジェクトは、人々や地域社会に持続可能なインパクトをもたらし、永続的な変化を生み出す好例といえます。

国際大会では、メンタルヘルスに関する取り組みで大きなインパクトをもたらし、1月に「2024年世界を変える行動人」として表彰された人たちの話も聞くことができます。ビンディ・ラジャセガランさんは、マレーシアの子

もたちがメンタルヘルスの問題に対処するスキルを学べるよう支援し、それを全国的な支援体制として強化したプロジェクトについて話してくれます。

また、メンタルヘルス・イニシアチブのロータリアン行動グループの役員であるリタ・アガルワルさんは、出身地のインド・ナグプールで、青少年のメンタルヘルスに関する「Wellness in a Box」と名付けたツールキットを開発、活用したたことにより、この表彰を受けました。臨床的に実証されたこのキットは、世界のどこでも応用できます。支援や実施に関心のあるクラブは、同行動グループまでご連絡ください。

今後、このグループは、実証済みの測定可能なプロジェクトを推進する上で、リーダーシップを発揮していくことでしょう。これにより、各クラブが拡大可能で持続可能な成果を生むイニシアチブに取り組む力も高まるはずです。

この雑誌を読み終えたら、My ROTARYのラーニングセンターにアクセスし、短い動画を含む「より大きなインパクトをもたらす」を、ぜひチェックしてください。皆さんもインパクトに焦点を合わせれば、「世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生む」というロータリーのビジョン声明を形にすることができます。

**ゴードン R. マッキナリー**

2023-24年度 国際ロータリー (RI) 会長



### ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするロータリークラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数36,902、会員総数1,177,787人（2024年3月19日国際ロータリー公式発表）に達しています。このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

なお、世界中のロータリークラブとローターアクトクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

### 日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,204、会員数84,254人（2024年2月末現在）となっています。



### 世界に希望を生み出そう

#### ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

#### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



特集 青少年奉仕

# 青少年の育成を 支援すること



PHOTOGRAPH: ROTARY INTERNATIONAL

ロータリーの青少年の育成を支援するプログラムは多彩です。その一つ、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA = Rotary Youth Leadership Awards）は、1959年にオーストラリアで催されたセミナーを起源とし、リーダーシップスキルと人格を養いながら、ロータリーについて学ぶ集中研修プログラムです。ロータリアン自らがプログラムを組み、寝食を共にするなどして世界各地で若者育成に取り組んでいます。クラブ、地区、または多地区合同の規模で実施が可能です。

RYLAの取り組みを紹介するとともに、青少年と接するに当たり重大な責務である青少年保護について学びます。



## 第 2820 地区

### 第 44 回RYLAセミナー

「VUCAの時代をどう生きるか」

2023 年 12 月 16 ~ 17 日 (1泊2日)

受講生 : 24 人 ロータリアン登録者数 : 40 人

開催場所 : 水戸市少年自然の家

「コロナ禍でも青少年に学びの場を提供したい」。第 2820 地区は完全オンラインやハイブリット形式など工夫して、欠かさずセミナーを開催してきました。昨年度までは「SDGsを学ぼう」を掲げていましたが、今年度は、先の見えない時代を生き抜くにはどうしたらいいか、というさらに難しい課題に挑戦しています。

## スケジュール

### 1 日目

9:00 開講式

9:30 レクチャー

①

10:30 スポーツ

12:00 昼食

13:00 レクチャー

②

13:50 レクチャー

③

15:30 感想発表

15:55 グループ  
ディスカッ  
ション

17:20 夕食

18:30 キャンプ  
ファイア

19:40 入浴  
グループ  
ワーク①

22:00 消灯

## プログラム内容

### レクチャー①「出会いのオリエンテーション」

コミュニケーション能力向上研修を行う、産業カウンセラーの星野幸子(水戸西RC) 講師から、他人の意見に耳を傾けること、積極的に発言することなど、参加の心得を学ぶ。名刺で自己紹介を実施 (写真上)

### レクチャー②「多様性」

弁護士の渡部俊介(石岡 87 RC) 氏から多様性、他人を尊重することを学ぶ。人権について考え、差別・偏見のない社会の実現に向け、できることを考えてもらう

### レクチャー③「未来を創るリーダーシップ」

経営品質、リーダーシップを専門とする鬼澤慎人氏による「VUCAの時代」の講演。WBC野球日本代表の成功の秘訣など実例をもとに、これからの生きる目標を定めてもらう

\*先行き不透明、将来の予測が難しい状態。ビジネス用語。Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(あいまい性)の頭文字をとった造語。

・初めは周りの方々と打ち解けられるか心配でしたが、皆さん話しかけやすくて意見もはきはき伝えてくださって、楽しくて実りが多かった。今回はグループの方と仲良くなるのに必死になってしまったので、次回参加する時はこれまで以上に視野を広く持って、多くの方と積極的に関われるようにしたいです



スポーツ鬼ごっこ

・WBCの日本代表監督の「役割を決めてしまうのは駄目である」という言葉が一番心に残っている。リーダーシップはリーダーだけに必要なものではなく、チームの全員に必要であり、チームの目標や目的をもって活動するのが良いことだと分かった  
・名前すら聞いたことのなかった「VUCA」について、理解し意見の共有ができて良かったです



ローターアクト主導  
でキャンプファイア

# RYLA

ってなあに？

ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)は、14~30歳の若い世代を対象とした短期集中型のリーダーシップ育成プログラムです。クラブ、地区、または多地区合同で運営され、参加者が新しいスキルを学びながら、地域社会と関わり、個人的・職業的に成長できる機会となります。

RYLAの運営者は、参加者の対象年齢、地域社会の具体的なニーズや関心に合わせて、行事の内容と形式をカスタマイズできます。プログラムの種類には、ワークショップ、参加型アクティビティ、プレゼンテーションや講演などがあります。中・高生、大学生、さらには若い社会人を対象とす



## 2 日目

6:30 起床  
ラジオ体操  
7:00 奉仕活動  
自由散策

8:00 朝食

9:00 グループ  
ワーク②  
発表準備

12:00 昼食

13:00 グループ  
発表②

14:00 審査

14:50 閉講式  
成績発表・  
表彰式

15:30 終了／解散



2 日目は早朝のラジオ体操からスタート



準備したプレゼンテーション資料を使い、各グループ持ち時間 15 分で発表



- ・リーダーは自分自身をもリードし、組織をまとめる力が必要だと学んだ
- ・各グループでフォーカスした点が異なったり、共通したりすることが印象に残った



食事もしっかり取って研修に備えます

### ロータリアンの声

- ・スポーツ鬼ごっこで戦術を考え、だんだんと強くなっていく姿は頼もしかったです
- ・修了証を受け取った時の受講生の顔はロータリアンを元気にしてくれます。これからも開催したいと思います
- ・受講生が自分の言葉で発表してくれてうれしい

- ・初めての経験でしたが、他校の人やロータリアンなど、たくさんの人と話をすることができて良かったです。VUCA時代についてあまり触れたことがなかったけれど、今回深く考えることができました。またこのような機会があったら参加したいです
- ・今回の研修は新たな発見ばかり。学ぶことが多くありました。短い時間で 15 分間のプレゼンを考えるというのは初体験でした。自分の考えをまとめて相手に伝えるという、普段だったらあまり経験しないことができました

ることができ、開催日数も自由に決められます。このような柔軟性があるため、参加者のニーズに合う画期的なプログラムを企画することが可能です。

RYLAを通じて、若いリーダーは、地域や世界で変化を生み出すために必要な知識とスキルを身に付けることができます。一方、クラブと地区にとっても、RYLA参加者や学友の持つ新鮮な視点や考え方が得られるというメリットがあります。

国際ロータリー「RYLAの手引き」より抜粋

rotary  
youth  
leadership  
awards

## RYLAプログラムの目的：

- ・若者のリーダーシップスキルを磨き、地域に貢献している若者を表彰すること
- ・若者の心に生涯にわたる奉仕の精神を育み、ロータリーを通じた奉仕の機会へと導くこと
- ・若者のリーダーシップ育成を支援することにより、ロータリーの青少年奉仕を実践すること

-Rotary International



## 第 2660 地区

### 秋のRYLAセミナー

「原点回帰から未来行動へ JUMP!」

2023 年 11 月 3 ～ 5 日 (2 泊 3 日)

受講生：59 人 ロータリアン登録者数：約 270 人

研修会場：大阪リゾートホテル・ロッジ舞洲

ホスト：くずはRC

第 2660 地区は 1976 年、当時の第 366 地区現・第 2640 地区・第 2660 地区) で日本初の RYLA セミナーを開催した先駆的地区。会員がパパやママになって受講者を導くロータリアンパパママ制度を取り入れ、受講生だけでなく、Team RYLA、ロータリアンも共に学び、成長するセミナーです。

### スケジュール

#### 1 日目

11:00 オリエン  
テーション

12:00 昼食

13:00 研修①

15:00 開講式  
研修②

18:00 夕食

19:00 研修③

20:00 座談会

21:00 入浴  
消灯

### プログラム内容

#### 研修①アイスブレイク

断片的な情報を手がかりに、コミュニケーションを取りながらチームで協力して課題に取り組むゲーム「バスは待ってくれない」



目的：互いの個性を知り、スムーズにコミュニケーションを取るためのチームビルディング

#### 研修②基調講演

「夢を実現するメンタルトレーニング」

飯山暁朗氏 (人財教育家)



#### 研修③クロスロード

答えのない二者択一の設問に「Yes」または「No」の判断を下すことで、防災を「ひとごと」ではなく「わがごと」として考え、相互に意見を交わすことを狙うゲーム (写真右)

目的：あらゆる状況を想定し、それを言葉化することで、潜在的な自分の思いに気づき、ディスカッションを通じて、周囲の価値観や考え方を確認し認め合う

### 参加者の声

- ・全く知らない人だけの場所に行き、とても不安でしたが、初めにロータリーの人が話しかけてくれた。同じ班になった人同士、会話がはずんですぐに仲良くなり、お昼ごはんの時はとても楽しかったです
- ・遊びながら頭を使い、班のみんなと距離が縮まり、最初に行うのにふさわしい内容だった

- ・普段聞けない人のすごく貴重な講演を聞いた
- ・何をするにもプラス思考が大切であり、自分のためだけでなく、誰かのための行動が力になるということが学びました
- ・飯山先生から「言葉で伝えることが大切だ」と聞いた時、母の言っていたことは本当なのだと確信した



### 第 2660 地区

## Team RYLA

### 第 2660 地区の Team RYLA とは

第 2660 地区では RYLA セミナー修了生 (ライラリアン) 有志が Team RYLA を結成し、セミナーのプログラム運営に関わっています。

ホストクラブから頂いたテーマを元に、実際のセミナーのリハーサルや実行。また、修了生との交流を通して、学友への招待や Team RYLA への勧誘を行っています。

Team RYLA には長年、RYLA セミナーの運営に携わってきたメンバーもあり、豊富な経験から、RYLA 委員会やホストクラブにアドバイスすることができます。

比較的年齢が受講生に近く、RYLA セミナーを受講した経験もあるため、受講生に近い目線で運営に携わることができます。





## 2日目

7:30 朝の集い  
8:00 朝食  
9:00 研修④  
12:00 昼食

### 研修④マンガ思考

自身の内面をキャラクター化(アウトプット)する考え方。今回は感情のキャラクター化と個人のキャラクター化を体験し、それを元にグループで紙芝居の作成・発表を行う



目的:内面をアウトプットし、潜在的な自分の思いや周囲の考えに気付く。周囲に希望を生み出すためにはどうするかを考え、共有し行動につなげる

## 13:00 研修⑤

### 研修⑤マンダラチャート

過疎など地方特有の問題を抱えた架空の自治体・ライラ市の活性化アイデアを考えるため、マンダラチャートの手法を活用し、目標を達成するために何が必要かを考え、議論した意見を発表

目的:受講生が自らの未来行動の目標を設定し、その目標達成のために自分自身には何が必要か、今後どう進んでいくかなどを考え、具体的な未来行動を実践する

## 16:00 研修⑥

### 研修⑥舞洲の夕陽 明日への叫び



夕日は見られなかったものの、みんなで大声を出しながらポーズを決める絶叫タイムとなり、一体感を得る

17:00 夕食

## 19:00 座談会

21:00 入浴/  
消灯

### ロータリー・パパママとの座談会

事前に研修を受けたパパママロータリアンが班ごとにサポートに入り、カウンセラーとしての役割を務める。毎晩開かれる座談会ではゲームをしたり、一日の振り返りを行うなど、各班それぞれに時間を過ごし、パパママロータリアンはひたすら「口を出さずに見守る」ことに徹する

## 3日目

7:30 朝の集い  
8:00 朝食  
9:00 研修⑦  
12:00 昼食  
13:30 閉講式  
14:00 研修⑧

### 研修⑦グループ発表準備

セミナーの成果について発表するため、班のメンバーで意見を取りまとめ、準備を行う



### 研修⑧グループ発表

3日間の集大成として、参加者が開催テーマに沿ったグループ発表を行う。その成長ぶりに涙するロータリアンも。青少年育成だけでなく、ロータリアンの帰属意識をも高めることができる

16:00 終了/  
解散

### 参加者の声

- ・キャラクターを自分で描くことが面白い
- ・マンガから読み解く心理学を勉強できた
- ・グループワークを通じて自分自身の考えを確認し、相手と意見を共有し合うことで、他の人の考え方を学ぶことができた
- ・みんなのことをもっと知ることができた
- ・分かったつもりでいる感情を、絵で表現すると難しく感じたので感心した
- ・研修意図が分かりやすい上に、班のみんなで楽しめるプログラムだった



マンダラ模様のマス目一つ一つにアイデアを書き込むことで、アイデアの整理や拡大などを図り、思考を深める



ロータリアンと語り合う受講生

### 各班に配置され、寝食を共にした パパママロータリアンの声

- ・Team RYLAが考えたプログラムを経るにつれ成長する姿を誇らしく思い、たくさん刺激を受けました (くずはRC 三好敦子)
- ・リーダーシップを育むため「指示をしない」方針に、最初は意見を言いたくなりストレスに。ところが2日目以降、自主性を発揮する受講生を見て、自社の社員教育を見直すきっかけになりました (くずはRC 駕田進)



グループ発表を行う受講生





## 青少年との適切な距離を知りましょう

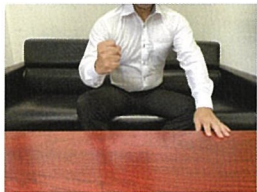
若い人と活動を行う際、世代や文化などの違いから、どう接すればよいかわからないことはありませんか？ 成人と青少年が接する際には、適切な行為と不適切な行為があります。明確なルール化は難しいものの、国際ロータリーが例示する具体的な行為を元に適切なやり取りを学び、参加者全員が安全かつ安心できる環境を整え、若者がロータリープログラムに参加できるよう支援しましょう。

国際ロータリー「ロータリー青少年保護の手引き」より作成

**身体的なやり取り：** 身体的な接触をする前には、常に相手の同意を得てください。また、この同意はいつでも取り消し可能であることを忘れないでください。どのような身体的接触が容認されるかを理解しておくことで、安全で快適な環境をつくり、青少年と成人の双方を守ることができます。

| <b>OK</b> 容認される身体的接触<br>(文化的に適切である場合。相手の同意を得ることが条件)                                                                                                                                                                               | <b>NG</b> 容認されない身体的接触<br>(同意の有無にかかわらず)                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>側面から軽く抱擁（ハグ）する</li> <li>肩や背中をポンと叩く</li> <li>握手する</li> <li>ちょっとした承認・賛意のジェスチャー（親指を立てる、拍手する、など）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>体全体を接触させて抱擁（ハグ）する</li> <li>唇にキスする</li> <li>他の人たちから離れた場所で身体的に愛情表現を示す</li> <li>膝の上に座る</li> <li>冗談で取っ組み合う</li> <li>誰かをおぶったり、肩車したりする</li> <li>くすぐる</li> <li>マッサージをする</li> <li>相手が望まない身体的愛情を与えようとする</li> <li>尻や腰まわり、胸、股間のあたりを触る</li> <li>いかなる形であれ、性的に接触する</li> </ul> |

**言葉によるやり取り：** 成人と青少年の間の言葉によるやり取りを適切なものに保つことは、物理的に適切な境界を保つことと同じくらい重要です。

| <b>OK</b> 容認される言葉によるやり取り                                                                                                                                                                               | <b>NG</b> 容認されない言葉によるやり取り                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>前向きなアドバイスをする</li> <li>一般的に受け入れられる冗談を言う</li> <li>励ます</li> <li>褒める</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>侮辱的な言葉で呼ぶ（「バカ」「間抜け」など）</li> <li>成人が性的な経験や自分の私的な問題について青少年参加者と話す</li> <li>ある物事を秘密にすることを成人が青少年に頼む</li> <li>ののしる言葉を使う</li> <li>差別的な冗談や性的な冗談を言う</li> <li>相手を辱めたり、軽視したりする</li> <li>不安、恐怖、羞恥（しゅうち）心を抱かせる言葉を使う</li> <li>参加者やその家族、文化、宗教的、ジェンダー、性的指向、その他の個人的事情について否定的なコメントを述べる</li> <li>人の容姿や体の発育についてコメントを述べたり、褒めたりする</li> </ul> |

## 青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するよう努める。ロータリアン、そのパートナー、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは心理的な虐待から身の安全を守るため、最善を尽くさなければならない（2019年10月理事会会合、決定58号）。





**一 対一のやり取り：** 成人と参加者が二人だけになる場合、青少年にとって虐待やハラスメントのリスクが高くなると同時に、成人にとって不適切な行為を申し立てられるリスクも高まります。身体的な接触を制限することで、不適切な行為として申し立てられることを防ぐことができます。

| OK 容認される個人間のやり取り                                                                                                                                                                                                   | NG 容認されない個人間のやり取り                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>他の人がいる公の場で会う</li> <li>他の成人に事前に通知することを条件に、教室、事務所などのプライベート（または半プライベート）な場所で会う。その際、ドアを開くなど配慮する</li> <li>事前に承認されていることを条件に、家の中やその他のプライベートな場所で会う（ロータリー青少年交換ホストファミリー宅など）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>未承認の宿泊または浴室・トイレ施設の共同使用を伴う個人的なやり取り</li> <li>他の成人による事前の承認なく、一人の青少年を自動車に同乗させる</li> </ul>  |

**メールやインターネットでのやり取り：** 青少年活動団体の多くは、成人と青少年が私的な目的でオンライン上の連絡をすることを禁じており、連絡する場合、成人をもう一人含めることを義務付けています。

| OK 参加者とのオンライン上のコミュニケーションに関する指針                                                                                                                                                                                                                    | NG 参加者とのインターネット上のコミュニケーションで避けるべきこと                                                                                                                                                                                                  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>連絡の際に、他の会員や保護者に同時送信する（CC欄に追加するなど）</li> <li>非公開グループで複数の参加者と連絡を取る。または、一般に公開されていないウェブサイトやソーシャルメディアページを使用する</li> <li>カウンセラー、アドバイザー、ホストファミリーが青少年と独自に連絡を取れるよう認めることもできる。ただし、プログラムの責任者からの事前承諾が得られた場合に限り</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>辛らつな言葉、強制的な言葉、脅しやプレッシャーを与える表現、否定的なコメントや相手を辱めるコメント</li> <li>性的なコメントや画像</li> <li>事前承認を得ずにボランティアと青少年の間で個人的なメッセージを交換する</li> <li>保護者の同意を得ずに青少年参加者の写真を投稿する</li> <li>写真について不適切なコメントを書き込む</li> </ul> |

**プレゼント：** 贈り物は通常、思いやりや友情の印として贈られますが、心理的拘束、強制的な承認のための手段として使われることもあります。プレゼントの指針も定めておくことが重要です。

| OK 容認されるプレゼント                                                                                                                                                                                                                                         | NG 容認されないプレゼント                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者全員にプレゼントや褒美の品を渡す</li> <li>イベントまたはグループ活動の場で表彰や記念の品を渡す</li> <li>事前に親または他の成人の承認を得た上で、一人の参加者または少人数のグループにプレゼントを渡す</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>事前の承認なく、一人の参加者または少人数のグループにプレゼントや褒美の品を渡す</li> <li>内密にプレゼントを渡す</li> <li>性的志向または性的示唆を含むプレゼントを贈る（衣服など）</li> <li>成人と青少年の間のプライベートな連絡用に使うことを目的に、スマートフォンなどの電子機器を贈る</li> <li>宝飾品、金銭、その他の高価な品を贈る</li> <li>事前の承認なく、旅行、遠足、外食に連れていく</li> <li>酒類、薬物、ポルノ、その他の反道徳的または違法な品を贈る</li> </ul> |

ロータリーは長年にわたって青少年への奉仕を行ってきました。毎年、30万人を超える青少年が、RYLAをはじめ、さまざまな青少年プログラムに参加しています。さらに、数多くのクラブや地区による個人指導、予防接種、職業訓練、識字率向上などのさまざまな活動は、若者や社会的に弱い立場にある人々を支援することを目的としています。

しかし、どのような団体やプログラムでも、虐待の問題や危機的状況が起こる可能性があります。国際ロータリーは、

青少年保護を非常に重大な責任として受け止めています。虐待を防ぎ、虐待があった際に適切な対応を直ちに取れるような安全な環境をつくれるかどうかは、ロータリー会員にかかっています。

-Rotary International

#### ■青少年の保護について学ぶにはこちらから

ロータリーのラーニングセンター「青少年プログラム参加者の保護」→



国際ロータリー「ロータリー青少年保護の手引き」→





# もっと知りたい パキスタン

野生型ポリオ根絶まであと2カ国。その国とは目下、南アジア地域にあるパキスタンとアフガニスタン。なんとなくよく分からない、というイメージがある両国ですが、今回はパキスタンに焦点を当て、2カ月連続で現地の情報やポリオの最前線についてお届けします。

編集・構成＝新見 圭太（編集部） デザイン＝熊谷健太郎（編集部） 写真提供＝チームポリオジャパン

## 国名・国旗

1947年にイギリス領インド帝国から分離独立して生まれたパキスタン。正式名称はパキスタン・イスラム共和国（Islamic Republic of Pakistan）で、首都はイスラマバードです。建国の際、パキスタンに編入された地域は、イスラム教徒（ムスリム）が多数派でした。その地域とは、インドとの間で分割したパンジャーブ（Punjab）、パシュトゥーン人の住居区であるアフガン（Afghan）、世界2位の高峰K2がそびえるカシミール（Kashmir）、世界遺産モヘンジョダロで有名なシンド（Sind）、「イラン系バローチ民族の土地」を意味するバローチスターン（Balochistan）です。これらの地域名の一部を合わせると、パキスタンの国語であるウルドゥー語で「清浄な国」という意味のパキスタン（PAKISTAN）になります。ちなみに、“I”は発音の利便性のために付け加えられたそうです。

国旗は2色で構成されており、イスラム教を象徴する緑色は繁栄を、それ以外の少数派の存在を表す白色で表現し、共存と平和の象徴としています。国旗に描かれて



いる三日月と星はイスラム国家で使用されることが多く、パキスタン以外ではトルコやチュニジア、アルジェリアなどの国旗でも確認

できます。その三日月と星ですが、前者は進歩と発展を、後者は光明と知識を意味します。

## 風土

国土は約79.6万km<sup>2</sup>で、日本のおよそ2倍です。外務省によると、2023年の人口は約2億4,000万人。世界の人口ランキングでは、5位となります。

国土を構成する代表的な地形は①標高7,500m超えの峻峰が19座連なる北部山間部、②中部からアラビア海まで広がる肥沃なインダス平原、③土地の起伏・寒暖差が激しく、非常に乾燥した南部のバローチスターン高原の3種類に大別できます。

気候について「パキスタンってとっても暑いんでしょ？」と思われる人も多いでしょうが、それは半分正解で、半分は間違い。山岳部や砂漠地帯などを除くと、パキスタンには四つの季節があり、1年を通してずっと暑いわけではありません。12～2月は寒く乾燥した冬となり、イスラマバードでは、最低気温が0度近くまで下がることもあります。3～5月の短いうららかな春が訪れた後、ルー（Loo）と呼ばれる熱風が吹き、日中の気温が50度を超える日もあります。6～9月は夏。この時期にモンスーン（季節風）が到来します。しかし、北部の山岳地帯以外では、恵みの雨はあまり期待できま



せん。10～11月は秋で、朝晩の気温が徐々に下がりはじめます。日本では想像ができないような寒暖差を伴いながら、パキスタンの季節は巡るのです。

## 文化・娯楽

パキスタンの国教はイスラム教で、ムスリムは国民の約9割を占めます。聖典はクルアーン（コーラン）で、預言者ムハンマドが40歳から約23年にわたって神から受けた啓示を114章にまとめたものとされています。

宗教的慣習として、日本ではラマダンと呼ばれる断食期間や、豚肉を食べることや飲酒が禁止されていることなどが知られています。しかし、中にはこっそりとお酒をたしなむムスリムも。禁酒の国パキスタンですが、実は1860年創業のマリー・ブルワリーという国内唯一の酒類・販売メーカーがあります。これはパンジャブ地方に駐屯していた英国軍への供給を目的に、英国人が始めた企業です。暑くて乾燥した土地と、軽快な飲み口のビールの相性は言わずもがな。旅行者がパスポートを提示すると、こっそり部屋まで持ってきてくれるホテルもあるそうです。とはいえ、禁酒の国。公共の場での飲酒は慎みましょう。

人生の楽しみの一つは、何ととっても食事でしょう。ソウルフードであるカレーは、味も具材も地域や家庭によってさまざま。少しややこしい話ですが、パキスタンではカレーのことをカライ（Karahi）と言います。カライは、中華鍋のような鉄鍋の名称で、これを用いて具材を煮込んだものを「具材名+カライ」と呼んでいます。



パキスタンの国土と地域

現地の食堂などでパキスタンの方が「チキン・カライ」と口にするのを聞くと、「チキンカレーは辛いんだな。あれっ、パキスタンの方は日本語が話せるのか」と思いますが、これは日本人旅行者によくある勘違いです。

パキスタンで娯楽として人気なのは、クリケット。英国植民地時代にもたらされた野球の原型のような競技で、国民的な人気があります。それは、元首相のイムラン・カーン氏がクリケットの大スターであったことからうかがえます。カーン氏は現役引退後に母親をがんで亡くしたことがきっかけで、がんの専門病院設立などの社会的な運動を開始。その後、政界に進出し、首相にまで上り詰めました。

スポーツ用品産業も盛んで、間接雇用を含めると35万人が就業。サッカーのW杯では同国製のボールが3大会連続で公式球に採用。テレビの司会者からは「パキスタンのサッカーチームは弱いけど、パキスタンのボールは常にトップを走っている」との名（迷）言も。



パキスタンの保健ワーカー。左から二番目の女性が手にしている青い箱はワクチンを入れる保冷ボックス





バスでのワクチン投与の一幕。南アジアらしいと思わせる派手な車体の上には、多くの乗客がひしめく

## パキスタンのポリオ対策

さて、パキスタンでは、1994年からポリオ根絶プログラムを推進してきました。昨年の野生型ポリオウイルス1型(WPV)の症例報告数は6件。内訳はアラビア海に面するシンド州で2件、アフガニスタンとの国境に接するカイバル・パクトUNKワ州で4件となっています。90年代初頭に報告されたポリオ患者の症例数が2万件と考えると、根絶は目前といったところでしょうか。

イスラム教には禁忌(ハラーム)と許可(ハラール)があり、先に述べた豚肉や飲酒などはハラームに当たります。ポリオ対策が始まった頃、ワクチンはハラームに該当しないか? という指摘が出ましたが、世界中のイスラムの指導者やあらゆる宗派の著名学者がワクチンの製造過程を確認し、経口ポリオワクチンはハラールであると宣言しています。また、2014年にはイスラマバード国際イスラム大学の主導の下、ポリオ根絶イスラム諮問グループが発足。グループの働きかけもあり、今ではパキスタン全土で約1,000人の宗教学者がポリオワクチンの接種を支援しています。

しかし、情報不足や、15歳以上の識字率が58%と低い(2019年、JICA調べ)こともあり、根も葉もないうわさが拡散されがちです。「ムスリムがワクチンを

接種すると不妊になる」という流言もその一つ。2015年には、パキスタン医薬品規制庁(DRAP)が管轄する国家生物管理研究所によって、ワクチンに不妊症の原因となるホルモンが含まれていないことが確認されたにもかかわらず、偏見が根強く残っています。そのためか、小児へのワクチン投与を親が拒否したり、保健ワーカーやその家族などが、脅威にさらされるケースも少なくありません。

## 公共交通機関とワクチン

「パキスタン人の足」はバス🚌👍とっていいでしょう。隣接するインド、中国、イラン、アフガニスタンへも政情次第で行き来することができます。利用者は旅行客だけでなく、季節労働者や経済移民、難民などさまざまで、常在国としてポリオウイルスを広げる一因ともなっています。特にパキスタンとアフガニスタンの両国は、疫学的に一つの地域を構成しており、バスでの頻繁な人の移動によって、国境を越えての感染が続いています。

そのため、パキスタンでは公共交通機関でのワクチン投与が重視されています。シンド州の料金所では、バスを24時間体制で確認し、経口ワクチンを投与。これによって、シンド州最大都市のカラチでは、昨年、100万人超の小児へワクチン投与を達成しました。なお、駅舎やホームでも同様の対策が取られています。「100万人

バスの中でも近距離移動のものは「スズキ」や「ダットサン」と呼ばれて親しまれている。ちなみにトラックの荷台を改造し、バスのように改造したものは「マッダ」という。



## ポリオ基礎知識

### ポリオとはどんな病気?

ふん便などから経口で侵入するウイルスで、自然宿主はヒトのみ。中枢神経系に達し、脊髄前角細胞や脳幹の運動神経ニューロンに感染。感染者の約5%が発症、約0.2%は永続的な後遺症として弛緩性まひが残る。

### 三つの対策

- ① 1歳未満の小児への定期予防接種
- ② 全国予防接種日(NIDs)を設けて5歳未満の小児へワクチンを一斉投与
- ③ 急性弛緩性まひ(AFP)の状況把握(サーベイランス)によって、状況や環境などを把握する



## A Tribute to Abdul Waheed

Report by: Chief Editor, PolioPlus

A brave heart - Abdul Waheed, the Focal Person of the Pakistan Rotary Polio Resource Centre, SITE Town was shot dead outside his school on May 13. Abdul Waheed, a social worker who ran The Bright Education Society, a co-education school in Islamia Colony and the Polio Resource Centre in one of Karachi's most densely populated districts, SITE Town; inhabited mainly by pushtun speaking families and considered one of polio's high risk districts.

Abdul Waheed was dedicated toward polio eradication and education, and devoted his time and energy toward improving the lives of children in the community, pursuing parents to educate them and working closely with religious scholars, advocating against polio. His loss has left his family devastated and created a huge vacuum for Rotary and for all the children of SITE Town. May his soul rest in peace.

I had known Abdul Waheed for two decades; his death leaves a gap which cannot be filled - it is sad.

"And so, to the end of history, murder shall breed murder, always in the name of right and honor and peace, until the gods are tired of blood and create a race that can understand" - George Bernard Shaw.

Aziz Memon, National Chair, PPPC

We have received innumerable condolence messages and would like to share some of them with you.

### Messages:

"I visited with him in March at the school and did some vaccination of children being protected by someone with a nasty gun



『Pakistan National PolioPlus Newsletter』の2013年5月号に掲載された追悼記事。現地で亡くなったアブドゥル・ワヒドさんが、ポリオ根絶と教育へ献身的に取り組んでいたことが記されており、ユニセフやWHO、ロータリーなど関係者から多くのコメントが寄せられている

にワクチン投与したの!？」と驚いてはなりません。なぜなら、今年の1月8～14日に行われた全国予防接種日(NIDS)では、4,300万人へワクチンの投与を実施しており、2月26日～3月3日のNIDSでは、4,500万人以上、3月25日からのポリオ流行対応キャンペーンでは880万人への投与を予定しているからです。

### パキスタンでのポリオ根絶物語

パキスタンではポリオ根絶に向けた、さまざまな取り組みが行われてきました。

イスラマバードから約10km南下したラーワルピンディでは、地元の伝統的な民謡に合わせて、定期的なワクチン接種を呼びかけました。子どもたちは家から飛び出して踊り、中には勢い余って転倒する子も。この取り組みによる宣伝効果は高く、子どもたちにはワクチン接種が楽しいイベントだと思わせ、親たちへは、自分たちの宗教や文化を尊重してくれる人たち、という印象を与えたのです。その結果、この地域のワクチン接種率は96%に達しました。

2020年9月。カラチから220kmほど南西にあるミルプール・カースでは、年間平均降水量の2倍となる400mm以上の雨が降り、大規模な洪水が発生しました。村へのアクセスが分断した状況で、世界ポリオ根絶イニシアティブ(GPEI)の職員は、水中を歩いたり、泳いだりして各村を訪れ、子どもたちにワクチンを投与しました。同地区にある村の代表は当初、村の再建を政府と交渉する際のカードとして、政府が推進するワクチン接種を拒否。そうした状況下で、GPEI職員は「利益のために子どもたちの健康を危険にさらすべきではない」と説得を続け、村中の子どもたちにワクチンを投与

しました。

こうした話が續くと、パキスタンでのポリオ対策は順調のように思えますが、全ての作戦が首尾よく終わるわけではありません。

悪天候の中、自宅から5km離れたクラチ・ワラという山村に向かうぬかるんだ道でバランスを失い、倒れてしまった保健ワーカーは、妊娠6カ月の女性でした。その直後、彼女を陣痛が襲い、近所に住む女性たちの助けを得て出産しましたが、死産でした。知らせを受けた連合評議会ポリオ根絶委員会のメンバーが、現場に急行したところ、男児の亡きがらをワクチンボックスに入れたワーカーの姿があったといいます。しかし、悲痛な経験をしたにもかかわらず、彼女は現在もパキスタンのポリオ最前線で予防接種を続けています。

2013年、バローチスタン州に近いシンド州の郊外。ここは移民や難民が多く住み、麻薬などの密輸・密売で生計を立てているのが現実です。そこで生まれた子どもたちに教育が行き渡るように、との思いから、ロータリアンであるアブドゥル・ワヒドさんが学校を設立、校長に就任しました。子どもたちに教育を通して明るい未来を提示しようとしていた直後、学校でテロが起き、ワヒドさんが犠牲となりました(上写真)。現在、その学校の校長は、亡くなったロータリアンの兄が務めています。たくさんの悲劇を経験しながらも、パキスタンではポリオ根絶への活動が続けられています。

今月はパキスタンと現地のポリオ対策の実情を中心に  
お伝えしました。来月は日本と同国の関係や、有志によるポリオ根絶活動に取り組むチームポリオジャパン関係者のコメントを中心にした報告を予定しています。 

### 主な参考資料

PAKISTAN POLIO ERADICATION PROGRAMME [www.endpolio.com.pk](http://www.endpolio.com.pk) / GLOBAL POLIO ERADICATION INITIATIVE [polioeradication.org](http://polioeradication.org) / Pakistan Embassy Tokyo Japan [www.pakistanembassytokyo.com/ja/](http://www.pakistanembassytokyo.com/ja/) / 外務省 [www.mofa.go.jp/mofaj/](http://www.mofa.go.jp/mofaj/) / (一社)ハラル・ジャパン協会 [jhba.jp](http://jhba.jp/) / 広瀬崇子 山根聡 小田尚也 編著、『パキスタンを知るための60章』明石書店、2003年。他



# 能登半島地震

## “絆”キッチンカー、能登に行く

大阪中央RC広報委員長 高垣 知佳

黄ジャンパーが能都RC、赤ジャンパーが大阪中央RC

### 目指すはSNSでつながった被災地クラブ

1月19日、気温6℃の寒さの中、大阪中央ロータリークラブ（RC）の荒川弘也会長以下8人が能登へ向かっていました。目指すは石川県鳳珠郡能登町の能都RCです。

発災後、支援の受け入れ先を探していたところ、能都RCのSNSが発災後に更新されているのを会員が見つけた。1月12日に連絡をしました。姉妹クラブでもない当クラブからの突然の連絡にもかかわらず、能都RCの三宅一宏会長は、ご自身が被災されている中、能登町役場と調整し、的確な情報を提供してくださいました。

それを受け用意した物資は5.5t。上下水道が復旧しておらず、飲料水も不足していることから水を中心に食料、衛生用品などを、能登町指定の柳田体育館へ搬入しました。

### 再び現地へ。1人の避難所にも温かい食事を

さて、発災から1カ月が過ぎ、現地での炊き出しの話が聞くことが多くなりました。日本中のみんなが何かできないかと考えながらも、道路状況や上下水道の復旧は進まず、被災地でのボランティアがまだできない状況でした。そんな中、大阪中央RCは考えました。「キッチンカーで現地に行って炊き出しをしよう！」

能都RCの皆さんと話をする中で気付いたのです。炊き出しが全くされていない小さな避難所がまだたくさん

ある！そこで飲食店経営者の会員のつてでキッチンカーを手配。2月18日、名付けて「絆“きずな”キッチン」カーが、ラーメン、タコライス、いちごミルクジュース各300食分の食材を載せて、能登に向かって走り出しました。今回のテーマは、「1人の避難所にも温かな出来立ての食事を提供する！」。総勢16人、総走行距離約100kmのデリバリー作戦が始まりました。

### 心に響いた「こんな所までありがとう」

19日朝5時、前泊した金沢市を出発し、8時に柳田小学校に到着。9時前にラーメンから提供を開始しましたが、オープン前から人が。続くタコライス、いちごミルクジュースも11時半には大行列となりました。おいしい食べ物には自然と笑顔が出ます。中には8人家族の食事を取りに来られた方も。

また、1人や4～5人といった少人数の避難所にも大阪から運んできたデリバリースクーターと、悪路に強いEVバイクで3種各80食分を届けました。「そんな遠くまで行くなら地元の案内が必要」と、能都RCの皆さんが先導役を買って出てくださいました。

家屋は倒壊し道路は隆起、想像以上の悪路でしたが、「まだ熱々！」「インスタントラーメンはあるがお年寄りが多く取りに行けない。諦めていたところに持ってきてくれてうれしい」「本当に心身共に疲れきっているところに出来立ての温かい食べ物。ありがたい」と、ここでもた

1月の支援時。物資の量が多く、自衛隊の皆さんにも手伝っていただきました

2月18日夜、金沢で翌日の行動確認





応援します! 能登



関連動画はこちらから

YouTube「2024 能登半島第2回支援」

[youtube.com/watch?v=IXbMBWlm3TU](https://youtube.com/watch?v=IXbMBWlm3TU)



会員のラーメン店より提供。通常デリバリーをしておらず、「デリバリーでもおいしいものを」と複数会員で何度も試作を重ねた(下写真)



ミキサー4台をフル稼働。「最高においしい」「ずっとフレッシュな甘いものが食べたかった」と大好評



こちらも会員が試作を繰り返した力作。目玉焼きが時短でできず、大阪中央ミレニアスロータリー衛星クラブの会員2人がひたすら焼いてトッピング

くさんの笑顔頂きました。

大きな避難所には早くから支援が入りますが、小さな避難所は支援が打ち切られたり、支援が行き届かなかったりします。阪神・淡路大震災や東日本大震災で再認識されたのは、「見放された」と感じさせない支援です。「こんな所までありがとう」の言葉は心に響きました。

### 絆の強さを実感。これこそロータリークラブ

「今回の活動でロータリークラブの絆の深さと強さを深く実感することができました。特に能都RCの三宅会長が震災後13日もの間、入浴の機会もない厳しい状況下でありながら、私たちと緊密に連絡を取り合い、支援活動を支えてくれたことは忘れられません。そのおかげで、被災した方々のニーズに合った支援を実現できました。復興への道のりはまだまだ続きます。今後も現地のクラブとの連携を取りながら、支援を続けられたらと思います」(大阪中央RC・荒川会長)。

能都RCの皆さんとの連携があつてこそ、この支援ができました。また今回は地区補助金の他、台湾の友好クラブ・台北圓山RCから新年早々に頂いた義援金も活用しました。これこそロータリークラブです。能登の皆さん、頑張りましょう！  
(第2660地区 大阪府)



温かい食事に笑顔。噂を聞きつけて近所から追加をお願いされた所も

最後に能登町役場に、キッチンカーで使わなかった水や牛乳を提供。能都RCの皆さんにも食事を楽しんでいただきました





# 各地で展開、 支援活動の輪

## 熊本から被災地に届け、歌声

熊本南RC



2月23日、福田崇九会員の協力でライブハウス「熊本 B.9」を借り、能登半島地震チャリティーカラオケパーティーを開催。生バンドをバックに7組が自慢の喉を披露した後、会員とローターアクターの有志数人がカラオケを熱唱しました。最後に、熊本地震の際によく歌われた「ふるさと」（歌：嵐 作詞：小山薫堂）を全員で歌い終了。熊本地震で被災したわれわれが、今回の能登半島地震で被災された方々への力になろうと、思いを一つにした事業でした。

ライブでは会員が持ち寄った飲み物などを1杯500円で販売。諸経費を引いた収益を義援金として第2610地区能登半島地震災害支援本部へ送りました。今後も会員同士で協力しつつ、支援活動を続けたいと思います。

（第2720地区 熊本県）

## 小学生の全額寄付に涙

むつRC

1月28日、むつ中央RCとむつ大畑ロータリー衛星クラブ、むつRAC、むつ工業高校1ACと合同で募金活動を実施。総勢約20人が市内のスーパー2カ所で呼びかけたところ、多くの市民から温かい声かけと寄付金を頂き、能登半島の厳しい状況に心を寄せる皆さまの善意に感動しました。

松本ののちゃん（＝写真、<sup>とまぎ</sup>苫生小学校1年生）は、募金活動を見かけるといったん帰宅し、貯金箱を携えて戻ってきて、全て募金箱に入れてくれました。この行為に、さすがに涙を禁じ得ませんでした。被災地の皆さま、頑張ってください！

（第2830地区 青森県）



## 会員の病院の患者から多くの善意

中津RC

<sup>かわしま</sup>川島整形外科病院職員・患者の皆さまからの災害義援金41万1,820円を、川島眞之院長（当クラブ会員）から預かりました。会員からの義援金30万円を合わせた計71万1,820円を1月25日、地区を通じて第2610地区の災害支援本部に寄付しました。中津RCは今後も被災地の皆さまに心を寄せてまいります。

（第2720地区 大分県）





## 台湾からの義援金を直接届け、激励

高山西RC

発災から間もなく、台湾の友好クラブ・台北東海RCから多くの支援金が。クラブで活用方法を協議、「当クラブの支援金と共に、直接被災クラブへ届けては？」という結論に。第2610地区の原勉ガバナー（写真右）にその思いを伝えたところ、全会員が大なり小なり被害に遭われた七尾RCが例会を再開したので「一緒に激励に行こう」と、3月8日の例会に、支援金贈呈と激励のため、お邪魔しました。

途中の道路は凸凹が多く、倒壊した家も。例会場の駐車場には大きな段差があり、地震の爪痕が深く刻まれていました。例会では激励の思いも手渡しました。（第2630地区 岐阜県）



## 「飛んでイスタンブール」庄野真代さんチャリティーコンサート 御坊南RC

2月25日、歌手・庄野真代さんによる復興支援チャリティーコンサートを会員のスナックで実施。庄野さんは2月に能登でコンサートの予定でしたが、震災でキャンセルに。濱口頭人会員の知人の音楽関係者の打診にて、実現しました。急な話でしたが声かけを行い、結果的に約60人が会場をいっぱいにしてくれました。

庄野さんはピアノ・ギターの演奏者と共に「モンテカルロで乾杯」「グッドバイ・モーニング」などの懐かしい歌と、和歌山城の天守閣で歌った思い出話などを織り交ぜ、終盤はヒット曲「飛んでイスタンブール」を歌ってくださり、1時間半の楽しい時間を過ごせました。チケット収入や募金、協賛企業からの寄付など30万600円を日本赤十字社石川県支部に送りました。（第2640地区 和歌山県）



## 北海道のへその街から被災地へ

富良野RAC

2月24日、ローターアクター4人が富良野RC会員5人の参加を得て、JR富良野駅前東西自由通路で2時間の募金活動を実施。ローターアクトの活動で知り合った第2610地区のアクターの力になりたいとの思いからでした。

地域のお年寄りがコーヒー瓶いっぱいつわものの小銭を届けてくれたり、観光客やロータリアンの家族も立ち寄ってくれたり、寒空の下でしたが心が温まりました。おそろいで作った水色の半袖シャツ姿で街頭に立つ強者もいましたが、ロータリアンからラベンダーカラーのジャンパーを借り、風邪もひかずに無事終了。6万6,691円の募金は地区経由で、第2610地区能登半島地震災害支援本部に送金しました。

富良野地域にも活火山・十勝岳があり、他人事ではありません。自分の身を守るすべも身に付けたいということで、後日の例会で、アクターが自らできる災害対策をプレゼンし合う企画も実施しました。（第2500地区 北海道）







## 響け、若人の思い!

### 花園高等学校 IAC・京都洛西RC・京都洛西RAC

2月25日、京都市立京都堀川音楽高等学校にて、私立花園高等学校 IAC主催、京都洛西RCと京都洛西RAC共催の第25回チャリティーコンサートを開催。市内中学校数校の吹奏楽部と花園高等学校吹奏楽部が行進曲やアニメ楽曲など、息の合った演奏を披露しました。約200人の聴衆も手拍子で応え、会場を盛り上げました。参加者一丸となつての楽しいコンサートでした。

能登半島地震支援のために募った寄付金は、京都新聞社会福祉事業団、石川県吹奏楽連盟などを通じ被災地に届けました。(第2650地区 京都府)

### 和歌山市内9クラブ全員が募金 和歌山市内9RC

和歌山市内9RC会長・幹事会の全会一致で会員から募金を募ったところ、9RC全会員から188万円が集まりました。2月13日に和歌山県庁にて岸本周平知事(=写真右)に目録を贈呈、感謝の言葉を頂きました。NHKと地元テレビ局で報道されました。(第2640地区 和歌山県)

\*和歌山・和歌山東・和歌山南・和歌山東南・和歌山西・和歌山北・和歌山中・和歌山城南・和歌山アゼリアRC



### 5万円の寄付も。市民の被災地へ寄せる思いを実感

#### 第2830地区中グループ

1月13～14日、青森市のショッピングセンター2カ所で募金活動を実施。中グループの会員、ローターアクトー延べ約50人で行いました。市民の関心も高く、中には5万円を寄付してくださった人も。寄付金計83万8,658円は、地区を通して第2610地区に送られました。今後も被災地の方々を支援していきたいと思ひます。(青森県)

\*青森・青森北東・青森中央・青森モーニングRC



### 今、できることを…… 大館市内4RC

大館市内4クラブは2月11日、大館アメッコ市会場で募金活動を実施。募金活動は「ロータリー希望の風奨学金」に協力するため2012年から続けていますが、今年は能登半島地震の被災地支援にも乗り出しました。4クラブから28人、秋田県立大館国際情報学院高校の生徒2人、秋田大学大学院に通う米山奨学生・楊夢楠君と会場内の3カ所で声を張り上げると、中高生や家族連れが次々と応じてくれました。楊君は「ボランティア活動は初めてで、いい経験になった」と充実した表情でした。(第2540地区 秋田県)

\*大館・大館北・大館南・大館中央RC



## 地区委員会とガバナーの 織り成すモメント

第 2650 地区 福井・京都・奈良・滋賀

**中野 博美**ガバナー（京都RC）

地区という存在を、織物に例えてみましょう。織物というものは、それを構成する要素として、縦糸と横糸が整然と配列され、成されるものです。そして、織り成される絵柄により一体的な、素晴らしい作品が出来上がっていきます。

ロータリーでの地区の場合、縦糸は地区委員会でありましょう。織り機に張られた縦糸は織物の土台となり、全ての基礎となり得るものです。まず、縦糸がしっかり張られていなければ、良い織物はできません。

横糸はガバナーおよび幹事団、となりましょう。これらの縦糸と横糸がうまく連携していけば、地区は上質の織物になります。そして、その絵柄が素晴らしければ、事業も素晴らしく仕上がっていくわけです。

さて、縦糸と横糸。縦糸・地区委員会は最初から織り機に張られておりますから、よほどのことがない限り、

途中で変えることはできません。人生や事業に例えるなら、ある意味、宿命のようなものではないでしょうか。人種など、人には変えることのできないものがあります。そして、質の高い縦糸は、良い織物の基本条件です。

一方、横糸となるガバナーおよび幹事団。織り手の資質、努力、工夫により、織物の出来具合を左右することは可能ですが、縦糸がしっかりしていても、横糸の良しあしでその織物は素晴らしくもなり、またどうでもよいものにもなるかも、ということになります。

質の高い縦糸としての地区委員会を整えていただき、横糸のガバナーも、熱意と頑張りで質の高い織物、私たちの地区が仕上がるようにと考えております。（病院）



委員会は縦糸（合同地区委員会・地区会員増強委員会の皆さんと共に。私は中列左から3人目）

## 若きリーダーの 頑張りに感謝！

第 2660 地区 大阪北部

**延原 健二**ガバナー（大阪大淀RC）

ロータリーは、若い人の入会、活躍を求めています。今こそ、若い人のアイデアを生かした活動が必要な時ではないか。そう考えた私は、若い人たちが楽しめるような「世界ポリオデー」向けイベント開催を、地区内ローターアクトーにお願いしました。主役はあくまでもローターアクトー、ロータリアンはサポート役です。

当地区では初めての試みです。当然、実行委員長には大きなプレッシャーがかかり、担い手が現れるかと不安に思っていたところ、アクトーの貴島陵太郎さんが名乗りを上げてくれました。約1年間にわたり、企画・立案、予算作成などの多くの煩雑な業務をほぼ一手に引き受け、地区内の約250人のアクトーたちをまとめ上げ、無事、イベント開催にこぎ着けてくれました。

2023年10月22日開催の「END POLIO NOW チャリティーハロウィンパーティー」は、ポリオについて学

ぶコーナーあり、仮装大会あり、飲食、遊びのブースありと、若者が楽しめる魅力あふれるイベントで、参加者は約400人にも上り、多くの寄付が集まりました。

地区内全てのローターアクトクラブが寄付達成証の要件を満たし、次年度の補助金活動に弾みがつきました。新聞、ケーブルテレビの報道は公共イメージ向上にも役立ちました。まさに若い人のアイ

デアを取り入れ、若い人がリーダーシップを取ったため、年齢を観点としたDEI推進に貢献もできました。さらには、アクトの自立に向けた機運が高まるという副産物まで。

貴島陵太郎さんという、若きリーダーの頑張りに感謝です！（倉庫業）



ロータリー研究会も、貴島さん（左）と一緒に体験できました



## ライフワーク・環境保全 が子どもたちの笑顔に

第 2670 地区 愛媛・香川・高知・徳島

吉岡 宏美ガバナー (徳島RC)

私の人生において課題としているものは「環境保全」です。プライベート、職場とする企業、もちろんロータリー関係においても私のライフワークは全て、「環境保全への取り組み」に彩られています。

具体的には、私の故郷・東みよし町の有志と「吉野川河川敷の再生、環境保全活動」、勤務先では「森づくり」として植林・間伐・混合林整備、ロータリーでは「河川や森林の保全・美化」のくくりで活動しています。

東日本大震災時も、環境を手掛かりに、支援活動に取り組みました。徳島RCとして、(公社)徳島森林づくり推進機構、徳島県立徳島科学技術高校や徳島大学と連携し、わが県産間伐材を利用した木製遊具などを、宮城県仙台市の子ども病院や保育園へ、継続して寄贈。留意したのは、宮城の皆さまの復興の進度に添いながら、支援を続けること。地区補助金を活用して実施していった

のですが、本当に意義ある活動だったと考えています。この取り組みには多くの会員が、実に心を合わせ力を尽くしてくれ、心から感謝しています。

宮城の保育園職員の皆さま、仙台市・石巻市・南三陸町・亶理町<sup>わたり</sup>の皆さま、園児たちとの交流を通して、涙しながらもその最後には、子どもたちの笑顔に接し参加者全員で、喜びを共有することができました。

RIの特別月間として、2023年4月から「環境月間」も定まりました。天然資源の保全と保護、環境の維持可能性を高める事業について、これからも地域、ロータリーの仲間と一緒に取り組んでまいります。

(普通銀行)



ライフワークは環境保全。それが宮城の子どもたちの笑顔につながりました

## 今井鎮雄元RI理事との 最後の会話

第 2680 地区 兵庫

安行 英文ガバナー (三田RC)

病床から「ライラ (RYLA・ロータリー青少年指導者養成プログラム) を頼む」と声を振り絞って電話されてきた。それが、今井氏と私との最後の会話となった。

「ライラを頼む」とは？ 思案する中、ふと「そうだ、いまだ体系化されていなかったRYLAの理論体系の構

築が、私に与えられたミッションなのだ」と。1年ほどかけた草稿がまとめ上がったのは、運命のいたずらか、ちょうどお亡くなりになった日の朝のことだった。

思いが、頭の中を走馬灯のように去来したことを覚えている。お嬢さまと今後の青少年育成の場の存続と在り方、また取るべきミッションなどを相談していたさなかでもあり、これからは今井氏による指導と裏付けされた理念やスキルなどの根拠の擦り合わせをせねば、と思っていた矢先のことだった。しばらく、時間がたつのさえ、忘れていた。お別れの時、「先生できたよ」と草稿をお棺の中にそっと置き、今までの感謝を伝えたことも、昨日の出来事のように覚えている。

今井氏は戦争を経験し物資の乏しい時、「弱者のために」と<sup>なだ</sup>灘購買組合に入って現在の生活協同組合の礎を築き、神戸YMCA (キリスト教青年会) とロータリーにも入会、その後は国際、福祉、教育、多方面で人のため奉仕を貫いた。適材適所に人を配置していった、いわば予言者とも思われる人であった。「常に子どもたちと一緒にいなさい」「子どもをよく見なさい。行動を共にしなさい」。振り返ると、あらゆる個人の成長と人間性の発達を大切にしておられ、人間を超えたものへの出合いを、説こうとしておられたように思うのである。(学習塾)



左端の背中が今井氏、模造紙を持つ私。2011年ライラキャンプで



# 日本のポリオはまだ終わっていません

第 2690 地区 岡山・島根・鳥取

石倉 貞昭ガバナー (松江しんじ湖 R C)

2022 年 10 月 23 日に、世界ポリオデーに合わせ、島根県内 15 クラブ合同で、地域ならではの出雲大社でポリオ根絶を祈願、募金・啓発活動を実施しました。その様子を地元のテレビニュースで見た松本京子さん (69 歳) から、ポリオ募金の申し出があり、2022 - 23 年



ポリオの恐ろしさを痛感しました。(左から古志会員、松本さん、私)

度の古志勝俊ガバナー補佐 (松江南 R C) が応対。松本さんからは「初めて、ロータリーのポリオ根絶活動について知りました。正直、ロータリーは広報活動が下手ですね。それに、日本のポリオはまだ終わっていません」と率直ながらも、大変厳しいお言葉を頂いたそうです。その時、古志ガバナー補佐は、その言葉がしばらく耳から離れなかった、と。

松本さんから募金を頂いて 1 年がたった 2023 年、再度、松本さんから連絡を頂きました。そこで 12 月 4 日、入所されている福祉施設へ私、古志さん、幡宏明地区代表幹事の 3 人で訪問、改めてお話を伺い、再びポリオの募金を頂戴しました。

彼女は 13 歳の時にポリオに感染されるも完治。しかし 40 年後、突然手足にまひが起きたそうです。その筋力低下と筋萎縮のつらさを話されました。いわゆるポストポリオ症候群 (P P S) で、ポリオウイルスは消失しているのに、ポリオ罹患時の神経状態がよみがえる症状です。今、松本さんは車いすの生活を過ごされています。

「あと少し」で終わりそうな病ではないポリオ。私たちロータリアンは、彼女の「日本のポリオはまだ終わっていません」という言葉をかみ締め、根絶運動に取り組んでいかねばならないと強く思いました。(地質調査業)

## このひととき、奇跡

第 2700 地区 福岡・長崎・佐賀

吉田 知弘ガバナー (福岡東 R C)

狙わないからこそ当たる的もある、そのように感じられるひとときにはプライスレスの価値があります。その無類の価値を奇跡的に共有できたこと、その一つ一つの奇跡が私のロータリー・モメントです。

私にとっての最大の転機は、地区米山記念奨学委員会への出向により訪れました。委員会の主務は奨学生の選抜と交流のアレンジメントで、全体をマネジメントする委員長役割は、流す汗以上の価値を秘めています。意欲一つで軽々と国境を飛び超える若者のバイタリティーには、当方こそ学ぶべきものが多いと感じたものです。

妻の理解と協力を得て、この委員長時代の毎年 1 月 2 日、わが家に現役奨学生や学友有志を招き、書き初めの会を開催しておりました。私の姉が書家のまねごとをしており、大道具はそろっています。半切りの紙に大ぶりの筆、一人一筆で黒々と線を引き、全員で一つのめでたい

ことだま言霊を立てます (「吉祥」、「<sup>まんねん</sup>萬年和平」など)。思えば、彼らは国籍も大学も専門分野もバラバラです。本来なら、決して出会うはずがない。それが何の導きか正月にわが家に集い、私の子らと一緒におせちを楽しみ、書き初めをして、次への縁を育んでいく場に立ち会いました。

そしてもう一つ。7 人の優れたガバナー補佐に恵まれたことを何よりの奇跡と感じます。ガバナー補佐にたまたま就任されたとしても、誰よりもわが意を酌み、熱量をもって取り組んでくださる 7 人。今ではみんな、入り乱れての無二の親友です。ただの偶然で始まったとしても、結ばれた時間は確かなもの。これぞ、ロータリーが結ぶ縁の奇跡、プライスレスの価値です。(弁護士)



多彩な言霊が立った書き初め。このひととき、奇跡です (私は右端)



## カンボジアの診療所に 掲げられた看板

第 2710 地区 広島・山口

井内 康輝ガバナー (広島南 R C)

2014 年から 16 年にかけて、カンボジアにて、ロータリー財団のグローバル補助金で、医療支援プロジェクト「女性乳がんの早期発見」を実施しました。2009 年から、現地のニーズ調査やカウンターパートとなるロータリークラブ探しなどを経て、財団への補助金申請にこ

「親切な井内さんの相談室」の前で



ぎ着けましたが、補助金の獲得までには実に多種多様な苦勞がありました。

乳がん専門医と乳がん検診のための超音波検査に長けた技師と私の 3 人、そして広島南 R C の仲間に加えカンボジア保健省の医師 2 人でチームをつくり、プノンベンから約 100km 離れた小都市・カンボットの医療施設で 2 泊 3 日、200 人余の検診を行いました。乳がんの疑いのある女性が 5 人見つかり、予期していたこととはいえ、その発見率の高さに驚きました。再度現地での検診を行った後、2 年目には V T T (職業研修チーム) プログラムを改めて申請。5 人のカンボジア人医師が来日して検診手技の研修を行い、そのフォローアップのための検診も現地で行いました。

グローバル補助金の事業の継続性 (Sustainability) という観点からは、日本人が現地へ出向くのではなく、カンボジア人医師の手で検診を続けてもらうことが必要である、と伝え続けた結果、3 年目に、小さいながらも乳がんの検診施設をプノンベン市内に造ることができ、カンボジア人医師の診察が始まりました。その施設に、“Sothea Inai Consultation Room (親切な井内さんの相談室)” という看板を掲げてくれているのを見た時、それまでの苦勞が報われた気がしました。(医学研究)

## ビバ！「三四の会」

第 2720 地区 熊本・大分

膳所 和彦ガバナー (日田 R C)

25 年間のロータリー歴の中、最大の Rotary Moment は、同期ガバナーとの出会いです。2021 年 12 月、東京でのガバナー・ミニートレーニングセミナー (G N T S) で、私は初めて、将来の同期ガバナー 33 人とじかに目にかかりました。自己紹介での、ロータリアンとしての皆さんの素晴らしい立ち振る舞いに、未熟な私はただ恐縮するばかり。しかし、その後交流を深めるうちに私は少しずつ鼓舞され、刺激され、そして成長させていただきました。34 人の同期会は「三四の会」と命名され、永く濃厚な絆がスタートしたのです。

日本で 2 回、ガバナー・エレクト・トレーニングセミナー (G E T S) を終え、2023 年 1 月、アメリカ・フロリダ州のオーランドで国際協議会。合宿のような 5 日間の学びと親睦を通し、私も少しずつながら、ガバナーモードのスイッチが入ってきた、と。有志により、合宿内容を

簡潔にかつ的確にまとめた資料は、後に地区での三大セミナー (地区チーム研修/会長エレクト研修/地区研修・協議会) 実践時の貴重なリソースとなりました。

人として 70 歳を迎え、多くの素晴らしい方と懇意になれたことは、私の人生終盤での最高の宝物。それは私のパートナーも同様で、「三四の会レディース」での出会いは、彼女の人生を大いに活気あるものとなりました。

こういった出会いを、バリー・ラシン R 財団管理委員長は「Rotary Moment」、ステファニー・アーチック次年度 R I 会長は「The Magic of Rotary」と呼んでいるのでしょう。私たち夫婦は、まさにこれらを体感させていただいております。「三四の会」最高！(心臓外科医)



この出会いこそ (私は右列奥から 2 番目)



## 甲子園のグラウンドに

第 2730 地区 鹿児島・宮崎

池ノ上 克ガバナー（宮崎 R C）

個人的なお話をしたいと思います。前職の頃、九州の大学産婦人科野球大会が、学会シーズンを利用して各地で行われていました。私のいたチーム名は「スーパーフェニックス」とすごいのですが、優勝は 30 年間に 1 回だけ。あとは 1 ～ 2 回戦で敗退するチームでした。



あの、甲子園球場のグラウンドで内野を守ることになるとは

ある年、久留米北 R C の宮原通義先生が、試合を見ておられました。先生は久留米市内の産婦人科医で、左利きの名三塁手として知られたロータリアンです。久留米北 R C は、ロータリーの野球界では強豪で知られ「池ノ上君、ロータリーにも野球の試合があつてね、僕たちは全国大会優勝して、アメリカに行ったことがあるとよ、しかも、ロータリーの全国大会は、甲子園で試合がでくつとよ」と教えてくださいました。

宮崎 R C にて、その話を伝えたところ、意外にもあっという間に「メタボリックス」という名のチームができました。その実態は、少年野球チームの監督が本業のような人、六大学リーグの神宮球場で投げていた人、東北大学を野球部で過ごした人など、心底、野球好きの集まり。行きがかり上、私は総監督で、少年野球チームの監督が音頭取りとなって練習が始まりました。実は私、学生時代は陸上競技で、少年野球の経験しかありませんでしたが、監督の付度で内野を守ることになった。

クラブ初めての甲子園は 2012 年 7 月でした。あの甲子園のグラウンドに立てたことの喜びに、感動の時を味わうことができました。全国の球児たちの憧れの舞台に立てたことは、まさにロータリーからの贈り物であり、大切な My Rotary Moment です。

（医師）

## 信条を貫きたい

第 2740 地区 長崎・佐賀

緒方 信行ガバナー（佐世保北 R C）

3 年前に交通事故に遭ったものの、ゴルフもできるほどの生活を続けていました。思いがけず、ガバナーノミニーの指名を受け、エレクトを経ていざ就任後、原因不明の体調不良に見舞われてしまったのです。「地区内外の皆さまにご迷惑をかける。私はガバナーには就任すべきでない」と思いました。ガバナーたる資格がないと自分を責め、この地獄から抜け出すために、死にたいとまで、思い詰めたこともありました。

しかし、そんな自分を救ってくれたのは、ロータリー人生で培われたネットワークでした。それは佐世保北 R C の仲間たちであり、10 年以上前から親交を温めてきた、2019 - 20 年度ガバナーでもあった、千葉憲哉副ガバナー・まさご夫妻でした。何より、私が大好きなポール・ハリスが、常に優しく見守ってくれているように思えました。自分を惨めだ、と思うのはやめにして、最後

の瞬間までロータリーのために、世界平和、社会の安寧のために尽くそうと思った時、憑き物が落ちました。

何とか地区大会の壇上に立ち、あいさつできました。これは主治医でもある千葉副ガバナーの献身的なサポートのおかげです。そして、会員の皆さまの寛容の精神のおかげです。病気になり、どん底の苦しみを味わい悩みましたが、人の真実に触れることができ、今は心から感謝しています。闘病は続いていますが、「ロータリーに NO はない」という自分の信条を貫きたいと思います。

私のモメントは、右に掲げる写真一葉です。皆さま、ご支援ありがとうございます。

（スイミングクラブ）



ガバナーとして 2023 年 10 月、地区大会で歓迎のあいさつを伝えました



# Rethinking the Magazine

—— 雑誌を再考する

2年に一度、国際ロータリー（R I）の本部があるアメリカ・イリノイ州エバンストンで開催されるロータリー地域雑誌編集者セミナーが、3月5～6日に行われ、世界に32ある雑誌のうち、25誌から29人（『ロータリーの友』からは、委員長の高野孫左エ門と編集長の野崎恭子）が出席しました。

今回のテーマは、「Rethinking the Magazine（雑誌を再考する）」。

セミナー冒頭で、ステファニー・アーチックR I会長エレクトからあいさつがありました。アーチックさんは自分がR Iの役員に就任し、雑誌に登場するようになってから、雑誌の影響力を実感したという経験を述べ、「ロータリーの雑誌の役割は、ロータリアンの学びのためのツールとなることです。同時に会員にインスピレーションを与えるという意味でも重要なツールです。ロータリアンは必ずロータリーの雑誌に目を通しますから、モチベーションをしっかりとってお仕事をしてください」と編集者を励ました。

## ●雑誌という言葉が意味すること

2013年の規定審議会で、地域雑誌が電子版での発行をすることを義務付けてから10年がたち、「ロータリーの雑誌が向かうのは印刷版かデジタル版か？」と議論されていたのは過去の話。2年前に『ROTARY』編集長に就任したウェン・ホアンさんは、印刷版をPDF化しただけではデジタル版とは言わない、と明言。オンラインの情報より印刷物が信頼性が高いものであるという状況は否めないものの、情報発信のスピード感、若い世代へのアプローチ、配送コストなどを考えれば、SNS、動画、ポッドキャストなど、さまざまなデジタルツールの活用は必然であると見解を示しました。

現在『ROTARY』では、積極的にデジタルツールの活用を進めており、会員はもちろん、印刷版を手にすることがなかった会員候補者、一般の人たちにも、ロータリーの魅力を語るストーリーが届けられるようになったとのこと。また、現在12%のデジタル版の読者を今後5年で35%にまで増やすという目標を立て、デジタルコンテンツの充実を図っていくそうです。

今回、新たな議題としては、著作権の扱いが強調されました。イギリスの『Rotary Magazine』編集長のデιβ・

キング氏が、写真の取り扱いを巡り、ある団体との間で著作権に関する裁判が起こっている事例を紹介。このような訴訟を極力避けるべく、雑誌側でもロータリークラブ、会員に意識喚起をしていくことが求められました。

## ●編集現場でA Iを活用する

また、A I（人工知能）も新しい議論として加わりました。ノースウエスタン大学メディカルスクールのデジタルメディア戦略のジェレミー・ギルバート教授がA Iについて講演。A Iとメディアの接点を研究しているギルバート氏が、この新しいツールがメディアに与える影響を解説した後、実際にChatGPTで文書を作成し、ロータリーの雑誌編集にいかにかA Iを組み込むことができるか、その上での注意点などを討議。A Iがどんなところで私たちの味方になってくれるのか、あるいは落とし穴になるのか。また著作権はどこに帰属するのかなど、未知のことが多い領域だけにさまざまな疑問が出され、各雑誌編集者の関心度が高いことが明らかになりました。



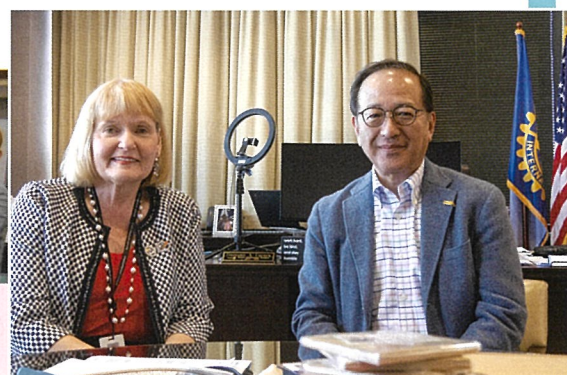


## ●読者が視聴者になる時代

今回のセミナーで印象的だったのは、主催側の参加者が、雑誌の読者のことを reader ではなく、audience（視聴者）と呼んでいたこと。「マガジン」が意味するのは、印刷物だけではなく、見たり聞いたりできるコンテンツを含んでいるという意識を強く感じました。

現在、『友』電子版購読者は約 2,200 人（会員の約 3%）。日本ではデジタル版への移行が緩やかですが、印刷物だけでなくさまざまな方法で会員に寄り添っていく時期にあることを改めて気付かされる機会となりました。

『友』編集長 野崎 恭子



## 雑誌は学びとインスピレーションを与える

高野孫左エ門（甲府ロータリークラブ）  
ロータリーの友委員会委員長

今回のセミナーに出席した際、ステファニー・アーチック R I 会長エレクトと話す機会を得ました。ロータリーの雑誌に何を期待しておられるか、との問いに「ロータリアンに学びとインスピレーションを与えること」と即答されました。私たちは「学びとインスピレーション」をどのような環境で感じ取ればよいのでしょうか。

ロータリークラブの運営は、規定審議会を通じ柔軟化が進められてきましたが、この変化を生み出した背景の一つに会員減少が挙げられます。

わが国が抱える人口減少、都市部への人や機能の集中といった変化への対応は、クラブの維持・継続のための課題と直結していると考えられます。対応のポイントは行動計画の一つ「適応力を高める」。各地域社会の状況を理解する地域リーダーが、地域に合ったクラブの形態や運営・活動を考え実行することが望まれます。アーチック氏はこれを「Regional Adaptability（地域適応性）」と表現し、力を込めてお話しくださいました。2022 年規定審議会での決議を受け、R I B

I（グレートブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー）とゾーン 8（オーストラリア・ニュージーランド）で着手されたパイロットプランも、その地域からの「地域に合った形態での運営により、会員減少をなんとかしたい」との要請によりスタートしているとのこと。

元気なクラブづくりのためには、クラブの特性を生かした運営やプロジェクトが求められます。それはどのようなものかを考え、実行し、その様子を地域社会の多くの人に知らせる必要があります。多様な情報が流通する環境下、そうした活動事例やヒント、周知のためのアイデアをより有効に提供していくことが『ロータリーの友』に求められていると受け止めています。

編集方針「学び考える『ロータリーの友』」に沿って、読者の目線を忘れることなく、「学び」と「インスピレーション」の窓口としてのメディア構築を実現したいと感ずる対談でした。



# カザフスタン・アルマトイ

## 米山から世界の町へ ③1

カザフスタン南東部にある、国内最大の都市。1997年まで同国の首都であり、経済、教育、文化の中心地です。



米山奨学生・米山学友の近況を、その故郷や、今、暮らしている町と共に紹介するシリーズです。今回の紹介者は……

アル・ファラビ・カザフ国立大学  
臨床科目学科 博士・上級講師

アルマトイリウマチセンター リウマチ専門医

トリモバ グルザン さん

(カザフスタン／2017－20／遠賀RC)

「サレメッシズベ！（こんにちは）」

私の故郷カザフスタンは、ロシア、中国、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタンに囲まれる内陸国。人口約1,900万人、面積は272万4,900km<sup>2</sup>で世界第9位と広大な国ですが、国土の半分以上を砂漠が占めています。一方で天然ガスなどの資源に恵まれ、白亜紀の地層が見られる台地ボスジラなど、特別な景観に触れることもできます。

私は“南の首都”と呼ばれ、経済と教育、文化の中心地であるアルマトイに住んでいます。市内では2011年に地下鉄ができ、今も延伸工事が続いています。高層ビルが建ち、ショッピングモールも開業するなど活気のある町です。ただし、空気がとても乾燥しているので、ここを訪れる人は、喉のケアや保湿用品は必携です。

アルマトイ郊外のメデオ・スケートリンクは標高1,691mにあり、世界最高所にあるリンクとされています。さらにその上の標高2,200mにスキー場のシムブラクがあります。2024年3月にもフリースタイルスキー・モーグルワールドカップが開催されるなど、近年、国を挙げて、冬のスポーツイベント招致を積極的に行っています。ここは自然豊かで夏も晴天が多いため、リゾート地として大変人気があります。



2022年、同国西部にあるボスジラを訪れたグルザンさん。白亜紀の地層が見られ、「白亜のモニュメントバレー」とも呼ばれます





写真左から、ソーセージをのせたベシュバルマク、その前菜となるキルダック、それにバウルサク



標高 2,200m、雲上でのスキーが楽しめるシムブラク

次はグルメについて。その調理法や食材は、遊牧生活を送っていたカザフ人から大きな影響を受けています。激しい寒暖差を乗り越えるには熱量が必要なため、肉や乳製品などを使ったボリュームある料理が好まれます。

ベシュバルマクは国民食で、ほぼ全ての祝宴で供されます。ゆでた馬肉、もしくは羊肉と太めの麺を使った料理で、大皿から取り分けて食べるのが一般的。キルダックは牛肉や野菜を使った煮込み料理で、よくベシュバルマクの前菜に出されます。パンを油で揚げたバウルサクも家庭で親しまれる料理。いずれも人気の料理で、訪れた際にはぜひ試してみてください。

また、国内には現在約 130 の民族が共に暮らしているため、カフェやレストランでさまざまな料理を楽しむことができるのも魅力の一つです。



同国の経済、教育、文化の中心地であるアルマトイの町並み

米山奨学生になったことは、大きな名誉であり、幸運でした。日本の伝統と歴史を深く知るきっかけとなり、おかげで私の人生が鮮やかに彩られました。お世話になった福岡県の遠賀ロータリークラブの皆さん、日本の両親となったカウンセラーの中村光雄さん一家に、心から感謝しています。

日本で通っていた産業医科大学医学部第 1 内科では基礎研究に加え、リウマチ科の一般回診に参加することもできました。私は現在、国立大学で教職を務め、アルマトイのリウマチセンターで専門医として患者さんの相談に乗り、治療に努めています。日本では基礎科学と実践を適切に組み合わせ、エビデンスに基づいた医療が患者さんに提供されており、そうした日本の技術を応用し、母国の医療に貢献しています。日本への感謝を胸に刻み、将来は両国の架け橋となり、協力の輪を広げていくことが、私の夢です。



昨年、福岡でのリウマチ学会出席のため再び来日。学会終了後、世話クラブの会員、カウンセラーの中村夫妻と会食の機会を持ちました

※米山記念奨学事業、または「よねやまだより」へのお問い合わせは、(公財)ロータリー米山記念奨学会まで  
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281 Eメール : mail@rotary-yoneyama.or.jp



# People of action around the globe

世界中で活躍する「世界を変える行動人」

By BRAD WEBBER

『ROTARY』5月号から

## オランダ

2023年、オランダのロータリー100周年を祝って、荷台付き電動自転車車で約5,000kmを1年かけて走るツアーを有志で行いました。参加者が交代で自転車に乗るリレー式で、国内約500クラブの大半を訪問。1月にホルガー・クナーク元国際ロータリー会長他、約1,000人以上が出席し、アムステルダム・オリンピックスタジアムでスタート。12月にゼーランド州でゴールを迎えた際には、森林の生態系に基づく「食べられる

森づくり（フードフォレスト）」のための植林も実施しました。「電動自転車ツアーと植林を通じて、環境というロータリーの重点分野を多くの人に知ってもらうことができました。これらのプロジェクトでロータリーの認知度は向上し、クラブのつながりと団結が促され、予想外の大きな成果が得られた」と第1580地区パストガバナーで、アムステルダム・ズイド・ロータリークラブ(RC)会員のマデロン・シャープさんは話します。



**35,000km以上** オランダの自転車専用道路の全長

**10,000人  
に1人**

脊柱側彎症を患っている  
子どもの割合



## ブルンジ

ブルンジで活動するベルギー人の外科医チームは、早期発症型の脊柱<sup>そくわん</sup>側彎症（脊椎の湾曲）を患う少女マイッサさん（6歳）に緊急手術が必要と診断。しかし、国内でこの手術ができる医師が見つからず、家族には国外で手術を受けさせる経済的余裕がありませんでした。そこで医師たちは、医療ミッションのコーディネーターを務めた経験のある、ガンドマリタイム・ゲントヘイヴンRCのピエール・デ・フリーント会員に、費用を抑えるための援助を要請。これが、ロータリー財団グローバル補助金を利用してインドの脊椎財団の活動を支援する、ムンバイソボRCのエルス・レイナース・キニ会員に伝わり、11月には、インドの医師2人が自費でブルンジに赴き、マイッサさんに最初の手術を行いました。「マイッサに新たな人生を与えてくれただけでなく、今回のことで私たち全員がとても親しくなり、今ではインド、ベルギー、ブルンジに広がる真のグローバルファミリーとなりました」とマイッサさんの母、マルティース・カラボーナさん。レイナース・キニ会員は、ブルンジでの医療活動を拡大する予定です。





## アメリカ

毎年5月最終月曜日の戦没将兵追悼記念日の週末、ワシントンD.C.郊外では「ビバ! ビエナ!」フェスティバルが開かれています。1990年代半ばに同フェスティバルを始めたバージニア州ビエナRCのガンナー・スパフォード会員によると、料理やウクレレ演奏、プリンセスの衣装を着た女性たちの歌唱などが展開され、これらが命を落とした兵士を弔う一大イベントへと成長し、昨年は6万人が来場。チャリティー型の催しでもあり、総額23万ドル(約3,500万円)が集まりました。その中で最も収益を上げたのは、移動遊園地の利用料約13万ドル(約2,000万円)でした。次に収益が多かったのは業者の出店料。メイン会場の公園に近ければ近いほど、料金が上がる仕組みです。「ひとたびロータリー関係者が来場すれば、『ビバ! ビエナ!』の集金力を実感してもらえそうです」とスパフォードさん。



# 14世紀

「フェスティバル」という単語が誕生した時代

## アルバニア

アドリア海沿岸にある港湾都市で、ドゥラス・ローターアクトクラブは12月、30の貧困世帯にケアパッケージを届けました。「家庭ごとのニーズに合わせて用意したことがプロジェクトの成功に大きく寄与した」と同クラブ会長のゲリ・エミリさん。ローターアクトたちは、各世帯の人数、性別、健康ニーズに関する情報を集めた上で、金銭や現物の寄付を通じて確保した物資をまとめました。この他、クリスマス用の菓子パン・パネトネやレモネード、果物と野菜、衛生用品、洗剤、児童書、おもちゃ、衣類、家電、家具なども配布。この援助は「ささやかであり、家庭の諸問題を解決するものではありませんが、地域住民との関係を深めることが目的です」とエミリさん。

# 紀元前 620年

エピダムヌス(現・ドゥラス)  
が建設された年代

## メキシコ

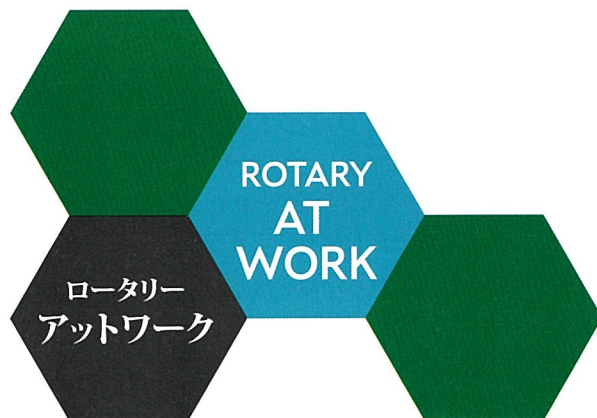
アメリカとの国境沿いの町ヌエボ・ラレドには、まだほとんどの家庭に水道や電気がありません。ヌエボサンタマリアRCは2018年、その町のコメドルサンタマリア学校で、15万ドル(約2,300万円)のコミュニティーキッチンプロジェクトを立ち上げ、20年8月にキッチンを開業しました。コロナ禍により当初は持ち帰りのみでしたが、21年5月には食堂を開業。「毎日230人の子どもに朝食と昼食を提供するために、運営費が9,300ドル(約140万円)がかかります」と同クラブ会長のホルヘ・テヨさん。資金は企業や個人からの寄付金で賄い、クラブ会員は運営を監督し、キッチンにソーラーパネルを提供しています。

# 30,000 食以上

2023年にコメドル  
サンタマリア学校で  
提供された食事の数







# 国際支援 RI 会長の言葉を胸に未来へ

浜松南 R C

第 2620 地区・静岡県

当クラブは今年度、スリランカのコロombo西 R C とのグローバル補助金事業として、コロombo市のスリランカ国立病院（N H S L）に医療機器を贈りました。1 月 24 日、病院内での引き渡し式は、ゴードン R. マッキナリー R I 会長も出席し、盛大に行われました。

当クラブは 2015 年、スリランカ出身で今年度の会長を務める<sup>\*</sup>アーネスト・ララカ・シルバー氏による縁で、コロombo西 R C と姉妹クラブ関係を締結。それ以降、同国の村に井戸を提供したり、幼稚園に遊具やパソコンを提供するなど、共同で奉仕活動を行ってきました。今回はララカ氏の会長就任年度に実施の照準を合わせ、その 2 年以上前に先方に要望を尋ねたところ、N H S L に新設の救急治療室に設置する医療機器を提供してほしい、とのこと。コロナ禍中も着々と準備を進め、患者用モニター 4 台、気管支スコープ 1 台、ポータブル超音波装置 1 台、心電図計測機器 1 台を寄贈。医療機器は N H S L を通じ、現地で調達してもらいました。

引き渡し式には、日本から当地区の中村皇積<sup>こうせき</sup>ガバナーと

ララカ会長（＝右写真）をはじめ 8 人が出席。先方からもガバナーをはじめ会員や、病院関係者、マスコミ関係者らが出席。事業費は総額 1,500 万円に上り、当地区としても過去最大規模の事業となりました。

式典に出席したマッキナリー R I 会長は「いろいろなグローバル補助金事業を見てきましたが、日本で暮らすスリランカ人の会長をきっかけに、両国のクラブが共同事業を行ったことは特別なことです。大変うれしく思います」とコメント。両クラブ会員ともその言葉を胸に刻み、これまで築いてきた関係を生かし、今後も友好関係と国際支援を続けていこうと、決意を新たにしました。（＊編集部注 ララカ氏については本誌 2023 年 12 月号縦組み「この人訪ねて」参照）





# END POLIO NOW を 胸に力走！

掛川RC

第 2620 地区・静岡県

1月28日に開催された「第11回掛川市城下町駅伝競走大会」に、当クラブ会員4人がチームを作って参加しました。4人は胸に「END POLIO NOW」のロゴが入ったおそ



ろいの赤いTシャツを着て出場。沿道から他の会員たちの声援を受ける中、ロータリーのポリオ根絶活動を訴えながらの力走となりました。

結果は約100チーム中の86位でしたが、高校生ら若者に交じり、50～60代のチームが奮闘する姿は、大いに市民らの注目を集めました。

# タイ医療機器支援 その後を視察

出雲中央RC

第 2690 地区・島根県

当クラブは2022年、タイ米山学友会の協力と地区独自の「世界社会奉仕補助金」にて、タイのワットプレーン病院へ新型コロナ重症患者用の人工呼吸器を寄贈。渡航可能と判断した今年2月22日、会員7人で視察に行ってきました。現地ではクラブがお世話した元米山奨学生で同学友会のタンサガーサクツィー、ブサコーンさんの案内で、副院長らから報告を受けました。人工呼吸器が届いて以降、新型コロナで亡くなった患者は一人もいないとのこと。支援を行って、本当に良かったと実感できました。



# 書から始める新たな年

大宮西RC

第 2770 地区・埼玉県

当クラブでは1月13日、日本文化の一つである「書」を取り上げ、新年例会を開きました。クラブには書道家の円谷友香会員が在籍し、今年度は米山記念奨学委員長を担当しています。そこで、当クラブがお世話する米山奨学生と、地区内の米山奨学生・学友も招き、日本文化としての「書」を体験してもらいながら、われわれとも交流を深めることにしました。

例会前に会員と26人の米山奨学生・学友と一緒に書き初め。半紙ではなくTシャツに、それぞれの好きな言葉、思いを筆で書き、発表しました。それが会話のきっかけにもなり、会員にとってはクラブ以外の奨学生・学友と触れ合う貴重な機会となりました。

その後の例会では円谷会員が大筆を使ったパフォーマンスを披露。横幅3mの白い板に、力強い筆致で今年度のクラブのスローガンを書く

と、大きな拍手が起きました。また、当地の氏神である武蔵一宮氷川神社による新年の祝詞の奏上、またその雅楽の響きに一同耳を傾けました。懇親会ではアトラクションで「二人羽織」を行うなど、日本文化の厳かな一面と、愉快な一面とを共に体験。大いに楽しみつつ、心新たな活動のスタートとなりました。





# ひとり親家庭に ランドセルをプレゼント

熊本江南RC

第2720地区・熊本県

1月14日、(社福)熊本県ひとり親家庭福祉協議会が毎年開催する「新入学児童お祝い会」にクラブとして参加。地区補助金を活用し、今年4月から小学校に通う新1年生のいる家庭へ、ランドセルや文房具を寄贈しました。当日は子どもたち33人とその保護者が出席しており、井戸川寛会長ら会員がランドセルを手渡しすると、子どもたちは満面の笑みで応えてくれました。



# まさに“みんな”の音楽祭

松本城RC

第2600地区・長野県

障害児を持つ親の会の要望を受け、クラブは2月3日、松本市周辺の障害者グループを中心にした音楽祭を開催。インターアクターや、当クラブの活動で知り合った健常児らも招待しました。親クラブ・松本RCの有志による相撲甚句で始まり、6グループ約100人の出演者たちが演奏やダンスを披露。最後は全員がステージ上で、ダンスを踊りました。「感動した」「涙が出た」といった声が多く、観客から寄せられ、「まさに“みんな”の音楽祭になった」と成功を喜び合いました。

# 科学奨励賞の小中学生を表彰

新居浜RC／新居浜南RC

第2670地区・愛媛県

小中学生の優れた自由研究をたたえる「科学奨励賞」の表彰式と発表会を1月6日、新居浜市の県総合科学博物館で開きました。科学との触れ合いを通して豊かな人間性を育んでもらおうと、市教育委員会と新居浜RC、新居浜南RCが毎年実施しており、今回で19回目となりました。

市内の児童生徒から2,918点の応募があり、同博物館

職員や新居浜工業高等専門学校の先生や、地元企業の一つ、住友化学(株)の研究員、小中学校の先生が審査して、特選5点、優秀13点、入選30点の計48点を選出。そのうち過去5回以上、特選または優秀賞を受賞した1人には、特別賞「あかがね賞」を贈りました。いずれも身近な疑問を題材にして、地道に観察したり、実験したりしてまとめた研究成果です。発表会では特選受賞者が、魚の泳ぎ方や分解できるプラスチック作りなどについて、堂々と披露。2月上旬には、両クラブの例会でも発表してくれました。

ここ新居浜は別子銅山、住友グループと共に発展してきた“工都”です。特別賞の「あかがね」も銅の別称であり、科学奨励賞は、そんな土地柄ならではの取り組みといえます。受賞を励みに探究心がさらに膨らめば、ひょっとして未来のノーベル賞につながるかもしれません。そうなれば、主催者としてこの上なく光栄なことです。





# 子ども議会 中学生が市長と質疑応答

守口RC

第 2660 地区・大阪府

当クラブは昨年 12 月 25 日、守口市の協力を得て、4 年ぶりに「守口子ども議会」を開きました。市内の中学生 16 人が市議会議員となり、実際の議場で一般質問を行うという企画で、瀬野憲一市長や田中実教育長本人が答弁。本番さながらの体験となりました。

江端将哲クラブ会長のあいさつに始まり、議場は凜とした

雰囲気。子どもたちの緊張感がビリビリと伝わり、保護者も固唾をのんで見守ります。ところが、いざ議会が始まれば、中学生たちは大人顔負けの落ち着いた態度で、質問もハキハキと述べ、お辞儀一つとってもしっかりしたもの。相対する瀬野市長も、真剣に丁寧に回答していました。

具体的には公園遊具の減少への問いや受動喫煙、騒音、市内施設のトイレ、図書館の自習室の問題点など、中学生



たちの身近な疑問を指摘。一般質問に加え、中学校でのバスケットゴールやエレベーターの設置、通学路の安全の確保、老朽化した体育館の改修など、自らが関係する事柄を基にした具体的な要望も伝えました。

クラブとしては今回の体験が、中学生が市政への関心を持ち、政治にどう向き合うかを考えるきっかけの一つになればと願っています。

## 笑顔いっぱい餅つき大会

有田 2000 RC

第 2640 地区・和歌山県

当クラブは 1 月 17 日、地元の福祉団体が実施する子ども食堂「カラフル食堂」の利用者と餅つき大会を開きました。会員は事前に練習し、前日から準備。当日は子どもたちが「重た〜い」と言いつつ、大きな杵にも挑戦し、米が餅に変わる様子に大喜び。つきたての餅は柔らかくておいしくて、たくさん食べて笑顔がいっぱい。9 升分のもち米があっという間になりました。保護者からはお礼の言葉も頂き、会員にとっても貴重な交流行事となりました。



## 子どもたちとつくる音楽会

渋川RC

第 2840 地区・群馬県

当クラブは「子供達の未来を応援！」を長期ビジョンに据えて活動しています。その一環として 2 月 12 日、渋川市と近隣の中学校 9 校の吹奏楽部員 150 人と陸上自衛隊第 12 音楽隊による音楽会を開きました。12 月と 1 月の事前練習では、第 12 音楽隊の丁寧な指導により生徒たちはメキメキ上達。共演者同士の親近感もぐっと高まり本番へ。

当日は 1,000 人以上の聴衆を前に合同演奏。大きな拍手に包まれ、生徒たちは達成感と自信を持てたようです。子どもたちへ、素晴らしい経験を提供できました。



## 地域を掘り起こし 薄田泣堇を知ろう！

倉敷水島 R C

第 2690 地区・岡山県

当クラブは今年度、倉敷出身の薄田泣堇（1877～1945）を紹介する小中学生向けの動画を制作。泣堇は詩人、随筆家として活躍し、芥川龍之介や菊池寛など多くの才能を見いだした郷土の偉人ですが、地元の子どもたちにあまり知られていません。そこで岡山大学の学生に台本の執筆、地元高校生に詩の朗読を依頼し、動画制作に着手しました。

2月13日、泣堇の生家で動画のDVDの贈呈式を開催。今後は彼の生家で、来場者向けに放映されることになりました。併せて、倉敷市教育委員会を通じて市内全小中学校に寄贈しました。



## 豪雨被災地の新設校へ 図書寄贈

熊本中央 R C

第 2720 地区・熊本県

当クラブは2月8日、球磨村立球磨清流学園に図書235冊を寄贈しました。球磨村は2020年の熊本豪雨で被災。同園は被災した小中学校を閉校し、新たに9年制校として4月に開校。その支援として今回の寄贈を決めました。

贈呈式で坂口滋一会長は「本の中には大きな世界があり、知識だけでなく夢が詰まっています。本からたくさん学び、故郷や世界で活躍を！」とエール。会員一同、本が子ども達の心を育む貴重な資源となるよう、願っています。

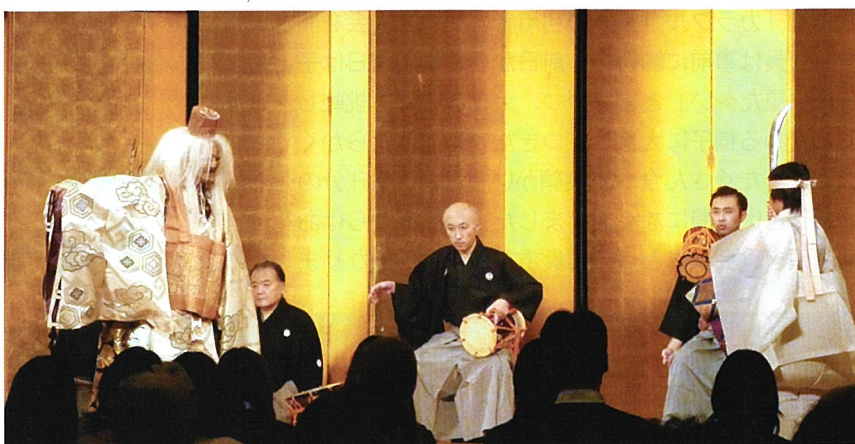
## 日本の伝統芸能を後世へ

東大阪 R C

第 2660 地区・大阪府

2月3日、大阪市内のホテルにて、当クラブがホストを務め、地区IM第4組ロータリーデーを開催。「日本の伝統芸能を後世に継承するために」と題して能楽公演他を行いました。ロータリアンとロータリー学友に加え、一般にも公開し総勢255人が来場。オンライン配信も行い、多くの視聴がありました。

能楽師（観世流シテ方）井上裕久氏が「繋ぐと言う事（世阿弥の言葉より）」と題して講演。650年間、絶えることなく脈々と継承される能について、分かりやすく解説していただきました。その後の能楽公演では華やかな装束を身に付け、演目「絵馬」からは舞囃子、「羽衣」からは仕舞、「鞍馬天狗」は全編を披露。舞や謡を通して静や動、それぞれにある「幽玄の美」を表現し、圧巻の舞台でした。シテ方・ワキ方には継承者として小中高生の姿も見えました。囃子方の役割を含め、完成された伝統文化を目の当たりにし、観客も大いに感銘を受けました。



公演後は、参加者から多数の質問が寄せられました。井上氏がそれらに丁寧に応答していき、理解を深めることができました。能をはじめとした伝統芸能には、継承問題が付きまとう昨今ではありますが、今回は素晴らしい公演を通じ、一般への理解や興味を広げる一助となりました。なお、公演の様子は当クラブのウェブサイトにて配信中です。  
[www.higashiosaka-rc.jp/](http://www.higashiosaka-rc.jp/)



# 2023 - 24 年度 地区大会略報

V



世界に希望を生み出そう



## 第2750 地区

2024 年 2 月 26 ~ 27 日  
グランドプリンスホテル新高輪  
ホスト 東京三鷹 R C



宮崎陽市郎ガバナー 2,300 人以上の会員、R I 会長代理には佐藤芳郎 R I 理事を迎えての開催。国際移住機関でウクライナ勤務を経験したロータリー平和フェロー、井上悦子氏とガバナーのウェブ対談に続き、ウクライナの伝統楽器バンドウラの奏者・歌手のカテリーナ・バンドウリスティ氏の演奏。さらに海上自衛隊元海将の伊藤俊幸氏の特別講演「世界平和とリーダーシップ」を耳にして、平和実現に向けても行動が重要と認識。地区スローガン「行動しなけりゃ意味ないね!!」を共通の意志に変え、会員を鼓舞する大会となりました。



## 第2580 地区

2024 年 2 月 28 ~ 29 日  
帝国ホテル東京  
ホスト 東京ベイ R C



栃木一夫ガバナー 菅原裕典 R I 会長代理を招き、2 部構成で講演を開催。第 1 部は東京未来大学こども心理学部長で犯罪心理学者の出口保行氏から、青少年犯罪から見てくる心理面の問題。第 2 部では (株) 帝国ホテル代表取締役社長の定保英弥氏から「TOKYO CROSS PARK 構想と帝国ホテル東京の建て替え」の話が聴けました。次代を担う青少年が犯罪に陥る大きな要因とその対策、ポール・ハリスも宿泊した帝国ホテルの周辺地域や企業を巻き込んだ再開発構想から未来の方向性に関する気付きが得られ、有意義な大会でした。



## 第2680 地区

2024 年 3 月 2 ~ 3 日  
神戸ポートピアホテル  
ホスト 三田 R C



安行英文ガバナー 中谷研一 R I 会長代理を迎えて開催。「平和」を大会テーマに掲げ、記念講演「ロシアとウクライナの戦争は、世界をどう変えるのか」では、国際政治学者のグレンコ・アンドリー氏が国際秩序維持のためにウクライナでの戦争を止める必要があること、国際社会からの継続支援の重要性を訴えました。その他にも、地区が「環境保護」を題材にローターアクト、インターアクト、青少年の学友らに紙芝居の作品を募集したコンテストでは、各部門の入賞者が壇上で作品を読み上げて発表。表彰を受けました。



## ロータリアンとの交流が モチベーションにつながる

創立：1972年5月11日  
会員数：12人  
例会日：第2・4水曜日 18:30～20:00  
スポンサークラブ：堺RC  
(第2640地区 大阪府)



上・右：地元の祭りでバザーを出展する堺RACの会員たち  
下：社の参集殿で例会を実施



堺RACは、方除け祈願<sup>ほうよけ</sup>で有名な方違神社<sup>ほうちがいの</sup>の参集殿を借りて例会を行っています。クラブは堺市内に勤務する会社員で構成され、転勤で出入りが多く、約2年で会員が入れ替わります。引き継ぎや後進指導が難しいという課題を抱えながらも、継続事業として地元の堺まつりに出展し、チャリティーバザーで未使用の日用品や雑貨などを販売、また、市の広報誌に開催案内を掲載することでローターアクトの広報を行っています。

今年度は昨年10月15日、メインストリートの大小路通りに面した絶好の場所、紀陽銀行堺支店の駐車場を借り出展。晴天に恵まれ、バザー開始前から多くの人々が列を作りました。10時から16時まで、堺RAC会員全員に他クラブ1人が加わって設営準備、運営を行い、売り上げと寄付金の合計17万7,350円が集まりました。この資金を基に、クラブでは例年奉仕活動を行っており、今年初めには花苗を持参して児童福祉施設を訪問、子どもたちと花壇に植栽をしたり、遊具を寄付し

と一緒に遊んだりしました。

今回、スポンサークラブである堺RC会員の皆さんにもお越しいただき、呼び込みへの協力、飲料などの差し入れを頂いたことで、メンバー全員のモチベーションアップにつながり、最後まで明るくやり遂げる活力となりました。ご協力いただいたロータリー関係者の方々に感謝します。

ロータリアンの皆さんには私たちとの活発な交流をお願いするとともに、卓話などの形で若者の意見を聞く場を提供することで役立ちたいと思っています。お気軽にお声がけください。

(堺RAC 青野 弘幸)

### POINT

会員の入れ替わりが激しい中での継続事業は、ロータリアンとの活発な交流のたまもの

### Let's Collaborate

堺RACへのご連絡、活動の詳細は堺RCへ



あなたの地域で活躍するローターアクトクラブの取り組みを、編集部 hensyu@rotary-no-tomo.jp までお知らせください。



## 尊重することの大切さ

インターアクター 小屋くるみ



私はインターアクターとしての活動で、「尊重すること」の大切さを知りました。その大きなきっかけが、昨年本校で開催された第2780地区第33回インターアクト年次大会です。

「Now for the future ～『比べる』を『尊重』に～」を掲げた大会では、(公財)

日本財団パラスポーツサポートセンター常務理事の小澤直氏に講演していただきました。中でも「車いすに乗っていることで、タクシーに乗車拒否されることがある」というお話が印象に残りました。

その後のディスカッションでは、障害があることで生じる困りごとについて話し合ったのですが、本当にたくさんの意見が得られ、多くのことに気付きました。障害の有無にかかわらず、他者を大切にしたい気持ちがこれからの社会に必要なだと思います。

昨年は台湾で行われた研修にも参加しました。言葉が通じずコミュニケーションに悩みましたが、現地の学生は翻訳機に頼るだけではなく、翻訳した日本語を発音しようとしていました。異なる言語を理解しようとする姿に、思いやることの大切さを学びました。

私は将来、法律に関わる仕事に就きたいと考えています。さまざまな問題で悩む人の思いをくみ取り、助けられる人になりたいからです。そのために、自分と異なる考えや価値観を理解し、尊重していけるように、これからも人との交流を大事に活動していきたいと思っています。

神奈川県在住。北鎌倉女子学園高校3年、同校IAC所属。2023-24年度第2780地区第33回インターアクト年次大会地区委員長。同年、台湾研修に参加する。趣味は箏(こと)と書道。

## 奉仕は自己犠牲なのか？

ローターアクター 柿本 知樹



奉仕とは自己犠牲なのか？と考えたことがあります。この文章を読んでいる皆さんは、きっと自己犠牲でないとお答え

になるでしょう。私もそうです。なぜなら、ロータリーの考えに触れることで「報いられる」と知ったからです。

私がボランティアを始めたのは21歳の頃。金銭面や家庭環境など、さまざまな事情を抱える子どもたちも、勉強することで豊かな人生を歩んでほしいと、無償で学習支援を行ってきました。そんな子どもたちが大きくな

り、私に会いに来てくれることがあります。就職活動で使うエントリーシートの添削をしてください、という連絡が来た時には、感慨深いものがありました。

現在、私は会社に勤める一方で、それ以外の時間を主催するNPOでの活動に当てています。人はプライベートをボランティアに費やす私に、「休みはないの？ それでいいの？」と聞いてきますが、人を幸せにできて、社会が良くなり、自分も豊かになるという、こんなにも素晴らしい時間の使い方は他にないと確信しています。

世の中には、子どもたちのために時間と労力を惜しまない大人がいます。私はボランティア活動を通して、会社勤めでは出会えなかったような、心意気のある大人たちと最高の関係を築くことができました。やはり、奉仕は自己犠牲ではないのです。私は今、最も多く報いられていると感じています。

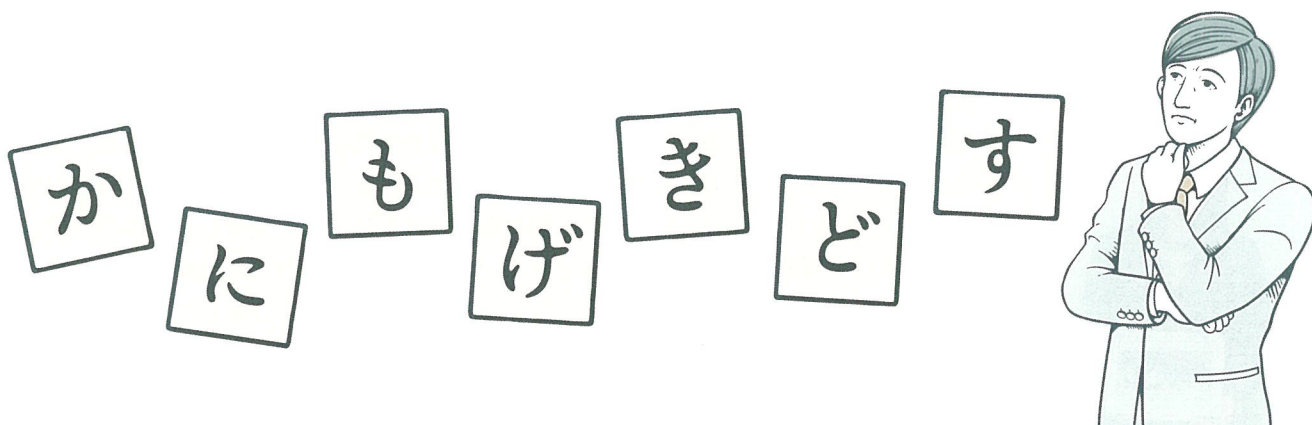
愛知県春日井市出身。名古屋熱田RAC所属。会社員。NPO法人東海つばめ学習会理事長。趣味は能や漫才を見ることが、夢は純文学作家になること。

●皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者(現役、学友どちらでも可)を『友』編集部にご推薦ください。hensyu@rotary-no-tomo.jp



カードの文字の順番は？

出題：小野寺 紳  
作画：ライトマン



文字の書かれたカードを前に悩んでいる同僚がいます。

「カニも激怒す…って何のこと？」

「いや、後輩からこのカードを順序正しくなるように並べてほしいって問題を出されて悩んでいるんだ。

何かルールがあるらしいのだけど…どこかで耳にしたような組み合わせな気もするし…」

「あっ、なんとなく分かった。私は特に『ど』と『に』が好き。もし『に』『も』『げ』『き』『す』のカードにそれぞれ一文字ずつ足してあったら、誰でも分かると思う」

さて、どんな順番にしたらよいでしょうか？

『げ』から順に7枚のカードの文字を並べてください。

答え

おなじみのデザイン！

これで『友』電子版もスラスラ読める



毎月10人に  
三菱鉛筆 uni タッチペンを  
プレゼント!!

◆ パズル de ローター応募方法 ◆ 郵送での応募は郵便はがきに①「5月号の答え」②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事とその感想をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階（一社）ロータリーの友事務所 P 係までお送りください。④に関する回答は、「声」欄（縦組み）に掲載させていただくことがあります。会員以外のご応募も大歓迎です。

WEB 応募は下記の URL、または右の 2 次元コードから。  
[rotary-no-tomo.jp/puzzle.php](http://rotary-no-tomo.jp/puzzle.php)



◆ 締め切り ◆ 2024年6月10日(月)必着（当選発表は8月号）

●パズル de ローター（2月号）の答えと当選者は、横組み P46 に掲載しています。

詰め碁



出題

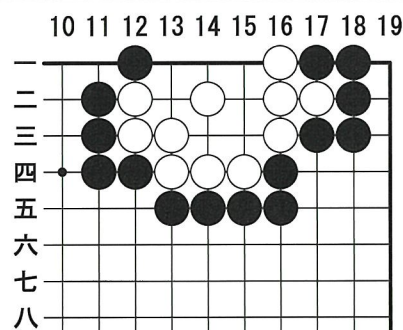
日本棋院

問題

黒先

手順良く攻めて手にします。  
(5分で初段)

●詰め碁の解答は、横組み P46 に掲載しています。  
(※詰め碁にはプレゼントはありません)







\*アメリカ・エバンストンは、国際ロータリー（R I）世界本部の所在地です

## 女性への支援に尽くす会員を ロータリーが表彰

文：Etelka Lehoczky

R I の「シルビア・ウィットロック・リーダーシップ賞」の 2024 年の受賞者に、インド、プネ・デカン・ジムカーナ・ロータリークラブ（R C）会員で第 3131 地区ガバナーのマンジュ・ファドケ会員が選ばれました。ファドケさんは、数多くのプロジェクトを通じて 10 万人以上の女性を支援してきました。「女性たちの多くは“自分は価値が低い”と思い込んでいる気がします。価値が低いということはない、何事もやる気さえあれば可能だ、という自信を与えたいんです」とファドケさんは言います。



「ファドケさんは仕事や社会において功績を残し、前向きな姿勢と情熱にあふれています。このことが、影響力あるリーダーとして、また変革の推進者として優れている理由です。女性たちのために固い決意で活動しています」とは、第 3131 地区ロータリー財団委員長シャイレシュ・パレカーさん。「残念なことに、インドの女性たちは自分たちをないがしろにする傾向があります。ミルクがあれば、男や息子たちにあげるべきだと考えてしまうんです。一家の女性が健康であれば、家族全体が健康になれるということを、女性たち自身が理解する必要があります」とファドケさん。

彼女は子宮頸がんの主な原因である

ヒトパピローマウイルス（HPV）の予防接種率の向上のためにロータリー財団から 80 万ドルの補助金を確保しただけでなく、業者との価格交渉にも当たり、ワクチン 1 回につき、通常価格の 3 分の 1 の価格で仕入れることを可能に。こうした努力もあり、農村部などの女兒約 2 万 5,000 人への予防接種を達成しました。

また、生活スキルを女兒たちに教えるために、動画と冊子を使ったプログラムの立ち上げも手助けしました。地区では、ビタミン剤と衛生用品も無料で配布し、推定 10 万人の女兒を支援しました。低所得の学生向けの職能教育施設 SkillArbor を運営するファドケさんにとって、このプログラムの企画に携わったのは自然な選択でもありました。「学びながら収入を得る」というアプローチを取るこの施設は、プログラムの初日に、参加者と雇用主を結び付けます。自らが起業家であるファドケさんは、自営業に就きたい女性の援助に特に関心を持っています。デリバリードライバーのビジネスに関心のある人向けの運転手教育プログラムでは、地区の募集で約 1,000 人の若い女性が集まりました。「彼女らが運転方法を習得できれば、流通会社の運転手として雇用されると思ったのです。学校への子どもの送迎に使えるバンも提供しました」

自治体や地元の福祉団体とも緊密に協力し、10 年以上にわたり、女性を対象とした無料のワークショップを開催してきました。自身にとって一番印象に残っているのは、武術を他の少女たちに教えるビジネスを立ち上げた 17 歳の少女。「彼女は武術のクラスを開校し、今とても繁盛しています。『ビジネスが成長して高収入が得られるようになり、周りの人たちは驚いている』と彼女が言っているのを聞いて私も感動しました」とファドケさん。

法律や人権について女性たちが理解できるよう、6 年にわたり、プネ警察本部の女性安全委員会のメンバーを務め、週に約 10 人の女性に助言を行っています。

一番好きなロータリーのプログラムは R Y L A（ロータリー青少年指導者養成プログラム）で、2003 年の入会以来携わっています。

-2024 年 3 月  
-Rotary International  
PHOTOGRAPH: COURTESY OF MANJOO PHADKE

## 今後の R I 国際大会

2024 年 5 月 25 ～ 29 日

シンガポール

（以下、予定）

2025 年 6 月 21 ～ 25 日

カナダ・カルガリー

2026 年 6 月 13 ～ 17 日

台湾・台北

2027 年 6 月 5 ～ 9 日

アメリカ・ハワイ州ホノルル

2028 年 6 月 3 ～ 7 日

フィリピン・マニラ

## 統計

全世界ロータリアン総数

1,177,787 人

クラブ数 36,902 クラブ

地区数 520 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 177,145 人

クラブ数 10,734 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 355,327 人

クラブ数 15,449 クラブ

国と地域 150 以上

2024 年 3 月 19 日現在

## 野生型ポリオウイルス による症例数

掲載ウェブサイト：

G P E I（世界ポリオ根絶推進活動）

[polioeradication.org/polio-today/polio-now/this-week/](http://polioeradication.org/polio-today/polio-now/this-week/)（2024 年 3 月 27 日現在）

|      |         | 2024年 | 2023 | 2022 | 2021 |
|------|---------|-------|------|------|------|
| 常在国  | パキスタン   | 2     | 6    | 20   | 1    |
|      | アフガニスタン | 0     | 6    | 2    | 4    |
| 非常任国 | モザンビーク  | 0     | 0    | 8    | 0    |
|      | マラウイ    | 0     | 0    | 0    | 1    |
| 世界合計 |         | 2     | 12   | 30   | 6    |

\*ロータリーで女性の活躍促進に尽力したロータリー会員 1 人を毎年たたえるための賞。初の女性ロータリークラブ会長となり、ロータリーを通じて世界中の女性のために変化の先頭に立ってきたシルビア・ウィットロックさんにちなんで名付けられました。ロータリアンのグループによって創設、R I 理事会の決定により正式な賞となりました。





世界保健機関のエイデン・オリーリー氏

## RI 指定記事

## シンガポール国際大会

シンガポールで  
希望を分かち合おう

シンガポール国際大会がいよいよ  
今月 25 ～ 29 日、幕を開けます。

ポリオ根絶活動の講演をする世界保健機関（WHO）のポリオ根絶責任者、エイデン・オリーリーさんをはじめとする著名人たちの講演は、カナダのラドナー・ロータリークラブ（RC）のクリス・オファー会員が毎年国際大会に参加する理由の一つ。「いつも素晴らしい話を聞くことができる」とオファーさん。オファーさんの妻ペニーさんも同クラブ会員で、国際大会に合わせて夫妻でバカンスを楽しむようになっています。国際大会の高揚感と「新しい友達が大勢できるのが好きだ」と言います。

他にも、文化的な習わしを通じて地域社会の癒やしを支援するロータリー平和フェローのアレクサンドラ・ローズさん、公衆衛生のタブーを打ち破り「世界トイレ機関」を設立したジャック・シムさんなどが講演者に名を連ねます。

シンガポールのフード&ミュージックフェスティバルのガストロビートは 5 月 25 日、ロータリーの貸し切りになります。友愛の家で交流し、会員増強やプロジェクトのインパクトを深める方法など数十のテーマから選べる分科会に、ぜひご参加ください。

バグパイプのロックバンド、レッド・ホット・チリ・パイパーズの演奏もお見逃しなく。

国際大会の詳細・登録はこちら  
[convention.rotary.org/ja](https://convention.rotary.org/ja)



## ロータリー財団管理委員長からのメッセージ

## 奉仕を中心に据える

ロータリーにはどこかマジックのようなものがあります。入会してからもう何年もたちますが、今でも驚きが絶えません。さまざまな経歴や分野で成功したリーダーが、奉仕を中心とする一連の中核的価値観の下に結集し、そこにネットワークと友情が加われば、マジックが起こります。そのマジックを起こすのは、皆さまです。熱意とスキル、関心をあらゆる活動につぎ込む事業主であり、地域社会のリーダー、起業家である皆さまは、常識にとらわれない発想や知識を生かして人々に奉仕しています。そのマジックは、ロータリー財団補助金プロジェクトでも起こります。

経済と地域社会の発展のための職業訓練を支援するカナダとウガンダのクラブの合同プロジェクトでも、このマジックが見られます。このグローバル補助金プロジェクトでは、障害児の養護施設に寄贈する車いすを作るのに必要な溶接や他のスキルを、ウガンダの若者たちに教えています。カナダで研修を受けた若者たちは、起業に必要なスキルを習得して帰国し、地域社会で車いすを必要とする人々のために貢献します。

グアテマラでのプロジェクトは、ロータリーの持つ起業家精神を色濃く反映しています。遠隔地の学校ではインターネット利用が限られているという問題を解決するため、現地のクラブがアイルランドの会員と協力して、ソララ地方の六つの学校と三つのコミュニティーセンターに、書籍や動画などの学習資料の入ったプラグ・アンド・プレーのサーバーを設置するプロジェクトを立ち上げました。ノートパソコンと無停電電源装置（UPS）の寄贈、教師の研修、識字・教育用テクノロジーの活用により、約 1,800 人が恩恵を受けました。

グローバル補助金の活用法としては奨学金もお忘れなく。一例として、疾病予防と治療における人工知能の活用に焦点を当てた、イタリアとドイツのクラブが提唱した奨学金があります。イタリアからの奨学生サルバトーレ・ガラティさんは、ドイツのボンにある大学で、革新的な医薬品開発のために AI アルゴリズムを使用し、膨大なデータセットを分析する研究を実施。AI を利用したアプローチで、人々の命を救う医薬品の開発におけるコストと研究時間を削減できます。財団補助金で新しいアプローチやテクノロジーを活用するのは素晴らしいことです。

今月、2024 年ロータリー国際大会が開幕します。開催地シンガポールで皆さまにお会いできることを楽しみにしています。奉仕と革新の新しい可能性について一緒に学びましょう。次年度に続くロータリーのマジック、そして世界に希望を生み出すさまざまな方法を、共にシンガポールでたてましょう。

BARRY RASSIN

2023-24 年度ロータリー財団管理委員長



## バリアフリー演劇を東京で開催 「ヘレン・ケラー ～ひびき合うものたち～」

東京荒川ロータリークラブ

目が見えない人や耳が聞こえない人、心身にさまざまなハンディキャップを持つ人たちも、みんな一緒に舞台芸術が楽しめるよう、支援の仕組みを取り入れた演劇を「バリアフリー演劇」と呼んでいます。今回の演目は、聴力・視力を失いながらも講演家・作家として活動したヘレン・ケラーのお話。演劇には舞台手話通訳が登場し、セリフや音楽は字幕表示、劇中で起きていることを解説する音声ガイドも設けます。障害のある・なしにかかわらず一緒に楽しめる演劇を目指します。ぜひご来場ください。



舞台上に表示される字幕と手話通訳(左)

### ■概要

|        |                                                               |
|--------|---------------------------------------------------------------|
| 日程     | 2024年5月18日(土) 14時開演                                           |
| 場所     | サンパール荒川(東京都荒川区)                                               |
| 内容     | 東京演劇集団風<br>「ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち～」                               |
| 来場対象者  | ・ハンディキャップを抱える方<br>・子どもの保育・教育に携わる方<br>・地域を元気にしたいと考える方<br>・一般の方 |
| 入場料    | 無料(要事前申込・全席自由席)                                               |
| チケット   | ACC(町屋文化センター／サンパール荒川)<br>☎ 03-3802-7111                       |
| 主催     | 東京荒川ロータリークラブ                                                  |
| 共催     | 荒川区／(公財)荒川区芸術文化振興財団                                           |
| 後援     | 荒川区教育委員会／<br>荒川区社会福祉協議会                                       |
| 協賛・協力  | (株)ADEKA／東京商工会議所荒川支部／<br>(公社)荒川法人会／城北信用金庫                     |
| お問い合わせ | 東京荒川ロータリークラブ事務局<br>☎ 03-3806-2833                             |

## バイク好き集まれ!! 北海道でIFMRジャパン大会開催!

IFMR日本支部

バイクのロータリー親睦活動グループ(IFMR)の日本支部は、北海道の大自然が最も美しい季節に、親睦を深めるためのジャパン大会を開催します。懇親会でおいしい地元の食事を楽しみ、翌日は仲間と一緒にツーリングを楽しみませんか?

各地区のガバナー事務所へは、詳細なご案内を送付しています。内容をお確かめの上、お申し込みください。



### ■概要

|        |                                                                    |
|--------|--------------------------------------------------------------------|
| 日程     | ▼例会・懇親会<br>2024年7月27日(土) 17:30～<br>▼ツーリング<br>2024年7月28日(日) 早朝から昼まで |
| 懇親会の会場 | 旭川トーヨーホテル                                                          |
| 内容     | 例会(ガバナー出席)、親睦活動グループに関する卓話、懇親会(アトラクションあり)、ツーリング(希望者)                |
| 参加資格   | ロータリアンおよびパートナー                                                     |
| 登録料    | ロータリアン:1万5,000円<br>パートナー:8,000円(懇親会)                               |
| 登録締め切り | 2024年5月10日(金)                                                      |
| 登録について | ガバナー事務所へお問い合わせください                                                 |

ロータリー親睦活動グループ IFMR日本支部  
[www.facebook.com/groups/319773029812091](https://www.facebook.com/groups/319773029812091)





パズルdeロータリー 2月号の答え

正解は「6+9=15」

応募総数 137 人 正解者 136 人  
当選者(敬称略・順不同)／片柳克敏(葛生RC)、山田享司(豊橋RC)、渡辺友梨(徳島プリンスRC)、松山徹(福知山RC)、田中欣一(三郷中央RC)、宇田毅(大津中央RC)、徳永博光(指宿RC)、西方俊彌(新発田RC)、長井邦浩(東京浅草RC)、藤原拓志(玉野RC)

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 7 | 5 | 4 | 8 | 9 | 2 | 1 | 6 |
| 9 | 6 | 1 | 2 | 7 | 5 | 4 | 8 | 3 |
| 2 | 8 | 4 | 1 | 3 | 6 | 7 | 9 | 5 |
| 1 | 9 | 2 | 5 | 6 | 7 | 3 | 4 | 8 |
| 5 | 3 | 8 | 9 | 2 | 4 | 1 | 6 | 7 |
| 7 | 4 | 6 | 8 | 1 | 3 | 9 | 5 | 2 |
| 8 | 1 | 7 | 6 | 4 | 2 | 5 | 3 | 9 |
| 4 | 2 | 9 | 3 | 5 | 8 | 6 | 7 | 1 |
| 6 | 5 | 3 | 7 | 9 | 1 | 8 | 2 | 4 |

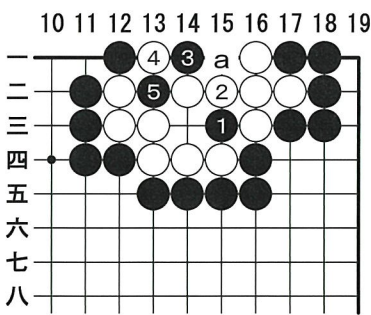
◆ P42 詰め碁の答え ◆

黒先コウ(15の三)

この問題に関するお問い合わせは、下記(公財)日本棋院認定係までお問い合わせください。  
TEL : 03-3288-8723  
FAX : 03-3261-5841

◆ 解説 ◆

黒1が肝心な手で、白2と換わってから黒3が好手順。続いて白も4の粘りがあり、黒5取りのコウが正解です。白2で3は黒2、白a、黒4で白死。初手で単に黒3は、白4、黒5、白aで白生きです。初手黒4は踏み込み不足で、白3で白生き。



障害者施設(作品)情報募集

次年度も引き続き、『ロータリーの友』では表紙で障害者アートを紹介していきます。皆さんの支援先となっている障害者施設、あるいはお知り合い先の施設を利用されている方の作品で表紙を飾りませんか? 作品の撮影に協力いただけるか施設に確認の上、ご紹介ください。この記事をご覧になった施設の方からの直接のご応募も歓迎です。

■募集要項

|    |                                                                               |
|----|-------------------------------------------------------------------------------|
| 内容 | ・施設名(支援クラブがあればクラブ名)<br>・施設担当者名<br>・連絡先(メールアドレス)<br>・PRポイント                    |
| 締切 | 2024年9月30日(月)                                                                 |
| 備考 | ・ご紹介くださった施設の方の作品が必ずしも掲載されるとは限りません<br>・施設内で制作をされている方の作品に限ります。個人で制作されている方は対象外です |
| 宛先 | <a href="mailto:hensyu@rotary-no-tomo.jp">hensyu@rotary-no-tomo.jp</a>        |





ROTARY

# お知らせ

## 新インターアクトクラブ

浜北西高等学校 (2620・静岡県)

提唱 R C 浜北

結成：2024 年 3 月 4 日

## 『友』誌上半期 ご購入数の変更について

- ① 次年度『友』誌上半期分 (2024 年 7～12 月号) 減部のご連絡は、2024 年 6 月 5 日までにお願いいたします。
  - ② 6 月 6 日以降の 7 月号の減部は、発送準備の都合により、ご容赦ください。2024 年 7 月 10 日までにご連絡いただければ、8～12 月号の減部として、お受けいたします。
  - ③ 部数変更のご連絡がない場合には、2024 年 6 月号と同数と同じ購入商品形態 (印刷版 / 電子版) でご購入されるものとして、ご準備いたします。
  - ④ 追加購読のお申し込み時に「印刷版」をご希望の場合は、在庫がある限りお受けいたします。
- 定価 275 円 (本体価格 250 円 送料別)  
▶ 詳細は本誌 5 月号同封の A 4 版で案内状でご確認を。

「電子版」閲覧時には、ID・パスワードが必要です。パスワードのみ半期ごとに変わり、7～12 月号のパスワードは、7 月 1 日付送付請求書の右下に記載しています。7 月 15 日以降は、新しいパスワードで電子版をご利用ください。

## ◆ 2024 - 25 年度版ロータリー手帳 ご注文はお早めに！

ご注文は、クラブ事務局を通じ、ロータリーの友ウェブサイトにて承っております。在庫ある限りのため、お早めにご注文ください。

定価 660 円 (本体価格 600 円 送料別)

## 地区別クラブ数・会員数一覧表

(2024 年 2 月末現在)

| 地区        | R C 数 | 会員数    | 23 年 2 月末<br>会員数 |
|-----------|-------|--------|------------------|
| 第 2500 地区 | 65    | 2,230  | 2,245            |
| 第 2510 地区 | 69    | 2,401  | 2,427            |
| 第 2520 地区 | 76    | 2,091  | 2,101            |
| 第 2530 地区 | 60    | 2,209  | 2,232            |
| 第 2540 地区 | 40    | 1,082  | 1,122            |
| 第 2550 地区 | 48    | 1,602  | 1,641            |
| 第 2560 地区 | 54    | 2,028  | 2,017            |
| 第 2570 地区 | 50    | 1,594  | 1,586            |
| 第 2770 地区 | 71    | 2,302  | 2,352            |
| 第 2790 地区 | 82    | 2,670  | 2,698            |
| 第 2800 地区 | 49    | 1,510  | 1,516            |
| 第 2820 地区 | 55    | 1,877  | 1,865            |
| 第 2830 地区 | 40    | 1,102  | 1,110            |
| 第 2840 地区 | 45    | 2,065  | 2,058            |
| 第 2580 地区 | 73    | 3,063  | 2,941            |
| 第 2590 地区 | 52    | 1,866  | 1,870            |
| 第 2600 地区 | 52    | 1,864  | 1,864            |
| 第 2610 地区 | 64    | 2,502  | 2,512            |
| 第 2620 地区 | 74    | 2,885  | 2,882            |
| 第 2630 地区 | 73    | 3,138  | 3,095            |
| 第 2750 地区 | 98    | 4,599  | 4,562            |
| 第 2760 地区 | 84    | 4,643  | 4,666            |
| 第 2780 地区 | 67    | 2,375  | 2,326            |
| 第 2640 地区 | 64    | 1,564  | 1,577            |
| 第 2650 地区 | 95    | 4,258  | 4,328            |
| 第 2660 地区 | 77    | 3,434  | 3,504            |
| 第 2670 地区 | 74    | 2,887  | 2,898            |
| 第 2680 地区 | 68    | 2,530  | 2,550            |
| 第 2690 地区 | 65    | 2,936  | 2,942            |
| 第 2700 地区 | 60    | 3,182  | 3,130            |
| 第 2710 地区 | 72    | 3,179  | 3,194            |
| 第 2720 地区 | 74    | 2,359  | 2,379            |
| 第 2730 地区 | 68    | 2,388  | 2,355            |
| 第 2740 地区 | 55    | 2,100  | 2,107            |
| 34 地区合計   | 2,213 | 84,515 | 84,652           |

### 日本のロータリー

会員数 84,254 人

クラブ数 2,204

(左の表中 34 地区合計から、第 2750 地区の P B グループを引いた数です)

ガバナー月信より 第 2750 地区クラブ数・会員数は、P B グループ (北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ) 9 R C ・261 人を含みます。P 6「日本のロータリー」数は 34 地区合計から P B グループを引いた数。23 年 2 月末 P B グループは 9 R C ・264 人。

地区会員数修正 3 月号横組み P 45 (12 月末) 表中、2750 ・4,552 人、34 地区合計会員数：83,974 人、表外と P 6「日本のロータリー」最終行会員数 83,701 人。4 月号横組み P 41 (1 月末) 表中、2750 ・4,566 人、34 地区合計会員数：84,264 人、表外と P 6「日本のロータリー」最終行会員数 84,005 人。

ご案内 左記一覧表は、3 つの地域順で色分けしてあります。表中の左端の色と、横組み P 48 奥付の日本ロータリー分布図の色を対照し、ご覧ください。

\*『友』ウェブサイトの「ロータリー資料館」にデータ修正後の表を掲載しています。

ロータリーの友  
Home Page  
[www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)

## ロータリーの友

6 月号主要記事予定

横組み ロータリー親睦活動月間

親睦活動グループとは？

～メタルヘッドフェローシップ

縦組み ポストコロナのメンタルヘルスと自殺予防

筑波大学医学医療系 災害・地域精神医学教授 太刀川弘和

この人訪ねて 河原喜平さん (豊田東 R C)



## ◆ お問い合わせは 一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 編集部 03-3436-5958 管理部 03-3436-5956

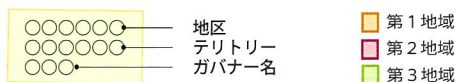
編集部メール [hensyu@rotary-no-tomo.jp](mailto:hensyu@rotary-no-tomo.jp) 管理部メール [keiri@rotary-no-tomo.jp](mailto:keiri@rotary-no-tomo.jp)

ロータリーの友ウェブサイト [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)

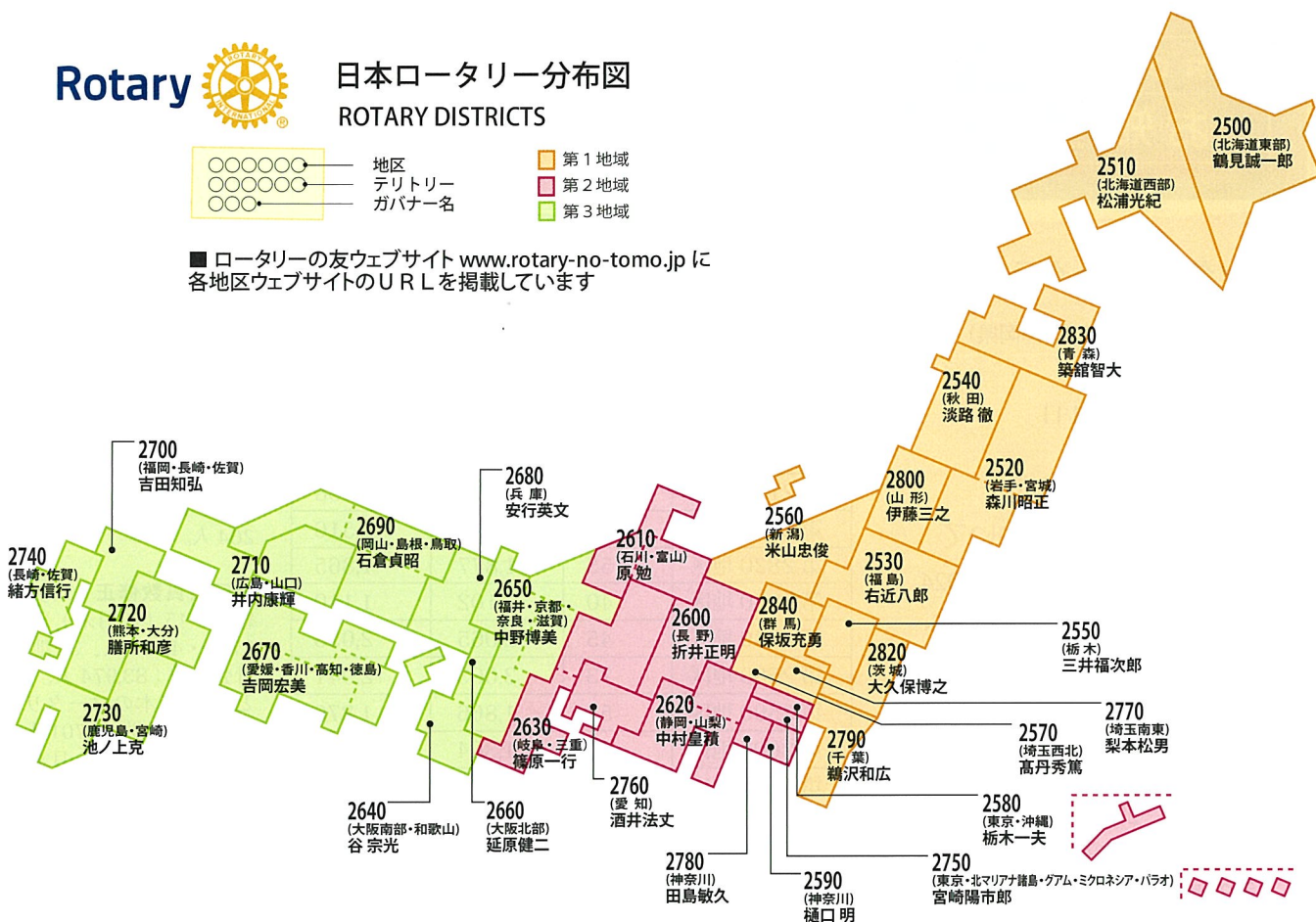




## 日本ロータリー分布図 ROTARY DISTRICTS



■ ロータリーの友ウェブサイト [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) に  
各地区ウェブサイトのURLを掲載しています



### ロータリーの友委員会

委員長 高野孫左エ門 (甲府)  
R1理事 佐藤 芳郎 (岡山南)  
R1理事エレクト 水野 功 (東京飛火野)  
特別顧問 片岡 信彦 (土浦南)  
橋本 長平 (京都東)  
清水 良夫 (横浜)  
片山 主水 (名古屋東南)  
鈴木 宏 (宇都宮北)

|        |                  |                    |                        |                     |
|--------|------------------|--------------------|------------------------|---------------------|
| 顧問     | 久木佐知子 (旭川西)      | 2520 澤田 一幸 (仙台宮城野) | 2840 石原 保幸 (前橋東)       | 2650 山下 尚治 (京都)     |
|        | 黒川 伸一 (富山南)      | 2530 相良 元章 (福島)    | 2580 半場 慎一 (東京新都心)     | 2660 北井 雄大 (大阪平野)   |
|        | 堀川 貴史 (熊本南)      | 2540 村越 正道 (能代)    | 2590 田代 靖之 (神奈川)       | 2670 坂田千代子 (徳島プリンス) |
|        | 石川彌一郎 (東京福生)     | 2550 熊倉 勝 (佐野)     | 2600 西堀 恒司 (松本)        | 2680 入江 智美 (三田)     |
|        | 伊藤 千恵 (東京恵比寿)    | 2560 森 宏 (三条北)     | 2610 吉村 伸成 (白山)        | 2690 和田 史朗 (松江しんじ湖) |
| 相談役    | 神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)    | 2570 田久保真理子 (熊谷)   | 2620 小林 武治 (静岡)        | 2700 梅原 健 (福岡東)     |
|        | 上野 孝 (横浜)        | 2770 坂巻 邦夫 (越谷)    | 2630 名里 貴志 (多摩見リバーサイド) | 2710 山内 恭輔 (広島南)    |
|        | 安平 和彦 (姫路)       | 2790 江上 俊彦 (千葉東)   | 2750 市川 和博 (東京八王子南)    | 2720 武内 真司 (日田)     |
| 地区代表委員 | 2500 佐藤 宗晴 (小樽港) | 2800 三浦孝一郎 (山形北)   | 2760 池森 由幸 (名古屋千種)     | 2730 尾形 栄 (延岡)      |
|        | 2510 斎田 義孝 (小樽南) | 2820 高沢 彰 (水戸)     | 2780 中村 辰雄 (相模原南)      | 2740 小西 研一 (佐世保北)   |
|        |                  | 2830 石川佳子 (青森)     | 2640 中 勇人 (和泉)         | 編集長 野崎 恭子           |

### 月刊 ロータリーの友

第72巻5月号

2024年4月30日印刷  
2024年5月1日発行

定価 275 円  
(本体価格 250 円 送料別)

振込先

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店

口座番号 (普通) 7450015

郵便振替 口座番号 00180-8-694591

### 一般社団法人 ロータリーの友事務所

■社員 佐藤 芳郎 (岡山南)  
水野 功 (東京飛火野)  
栃木 一夫 (東京北)  
宮崎陽市郎 (東京三鷹)  
樋口 明 (神奈川)  
延原 健二 (大阪大淀)

#### ■理事会

代表理事 高野孫左エ門 (甲府)  
理事 片岡 信彦 (土浦南)

理事 橋本 長平 (京都東)  
清水 良夫 (横浜)  
片山 主水 (名古屋東南)  
鈴木 宏 (宇都宮北)  
久木佐知子 (旭川西)  
黒川 伸一 (富山南)  
堀川 貴史 (熊本南)  
石川彌一郎 (東京福生)  
伊藤 千恵 (東京恵比寿)  
横山 武志 (東京北)  
恵川 一成 (大宮シティ)  
羽田 伊助 (東京目黒)

理事 本田 博己 (前橋)  
慶野 茂夫 (小山中央)  
野中 茂 (川崎)  
榎原 一久 (東京池袋豊島東)  
渡辺 剛 (東京みなと)  
野崎 恭子  
監事 宮嶋 康明 (新千葉)  
高野伊久男 (横浜西)

#### ■職員

所長 渡辺 剛 (東京みなと)  
編集長 野崎 恭子  
編集 稲川やよい  
黒野 穰二  
山名 愛  
飯田亜由香  
熊谷健太郎  
新見 圭太  
管理 富澤 美子  
半田 弥生  
草野 淑美

印刷 大日本印刷 (株)  
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)  
表紙題字 加藤光峰  
表紙編集 スタジオ ジャングル・ジム

●落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。  
●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

### 一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階  
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5958 (編集部) / 03-3436-5956 (管理部)  
[hensyu@rotary-no-tomo.jp](mailto:hensyu@rotary-no-tomo.jp) (編集部/本誌の内容・投稿)  
[keiri@rotary-no-tomo.jp](mailto:keiri@rotary-no-tomo.jp) (管理部/購読・注文)  
[www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)





# ご投稿をお待ちしています！『ロータリーの友』投稿規定

## 友愛の広場 ★

エッセーや海外クラブ訪問記、時局雑感など。

原稿：1,000 字以内

写真：あれば添付

## ロータリー・アクト・ワーク ★

ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を写真とともに紹介。活動後 1 カ月以内にご投稿ください。

原稿：150 ～ 600 字程度。活動日を記載のこと

写真：集合写真、カメラ目線の撮影以外で、活動の様子が見える画質の良い写真を添付

## ロータリー俳壇・歌壇・柳壇 ★

1 人 1 カ月にはがき 1 枚 3 句（首）まで。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を記入。歌壇・柳壇は、友ウェブサイトの投稿フォームからも受け付け可。

## 私の一冊 ★

会員お薦めの本を紹介。一般的で、入手可能な市販書籍（絶版、自費出版、投稿者と直接関係する書籍以外）をお願いします。

原稿：320 字以内。原稿と別に書籍名、著者名、出版社、発行年を付記

## うちの子 ★

自慢のペットを写真で紹介。

原稿：100 字以内。ペットの名前を明記

写真：ペットそのもののアップの写真

## パズル de ロータリー ★

2 種類の問題（数独、パズル）を毎号順番に掲載。プレゼント応募の締め切りは原則、発行月翌月の 10 日。

## 内外よろず案内

会員間の趣味の交換、催し物の案内など。

原稿：200 字以内 資料があれば添付

## 声 ★

『友』誌についての感想・意見を紹介。発行月翌月の 10 日締め切り。

原稿：150 字以内 対象記事を明記

投稿方法、その他規定は友ウェブサイトで！

ロータリーの友  
Home Page  
[www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)



★は友ウェブサイトの投稿フォームでも受け付けています

## 情報もお待ちしています！

### NEW GENERATION

ロータリーのプログラムに参加している（参加経験のある）若い人たちを紹介。推薦対象者（インターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生、ライラリアンなど）について編集部へご一報を。編集部から直接、当人へ原稿を依頼します。

### ELEVATE ROTARACT

ローターアクトクラブの取り組みを紹介。地域で活躍するローターアクトクラブをお知らせください。

### 特集記事

ウェブサイトで特集記事の情報を募集することがあります。チェックしてください。

### 『クラブ週報』『クラブ会報』

「卓話の泉」掲載用として、クラブの『週報』『会報』を継続してご送付ください。メール配信のクラブは、メーリングリストに友編集部メール（[hensyu@rotary-no-tomo.jp](mailto:hensyu@rotary-no-tomo.jp)）を加えてください。印刷版のみで発行のクラブは、ご郵送ください。

※投稿原稿は編集部内でリライト、編集させていただきます。また、ひらがな・漢字・用語などは、『友』の表記に統一させていただきます。

※写真ならびに原稿は、友ウェブサイト、広報誌など、（一社）ロータリーの友事務所発行の出版物に掲載する場合があります。

※掲載は、（一社）ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部にご一任ください。誠に勝手ながら、掲載・非掲載の連絡は差し上げていませんが、投稿後 6 カ月をめどにご判断ください。

送り先・お問い合わせ

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15

黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5958

E メール [hensyu@rotary-no-tomo.jp](mailto:hensyu@rotary-no-tomo.jp)

ロータリーの友ウェブサイト投稿フォーム

[www.rotary-no-tomo.jp/form.php](http://www.rotary-no-tomo.jp/form.php)



# 声

## 2月号の 感想

『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい!」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに関するご意見などを紹介します。

### 【対象記事】

特集・平和は学び、知ることから。武田中学校高等学校IACの「ガザ地区とインターアクターの平和交流」(横P 8~9)

### 【感想】

柔道教室を開くとは、良い取り組みだと思いました。交流した翌日に、パレスチナとイスラエルの紛争で一人の友人が亡くなったとあり、本当に平和は大切だと思いました。日本が平和だから良しとするのではなく、平和で幸せな環境を各地につくれるよう働きかけるのも、ロータリーの役目だと感じました。

射水RC 大垣 友和

### 【対象記事】

ロータリー研究会◇「千玄室さん100歳を迎えて」(横P 16~18)

### 【感想】

記事全体の内容はもちろんのこと、「和敬静寂」の意味、解釈が素晴らしかった。

福知山RC 松山 徹

### 【対象記事】

ロータリー研究会◇「千玄室さん100歳を迎えて」(横P 16~18)

### 【感想】

「とにかく100年間生きて振り返ってみると、姿勢を正して前を見る。これが私に皆さんにお贈りしたい一つの言葉であります」。千氏のこの一言を肝に銘じたいと思います。

出雲南RC 秦 正

### 【対象記事】

ロータリーアットワーク◇津山中央RC「子どもたちとアートなベンチ作り」(横P 35)

### 【感想】

地域児童との触れ合いは、とても有意義だと思います。同じ地区内でもあり、津山に行った際は作られたベンチを探してみようと思います。

岡山西南RC 徳田 雅彦

### 【対象記事】

エバンストン便り◇2024-25年度会長テーマ発表(横P 42)

### 【感想】

ステファニー・アーチックRI会長エレクトの、継続と変化のバランスを重視するとの考え方に感銘を受けました。DEIがクラブの活性化に重要である点、改めて認識しました。

山形東RC 太田 貴志

### 【対象記事】

スピーチ◇河村晴久氏の「能の世界の力で、文化の力で、世界を平和に」(縦P 4~8)

### 【感想】

まさに職業奉仕ですね。自国の文化を知ること、素晴らしいこと。学校教育の場でも伝えてほしいものです。

松阪東RC 土井 美香

### 【対象記事】

この人訪ねて◇燕RC・青柳修次さん(縦P 9~12)

### 【感想】

同じ地区の会員であり、支援が広がるよう何ができるか、考えていきたい。

新潟南RC 本田 徹

### 【対象記事】

フッドフォーソート「続・日本酒で乾杯!」(縦P 13)

### 【感想】

お酒が好きで、酒に関するうんちくなども大好きです。徳利とお銚子の話、日本酒の温度ごとの呼び名は初めて知り、引き出しが広がりました。

石岡87RC 中村英一郎

### 【対象記事】

友愛の広場◇西脇RC・井上勝彦氏の「へそ」つながりで友好クラブ締結へ」(縦P 16)

### 【感想】

いいですね。こういった形でのつながり、広がりからの交流は見習いたいですね。

柳井西RC 秋田 健一

### 【対象記事】

卓話の泉◇上田東RC・後藤正直氏の「サクラ」(縦P 20)

### 【感想】

ソメイヨシノはクロンであり、接ぎ木でここまで増やされてきたことに感動しました。

常滑RC 太田 年紀

●本文150字以内。本文とは別に、対象記事名(例:〇月号「友愛の広場」、〇〇さんの記事)とお名前、クラブ名、連絡先を付記しお送りください。詳細は投稿規定または『友』ウェブサイトです!



## 卓話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

## 墓の話

(株) 兵庫石材代表取締役 平山 伸吾

今でこそ墓石を建てるのは一般的ですが、江戸時代中期までは一部の権力者や富裕層が建てるものでした。その後、檀家制度が広まる中、寺と庶民の間に深い結び付きができ、庶民に石の墓が普及していきま

す。墓の形式も、江戸時代は土葬された個人墓が主流でしたが、明治時代になると土地不足や衛生上など多様な理由で、徐々に火葬に変わり、焼骨と一緒に納める今の代々墓の形式となっていきました。

墓を石でつくるようになった一説として、風化しにくいこと、特別な霊力が宿るという考え方があったことなどが挙げられます。墓石には水をいくらかけても結構。周りに草が生えてきたら草取りをしましよ

う。コンクリートや石を敷き詰めたり、草の生えない土に入れ替えたりすることで手入れが楽になります。除草剤や塩をまくと、墓石を傷める恐れがあるため避けてください。骨つぼから出して木綿の袋に入れ替えて納めることでスペースが空き、さらにお骨を納めることもできます。

現在、墓は「墓地、埋葬等に関する法律」で厳しく制限されており、墓地や霊園にしかつくれません。墓を持つ意味の一つ目は、故人を忘れないため。命日や盆などに墓参りをすれば、故人を定期的に思い出せます。二つ目は、遺族の思いを形にするため。お墓を建て法要をすることで、大切な人が亡くなったという現実を受け入れる一助となります。三つ目は先祖を祀るため。今の自分があるのは、先祖の存在があればこそ。墓は、盆や彼岸に感謝の気持ちを伝える場となるのです。

最近話題の墓じまい。そもそも墓じまいとは、絶家、新しく墓をつくり直す、複数の墓の一つにまとめるなど、墓の整理、解体、片付けの際など、昔からあったことです。本来、故人が宿る墓を片付けてしまうのは心もとないはず。墓はできる限り次代へつないでいってはいかがでしょうか。

(第2680地区・兵庫県・甲子園RCにて・同RC(会員))

## 私の一冊

## マイホーム山谷

別府RC 初瀬 克己

かつて「日雇い労働者の街」として知られた東京・山谷は、集う人々の高齢化に伴い「福祉の街」としての性格を強めている。

2002年、山本雅基夫妻はここで民間ホスピス「きぼうのいえ」を創設。10年にはNHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」にも取り上げられる。しかしその後、妻の美恵さんは「きぼうのいえ」を去り、山本さんは18年に理事長を解任され、今は山谷に近い町で生活保護と福祉サービスを受けている。山谷が、山本さん自身にとつての「きぼうのいえ」となった。

山本氏の半生を軸に、山谷の特異性を描き上げた本作。力作が肩を並べる近年の小学館ノンフィクション大賞受賞作の中でも、とりわけ秀逸。私のお薦めの一冊です。

(第2720地区 大分県)



末並俊司 著  
小学館  
2022年4月刊



# うちの子

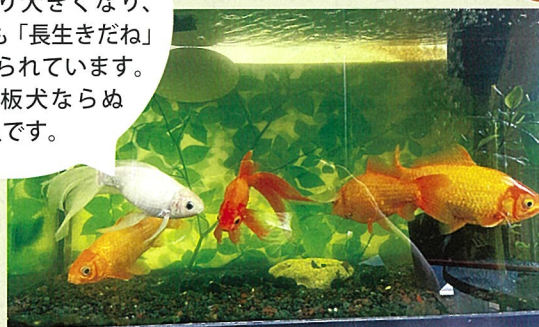
特別版

生後2カ月でわが家に来たフォルテ君。おっとりして優しく、寂しがり屋のうちの王子さま。つぶらな瞳が愛らしい♡いつまでも元気でいてね。



原田 秀一 フォルテ  
(高知南RC) (トイプードル、15歳)

12年前、殺風景だったお店の入り口に金魚を飼い始めました。今ではかなり大きくなり、常連客からも「長生きだね」とかわいがられています。お店の看板犬ならぬ看板魚です。



山崎 尚宗(北海道・岩内RC)

保護犬で、幼少の頃は病弱でしたが、今は元気いっぱい。時々逃げ出すほど、おてんばな女の子です。先日また逃げて探したら、近所の溝の中からこちらを見ていました。



船岡 和正  
(岡山県・津山RC)

柚子  
(雑種、8歳)



シーコ  
(雑種、年齢不詳、8歳くらいです)

こてつちゃんは雷と花火の音が大嫌い。プルプル震えて大変です。5年前から家族になった保護猫のシーコ君。「こてつ姉さん、大丈夫ですか？」と心配しています。思わず笑顔があふれる「わん」シーンです。

吉澤 珠美  
(岩手県・北上西RC)



ふうた  
(雑種・キジトラ、5歳)

1月で16歳になったダンディじいさん。まだまだ元気です。



ダンディ  
(アメリカン・コッカー・スパニエル、16歳)

梅田 千景(和歌山アゼリアRC)

わが家の坊ちゃん、アラン君がやって来た頃の写真。わがままで食いしん坊、でも天然系で癒やし系。たまらなくかわいいです。



アラン  
(ビーグル、生後6カ月)

福島 毅(埼玉県・飯能RC)

阿部 司  
(広島県・三次中央RC)

初対面は5年前の譲渡会。運命の出会いでした。今ではなくてはならない相棒です。ただ彼は気まぐれで、帰っても出迎えはほぼしてくれません。猫じゃらしで遊んでもらうのは大好きです♡

自慢のペットを全国のロータリアンにご紹介ください。ペットの名前、説明文(100字以内)、写真を編集部まで!



学の学びを応用して免疫学や病理学の研究を進め、人を助ける研究開発で社会の役に立ちたいという明確な目標を持っています。礼儀正しく、日本語・英語に堪能な学生です。

講話の内容は故郷のこと、日本の鹿児島で学ぼうと思ったきっかけ、米山奨学生になった経緯と学業のこと、米山事業に携わる日本のロータリーへの感謝。最後は、生物学に携わる者として、希少な動植物・野生生物と共生している奄美の皆さんへの感謝で締めくくられました。

流ちょうな日本語、推敲を何度も重ねたであろう素晴らしい30分の講話に、約120人の奄美3クラブの皆さんから惜しみない拍手が送られていました。ハンさん、そして鹿児島西RCにとっても貴重な機会となりました。地域を超え、人をつなぐ米山記念奨学事業に感謝。

(第2730地区 鹿児島県 広告代理業)

## 米山梅吉氏を巡る旅

瀬戸 小林 稔

1月20(21)日、親睦事業として「米山梅吉氏を巡る旅」を実施しました。まずは静岡県駿東郡長泉町にある(公財)米山梅吉記念館を見学。学芸員から米山梅吉の生涯について展示物、写真などを見ながら分かりやすく解説していただきました。

私自身、「ロータリー米山記念奨学事業」として事業になじみはあるものの、米山梅吉の人となりに関しては正直なところ、あまり知識が

ありませんでした。改めて生涯をかけて成し遂げた功績に触れる良い機会になりました。日本初の東京RC創立をはじめ、三井信託(株)を設立し社会・文化事業をも支援。それにとどまらず、医療・福祉・農業など多岐にわたる尽力されたとのこと。

とりわけ教育には力を入れ、私財を投じて現在の青山学院初等部を設立。「何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ」との彼の願いを感じ取ることができ、後世まで残る大事業を成し遂げた「偉人」に触れる時間となりました。見学後、記念館近くにある彼のお墓にお参りしました。

それから横浜市鶴見区に移動し、米山家のお墓がある曹洞宗大本山總持寺へも墓参しまし



学芸員からの「米山クイズ」に答える会員たち

た。きれいに整備され、赤いカーネーションが  
お供えされていたのが印象的でした。

翌日は、東京日本橋にある三井本館を訪れ、  
記念撮影をしました。小雨が降る寒い日となり  
ましたが、「奉仕の精神」を改めて感じられた  
熱い旅となりました。

まだ訪れたことのないロータリアンにはぜひ  
とも、これらの地を訪問することで米山の生涯  
に触れていただき、日々の活力としてほしいと  
切望します。(第2760地区 愛知県 学校歯科医)

### Annotation

四CCのテスト(The Four-Way Test) 四つの問  
いを中心に、事業と専門職における倫理につ  
いて述べた声明。「真実かどうか」「みんなに公  
平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのため  
になるかどうか」。1932年にハーバート・  
J・テラーにより創案され、43年にRIに  
採用されました。全文は横組みP6参照。  
ハーバート・J・テラー(Herbert J. Taylor  
1893~1978) 1954~55年度R  
I会長。シカゴRC会員。「四つのテスト」の  
創案者。1932年、倒産寸前の会社再建を任  
された時、モラル向上の方法として「四つのテ  
スト」を創案。42年、彼は「四つのテスト」  
を使用する権利をRIに付与、54年のRI会  
長就任時には著作権もRIに譲渡しています。  
東ヶ崎潔(1895~1992) アメリカ・  
サンフランシスコで生まれ、1949年東京R  
Cに入会。1963~64年度RI理事を経て、  
1968~69年度、日本初のRI会長に就任  
しました。国際基督教大学の創立者の一人でも  
あり、「ジョージ」という名で世界中のロータ  
リアンに親しまれました。



うちの子

テディ  
(トイプードル、12歳)



生後1カ月半でわが家の息子となりました。祖母(ティ)と誕生日が一緒、また私がテディベア好きなので「テディ」と命名。着物好きの夫のお召と私の泥太島の残布で、手作り着物を着てお澄まし中！

池田江里子(新潟東RC)

「TRUTH」が「真実かどうか」と和訳されている。「TRUTH」を「真実」と訳しているこの箇所が、唯一違和感を覚えるところであった。なぜか。「言行」としていながら、外面(言行)のことではない、内面(内心)を捉えた(問題にした)ものだからである。

外面的な言行を伴うのなら、むしろ「誠実」と訳すべきではなかったか……と、入会以来思ってきた。一方ではやはり「真実」は「真実」で良かったのだ、と思うときもある。

一つには、唱和するとき「誠実」よりは「真実」の方が発声に力が入るし、響きも良い。そして何より、その行動にうそがあつてはならず、行動の前に熟考せよ、思考を深めよ、との戒めが重要なのだ、と思ってみたり……と。

そうしているうちに、明治末から大正・昭和初期までの社会的世相を考える機会を得た。「四つのテスト」が日本のロータリーに入ってきて和訳された時代背景を考える必要があると思うようになったからである。『修養の日本近代』(大澤絢子著、NHK出版)を読んでさらにその感を強くした。

「大正教養主義」や新渡戸稲造、松下幸之助などが青年教育、社員教育に取り組む姿勢について書かれたもので、当時の日本にも既に「四つのテスト」に似たものはあったのだ、と確信した。そして「まずは自分を高めよう」とすることに、うそはないのだと自身に問え、という意味であれば、やはり翻訳は「真実」が適訳なのだ、と確信した。

最近では、東ヶ崎潔1968—69年度国際ロータリー(RI)会長のテーマであった「参加し敢行しよう！」(PARTICIPATE)の主唱も、「四つのテスト」を踏まえてのものではなかったか、と思っている。なぜか。「参加」も「敢行」も言行の一形態と考えるからである。

(第2520地区 岩手県 行政書士)

奄美に米山奨学生を  
招き、理解を深める

鹿児島県 中馬 輝彦

当クラブがお世話する韓国出身の米山奨学生ハン・オンさんと1月11日、奄美・奄美中央・奄美瀬戸内RCの新春合同例会に参加してきました。



左から福永ガバナー補佐、奄美中央RC上堀内ちあき会長、ハンさん、奄美RC田畑寛行会長、奄美瀬戸内RC町田慶太会長エレクト

きっかけは、昨年5月に宮崎で開催された当地区の地区研修・協議会会場で、奄美RCの福永健一ガバナー補佐から受けた「奄美の合同新年例会で、米山奨学生による講話をしていただきたい」とのご要請。

聞けば、奄美では米山奨学生の招へいが難しいながらも、米山記念奨学事業への寄付を長年継続的に行っており、コロナ禍も終わったので直接米山奨学生に接し、会員と米山記念奨学事業の意義を改めて感じる機会にしたい、と。

ハンさんは、鹿児島大学理学部理学科3年生(当時)で生物プログラムを専攻しています。ソウルの南に位置する120万人都市、世界遺産のある、風光明媚な街・水原市の出身。幼少時から興味を持っていた細胞生物学・動物生理学



生についてお話しいただきました。月に1度ですが、良いことをしている人の話を公共の電波に乗せる、重要な活動と考えています。

なお、和歌山南RCのウェブサイトにも、過去の放送も含めアップしていますので、全国のロータリアンの皆さん、ぜひお聞きください。

(第2640地区 和歌山県 焼肉しゃぶしゃぶ)

ウェブサイト: [www.wminanirc.jp](http://www.wminanirc.jp)



## ポーランドから 右近さんの卓話の実現

八戸 上村 奉樹

「ウクライナ難民の子どもたちの力になりたい」という強い意志を持ち、2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻から3カ月後の5月に、ポーランド西部のプロツワフ市で42日間のボランティア活動をした高校生・右近彩葉さんの記事が、『友』23年5月号に掲載されました。その後、右近さんは大阪RCの支援を受け、第2660地区ロータリー青少年交換学生として、23年9月に再びプロツワフに渡り、1年間の留学生活を送っています。

八戸RCでは、右近さんからじかに話を聞いて見識を深めたいと思い昨夏、大阪RCの杉野利幸幹事を通して右近さんへ卓話を依頼。2月7日にポーランドと八戸をオンラインで結び、実現できました。以下、内容を紹介します。

ボランティアでの渡航時、右近さんはプロツワフにあるウクライナ難民のシェルターで子ども

右近さんの話に熱心に耳を傾けました



もたちを支える活動をしていました。子どもたちは特に日本のお菓자에興味津々で、小粒のラムネ菓子がみんなのお気に入りだったとか。言葉の壁を感じながらも、実りある42日間を過ごしたそうです。

続いて右近さんは、青少年交換学生としての現在の活動を、美しい街並みの写真と共に紹介してくれました。プロツワフには右近さんの他に7カ国からの青少年交換学生がいて、絆をつなぎ、視野を広げながら奉仕の心を育んでいるそうです。

彼女は現地の学校に通いながらボランティア活動を続け、クリスマスには大阪RCの支援により、子どもたちを連れて首都ワルシャワの日本大使館へ。子どもたちは着物を着たり、おにぎりを作ったりした他、折り紙やこまなどを楽しみ、最後には自分の名前が漢字で書かれたプ

レートのプレゼントを受け取ったとのこと。彼ら、彼女らはきつと、いまだ見ぬ日本を大好きになってくれたことでしょう。

年が明けた現在、プロツワフに逃れてきたウクライナ人の大半は帰国しているとのことでした。右近さんはボランティア活動が続けられる場所を探しながら、将来はポーランド国内の大学への進学を見据えています。そして、戦火で家族を亡くした子どもたちを支える活動をしていきたい、という希望を語ってくれました。

ウクライナに関するニュースが日本で報じられることは少なくなりましたが、支援が必要な人はまだ多くいます。八戸RCでも可能な支援を進めていきたいです。今回の卓話実現に尽力くださった大阪RCの杉野幹事に深く感謝申し上げます。(第2830地区 青森県 新聞発行)

## 「四つのテスト」の 「真実」は真実か？

盛岡 下道 利幸

「言行はこれに照らしてから」で始まる「四つのテスト」は、万人の行動指針として、その汎用性においても素晴らしいものだと思う。1932年、アメリカのハーバート・J・テラーによって考案されたものだという。

私もこの指針に出合った時、正直「わが意を得たり」と感じたことを覚えている。仲間と唱和するときは、いつも身の引き締まる思いを抱くのは私だけではないだろう。

だが、その「テスト」の第1の原文「Is it the





オンラインを含め、104人が大集合。全員が例会で顔を合わせることの意義を実感

大願成就に至りました。当日の例会場での出席者は77人でしたが、スペイン、沖縄など、各出張先からオンラインで参加してくれた会員の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

このチャレンジのために、担当理事と私は入念な準備を重ねました。高齢でリアル出席が難しい会員には「この日だけは頼みます。お顔だけでも見せてください」と、会社の方にも協力いただき、画面操作の「このボタンを押す」というところまで指南させていただきました。前日にも全員にメールとファクスで念を押し、いよいよ当日を迎えました。

12時30分の例会開始5分前、姿が見えない会員には「今どこですか戦法」で電話。出張族の

皆さんも次々とオンライン画面に現れ、「全員そろった」と喜んだところで、1人足りません。焦って当人にLINEメッセージを連打する私。どうやら飛行機の到着が遅れていたらしく、私の大量のメッセージに気付いた彼は飛行機を急いで降り、12時50分に画面に登場。ドラマチックな展開で出席報告に間に合い、快挙達成！

このようなチャレンジに否定的な会員もいるのではと思いきや、みな好意的に協力してくれたことは新たな発見で、皆さん真のロータリアンだなと思いました。一番の心配はオンラインがつながらないことよりも、ドタキャンでした。しかし、104人全員が急な来客も体調不良もなく、例会のために集結。「メークアップもあり」ではできない一体感が得られました。

一番の成果は「欠席が続いていままら行きにくい……」と気まずそうだった会員にも、出席してもらった良いきっかけとなったこと。こちら、足が遠ざかっている会員に声をかける良い機会となりました。久しぶりに会えた方が数人いましたが、皆さんうれしそうでした。

今回は4月24日に再度チャレンジをします。年度間2度の偉業達成なるか。準備を万全に頑張ります！（第2690地区 鳥取県 タクシー業）

## ラジオ番組を持つ

和歌山南 北芝 昌明

ラジオ放送が始まり、やがてテレビが台頭してきてラジオは行き場を失うのではといわれま

したが、独特の存在感で衰退することなく残った。今日、インターネットの普及でテレビの凋落が進む一方、ラジオの存在感は変わっていないと思います。

私たち和歌山南RCはラジオ番組を持っています。10年前から月1回、社会や人々に何か良いことをしている方をゲストに招き話していたり、当クラブの会員が出演したり、バラエティーに富んだ発信をしています。

放送局は地元WBS和歌山放送ラジオで、番組名は「人間万歳！」。毎月第4火曜日の午前10時20分から約20分放送しています。聴取エリアは和歌山県全域と大阪南部。遠くは神戸、徳島まで電波が届いているようです。

左写真の出演者は、昨年12月26日放送時の、和歌山信愛大学教授の辻信幸さんです。同大学で行われている和歌山とカンボジアの交換留学



前列左がゲストの辻さん、右は番組パーソナリティ。後列左が筆者



# 友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

## 能登半島地震への支援に感謝

七尾みなと 姥浦 昭二

2024年1月1日、夕方4時10分頃に発生した能登半島地震は、能登半島をはじめとする石川県全域、近隣の福井県、富山県、新潟県に至る広範囲に被害をもたらしました。一瞬にして家族だんらん中の正月気分が吹き飛び、長年見慣れた景色が一変しました。

津波警報の発令により、海沿いの住民は市内の高台へと避難を急ぎましたが、既に道路の至る所が陥没・隆起し、また多くの倒壊家屋の残骸が道路に散乱しており、迂回しながらの避難となりました。

私は幸いにも自宅の被害がわずかであったため、2日早朝から七尾の市街地の状況を確かめに行きましたが、ほとんどの道路が車では通行

できず、やむなく引き返し、被害状況確認のために自分の事業所へ向かいました。事業所の建物（鉄筋コンクリート造および鉄骨造3階建て）自体には大きな損傷は見受けられませんでした。が、事務所内の至る所で書棚が倒壊し、書類が散乱。大きな窓ガラスも破損し、足の踏み場もない状況でした。

被害のなかったパソコンを開くと、すでに遠方の親族や多くの友人、知人から見舞いのメールが届いていました。当クラブが1991年に姉妹提携したアメリカ・カリフォルニア州のカメル・バイ・ザ・シー・ロータリークラブ（RC）の複数の会員、私の娘が青少年交換学生としてカメル高校に留学した時のホストファミリー、同時期にオーストラリアから受け入れた交換学生ジャッキー……。

友好クラブを提携している長野県のあづみ野RC、愛知県の瀬戸北RC、さらに数年前から同じ「みなと」を冠するクラブ同士で親交を深めていた鹿児島県の志布志みなとRCや千葉港RCの皆さんからも連絡が来ていました。

感激の極みはあづみ野RC、瀬戸北RC、志布志みなとRCから早々に多大な義援金と支援物資が届けられたことです。ロータリーの友情、絆、思いやりをひしひしと感じ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。来年ロータリー歴40年を迎えようとしている私にとって「四つのテスト」の「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」を実践された国内外の関係ロータリアン各位に心から敬意を表します。

発災から数カ月が経過しましたが、いまだに

不自由な避難生活を続ける人たちが大勢います。インフラの整備は着々と進んでいます。市内には倒壊したまま放置された建物も多くあります。奥能登では学校が避難所となったり損壊したりしたため、親元を離れて加賀方面で集団学習をしている子どもたちもいます（※3月執筆時点）。

一日も早く元の生活に戻ることを祈り、被災地の一人として老骨（83歳）にむち打ちながら、建築設計・施工という職業を通して復旧復興に向けて日々努力していくことがご厚志を頂いた皆さんの恩に報いることになると、肝に銘じております。（第2610地区 石川県 建築設計）

## 会員104人でホーム100%出席例会達成

米子東 杉本 真吾

2023年11月15日、長年の悲願であった「ホーム100%出席例会」を達成することができました。

当クラブは会員総数104人を数える地区内屈指の大規模クラブ。3人に1人が野球部に所属、親睦を大事にしていることもあってか、恒例のクリスマス会は大変盛り上がりします。

しかし大人数ゆえ会員の入れ替わりも多く、名前と顔が一致しないこともたびたび。「一度は全員で顔を合わせよう」と、過去に何度か全会員100%出席例会にチャレンジしたものの、達成することができませんでした。ですが今年度、佐田山有史会長の号令で一丸となり、



餅つきの夫婦善哉音に声

愛知・名古屋錦 中山信義

餅飾る戦地の子らの顔浮かべ

愛知・名古屋錦 吉田滋代

炊き出しの列を心になづな打つ

奈良 寺田眞佐子

良き名前一人にひとつ賀状書く

大分・日田 梅野啓子

吾よりも若くして逝く這子草

兵庫・西宮 太田 博

故郷の薩摩雑煮を捨てきれず

愛知・西尾 KIRARA 丸目藤二

寒風や豚汁つくるボランティア

千葉・富里 寒郡政雄

街を行く人それぞれに春の色

大阪うつほ 齊藤隆二

狭窄の手術成功春いちばん

兵庫・神戸西 瀧川好庸

髪飾りまでお揃ひの七五三

千葉・富津中央 三枝ふみ代

投稿規定 ◇雑詠 ◇会員、家族、ロータリー家族 ◇一カ月に葉書で一人三句まで ◇締切 二〇日必着 ◇葉書つらにもクラブ名・氏名、電話番号明記 ◇文字明確に ◇『友』俳壇係宛

卒寿こえ杖は足なり愛用の  
ローズウッドの手彫りの温み

東京荒川 井上久子

雨樋を走る雀の足音に  
目覚めし今朝は初釜の日

愛知・豊橋 長屋孝美

夢叶えジブリパークに障がい者  
引率で来る八十路の我は

岐阜加納 鵜飼武彦

山の端のモルゲンロートに輝きて  
静けき冬の朝歩みゆく

徳島眉山 榎原道治

雪しまく山脈トンネル抜け出でて  
おだしき越の平野に入りぬ

埼玉・坂戸さつき 岡部みゆき

思ひでの土筆の茂る散歩道  
今はもうなき遠吠えの犬

熊本中央 波佐間英樹

まっすぐに引いてまっすぐ打つだけが  
できないゴルフ歴二十年

香川・高松 大平 昇

投稿規定 ◇雑詠 ◇会員、家族、ロータリー家族 ◇一カ月に一人三首まで ◇締切 二〇日必着 ◇作品横にクラブ名・氏名、電話番号明記 メール可 ◇文字明確に ◇『友』歌壇係宛

新緑やミント浮かべてハイボール

神奈川東 加野亮一

さわやかな句です。炭酸に浮かぶミントの緑が鮮やかに浮かびます。ああ、ハイボールが飲みたくなります。

古里の廃屋に咲いた雪やなぎ

神奈川東 青柳 紀

私も新潟の実家に親がいなくなりました。誰もいない家なのに健気（けなげ）に咲く雪やなぎ。廃屋との対比がお見事です。

アジの骨喉でも味わい大騒ぎ

福岡伊ブニング 甲斐総治郎

以前、私も魚の骨が刺さり胃カメラのんで、緊急手術したことが。ご飯のみ込んではいけません。すぐ病院に。

誰見ても御光まぶしい白内障

神奈川東 河野明光

実は私も白内障なので分かります。夜、街灯見ると光が十字架みたいに見えるんです。こちららもすぐ病院に。

賽銭をケチり願いは高望み

神奈川東 山木幹夫

「神様、宝くじ3億円当ててください」と願いながらお賽銭（さいせん）はご縁がありますように、とたったの5円。私のことですかね？

週刊誌俺のところは来ないよな

神奈川東 角野弘幸

私も芸能人の端くれです。「あの美人モデルと白鳥が密会？」。あーただの妄想です。テレビに出てなきゃ、週刊誌来ないよな。

投稿規定 ◇雑詠 ◇会員、家族、ロータリー家族 ◇一カ月に一人三句まで ◇締切 二〇日必着 ◇作品横にクラブ名・氏名、電話番号明記 メール可 ◇文字明確に ◇『友』柳壇係宛



## 俳壇

長谷川 權選

天然は無常元日大地震

富山南 升田義次

今年元日、能登半島を襲った大地震。めでたいはずの新年早々、この句のとおり天然は無常にして無情。さらに非情でもある。こんな嘆きも一句にするのが文学。

木の根開けてどんぐりを探すリス

北海道・別海 山口長伸

「木の根開く」とは雪の多い地方の春の言葉。木の幹のまわりから雪が解けはじめること。輪が広がるように。去年埋めたはずのどんぐりを探すリス。見つからないどんぐりもある。

菰巻いていよいよ堂々蘇鉄の木

岐阜西 眞鍋倭文子

菰(こも)を巻かれて、前よりいちだんと立派にみえる蘇鉄(そてつ)。「いよいよ」の原句は「なほも」だった。これだと菰を巻く前と同じくという意味になる。言葉のかすかな違いが大事。

ふぐ刺しの花の形を崩しけり

愛知・名古屋錦 石井弘子

大きな皿に花びらのように広がる河豚(ふぐ)刺し。その「花」を箸で崩してゆく。原句は「つゆなな」。この「つゆ」は河豚(鉄砲)の刺し身のことだが、「なな」が邪魔。

川音の今日からやかに水草生ふ

石川・加賀 折橋紀与美

春になれば大地に草が芽吹くように、川や池の水底では水草が芽を出す。料理に使う芹(せり)やクレソンもそう。軽快な春の川音の調べを聞きたい。

## 歌壇

馬場あき子 選

潮に乗りクルーズ船ゆく須磨浦  
仲麻呂、憶良もこの海ゆきし

兵庫・洲本 長井康洋

潮の流れに乗って日本の国内周遊のクルーズ船がゆく。それを見ている作者も海上から見ているのかもしれない。「この海」という言葉からの感じである。場所は瀬戸内海の須磨浦。この海上ルートを通って大陸に渡った歴史を思い出す。作者は遣唐使・阿倍仲麻呂が唐で終わった人生を思い、山上憶良が大陸文化の教養をもとに『万葉集』の大歌人の一人となったことを思ったのであろう。

三年日記のところでどこに言葉あり  
誰にかたるか母の声する

佐賀大和 古賀くみ子

亡き母の残した三年日記である。日々の叙述体の中にところどころ母の声まで感じられるような会話体や呼びかけ言葉がまじっているのだ。その実感がある言葉の魅力に母を感じている作者がいる。何度でも聞きたい母の声だ。

ボランテアの訓練として豚汁を  
作れば好評おかわりも出る

千葉・富里 寒郡政雄

## 柳壇

三遊亭白鳥 選

寒かったり暑かったりの冬が終わり、やっと過ごしやすくなってきました。でも政治の世界では、ますます雲行きが怪しくなってきました。ロータリーの皆さんはちゃんと税金納めているのになんか腹が立ちますね。こんな時は、楽しい川柳考えて笑いましょう。

天

温燭をしみじみと飲む八代の忌

奈良 田伏薫

八代とは八代亜紀さんのことですね。名曲「舟唄」は、私はまだ売れない二つ目の頃、寂れたスナックで歌いました。先の見えない落語家に、あのハスキーな声がしみじみ染みわたり、やる気になりました。八代亜紀さんは永遠の歌姫です。

地

髻切って故郷のワインでまた勝負

埼玉・入間南 石川伸一

栃ノ心さんのことですね。異国の地で厳しい相撲の世界で大関になるとは立派。引退して、ジョージアのワインでの勝負も勝つでしょう。だって元お相撲さんですから。葡萄(ブドウ)＝「武道」には強いんです。

人

裏金で懐重く破れ落ち

北海道・別海 山口長伸

政治家の裏金問題の句もたくさんありました。何百万も経費をもらい、その上で申告無しのキックバック。そりゃ、どんなに丈夫な懐(ふところ)も破れますよ。真面目に確定申告している国民の堪忍袋も破裂します。



# ア

アメリカ合衆国は漢字で「米国」や「米」と表記されています。

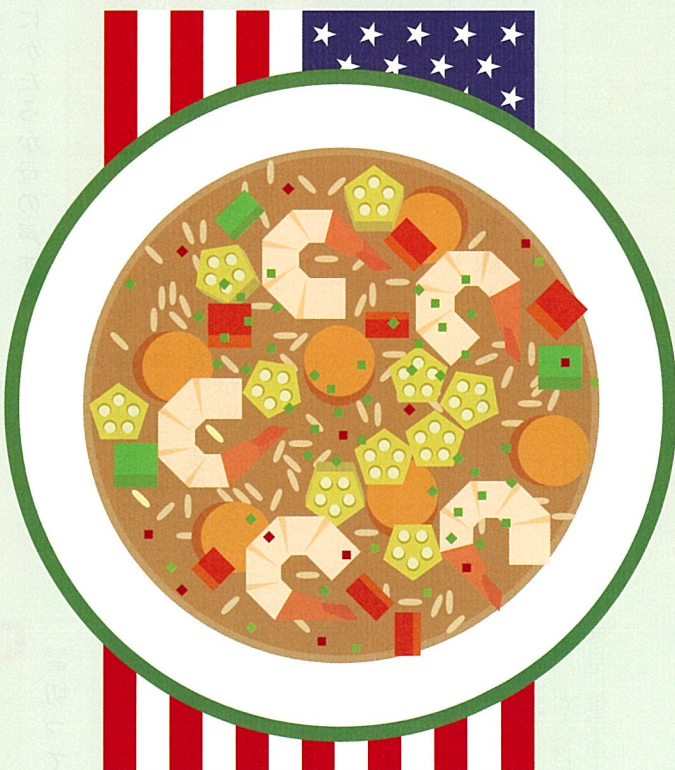
幕末にアメリカの音に対し「亜米利加」と漢字で当てたことに由来しているようですが、なぜ二文字目の「米」を採ったのでしょうか？「亜」は他の国にも使用されていたなど、さまざまな説があるのですが、僕は勝手にこう考えています。

明治期、アメリカから輸入された小麦粉をメリケン粉、国産の小麦粉をうどん粉と呼んでいました。このメリケンとは、アメリカンの音に由来していて、それを「米利堅」などと表記したそうです。つまり、漢字表記の国名にも、明治の食を支えた小麦粉にも使われるほど、日本人になじみ深かったため、「米」の字が定着したのでは、と。

そう考えると、お付き合いの深い国に主食の漢字を当てるのは、理にかなっている気がしませんか？「ハンバーガーの国に『米』はないだろう」という気持ちも分かりますが、米国はおいしい米料理もあるんです。皆さんはハンク・ウイリアムズをご存じですか？1940〜50年代のアメリカのカント

## Food for Thought 日本人とお米のはなし 米国はお米の国？

久保田英男



リーミュージックの大スターです。活躍していたのは僕が生まれる以前ですが、小学生の頃、父のレコードコレクションから彼のアルバムを見つけて、よく聴いていました。生意気な子どもだったんですね、われながら。

さて、彼には「ジャンバラヤ」という曲があり、兄妹デュオ・カーペンターズのカバーでも有名です。このジャンバラヤとは、アメリカ南部の料理で、オニオン・パプリカ・セロリなどの野菜と燻製ソーセージや肉が入ったスパイシーな炊き込みご飯のようなもの。この地方では、ハンバーガーやホットドックに並ぶ定番メニューです。アメリカ

南部は、フランスやスペインの植民地だった時代の影響が色濃く残っていて、ジャンバラヤのルーツもスペイン料理のパエリアにあるそうです。

また、「ジャンバラヤ」の歌詞の中には「ガンボ」という南部の伝統料理も出てきます。僕が初めてニューオーリンズを訪れた時、その記憶がよみがえり、シーフード・ガンボを注文しました。ガンボとは、フランス語でオクラのこと。茶に少し青みが混じった色のシチューのようなスープには、独特なとろみがあり、「なるほど、それでガンボ（オクラ）か」と納得したものです。

食べ進めると、その中からなんとお米が。一口いたくくと、ちょうどご飯にみそ汁をかける、ねこまんまの西洋版という印象。これは少し失礼な表現かもしれないけど、親の目を盗んでも食べたいという僕なりの最大の賛辞です。たちまち大好きになり、現地滞在中は、ほぼ毎日食べるほどお気に入りの一品となりました。ちなみに、オクラは日本語ではなく、英語に由来する外来語です。

このようにお米は、欧米でも身近な食材として親しまれています。例えば、フランスの家庭料理には、お米をミルクで炊いて甘くしたりオレというおやつ

があります。またの名をライスプディングといいます。ちなみにプディングは、イギリスで蒸し料理全般を指す言葉。みんな大好きな日本のプリンは、プディングの一種であるカスタードプディングが元となったスイーツなんです。

その他にもお米と牛乳を使った料理、日本風に言えば、ちががゆ乳粥は、ヨーロッパやアジア、アメリカなど、広域にわたって親しまれているようです。

話を元に戻しますが、さまざまな国や人が入植して建国されたアメリカには、そこで培われ、残り、親しまれていった食文化があります。こうした文化は、交通網やインターネットなどの発達で多様化し、自然環境が劇的に変化するこれからの世界の貴重なロールモデルといえるかもしれません。そうした意味で、今後、お米は食の分野で大切な役割を果たすのでは、と考えるのは僕だけでしょうか。なんて珍しく難しいことを考えたら、おなか为空いてきました。残ったご飯とみそ汁を温めて……おっと失礼、お行儀の悪いことは書けませんので、今回はこのあたりで。

デザイン…加藤英一郎





入試で宮崎大学での例会ができず、夜に開かれた炉辺例会

で感激しました。8年後にその地が東日本大震災で大きな被害を受けるとは想像だにできなかった」

11年8月から支援金や支援物資を送り始めた。12年5月、現地入り。仮設住宅の集会所など8カ所でコンサートを開いた。以降、毎年陸前高田を訪れている。今年も11月に現地でコンサートを予定だ。

16年の熊本地震の時は「チームきりん」を結成。支援金の他に益城町の避難所などで、マッサージや白髪染めなどのボランティアを5年間続けた。能登半島地震では2月に石川県の内灘町に入り、

年内にあと2回七尾市などに行くという。また地震だけでなく、水害のあった広島や岡山、福岡県朝倉市などにも出かけている。

コロナ禍で県外への移動が規制された際は、宮崎県内の生活困窮者や障害のある子どもたちを支えてきた。

都城のコンサート翌日、支援物資を運び入れる作業があると聞いて同行させていただいた。毎月3回は定期的にこうした作業を続けている。

## 支援総額は物資も含め 13年で2000万円超え

最初のお届け先は宮崎市内の医療的ケア児の保育園「ぽると」。普通の保育園で入園を拒否された子どもたちを引き受ける施設だ。仕事に就けない母親の負担は大きい。お米やパンを渡すと、きりんさんの周りに子どもたちが集まってきた。

重度の心身障害児をはじめ、障害を抱えて生きる子どもたちや家族の「てとての会」（日向市）では、会員から困りごとを聞いてランチを共にした。タリバン政権からの迫害から逃れてきた元留学生のアフガニスタン難民（西都市）にはお米とパンそれに乳幼児服を届けた。昨年69歳で仕事を辞めた夫のサポートがなかったら、大変な作業に違いない。毎月きりんさんへ支援金を託している

宮崎市の「バー扇」にも伺った。きりんさんは頂いた支援金を、どこにどのような使ったかを明確にしている。支援先にも、誰からの支援金かできる限り知らせている。バーのトイレの壁には、支援先からのお礼の便りが所狭しと飾られていた。コンサートの収益をはじめ、企業や個人からの寄付を活用し、この13年間で届けた物資や寄付金の総額は2000万円を超えるという。

きりんさんは東日本大震災や熊本地震での支援活動に対して、18年に都城RCから社会奉仕賞を受けた。それをきっかけにロータリーの活動にも興味が湧き、19年に宮崎アカデミーRCを紹介してもらい入会した。

宮崎アカデミーRCは6年前に国立大学法人内で創立された初のロータリークラブだ。例会は月に2回、宮崎大学で開かれる。ランチなし、会費月5000円と聞き、身の丈に合うと入会した。会員は同大学関係者と外部の人が半々だという。

アフガニスタン難民支援は宮崎アカデミーRCの活動の一つで、宮崎大学では「アフガニスタンの現状」コロキウム（討論会）を開いて評判になった。

きりんさんはロータリー歴は5年弱と短い。フェイスブックなどSNSを駆使して、全国のたくさんの方のロータリアンとつながっており、友達は増え続ける一方、ボランティアに加えてロータリーが



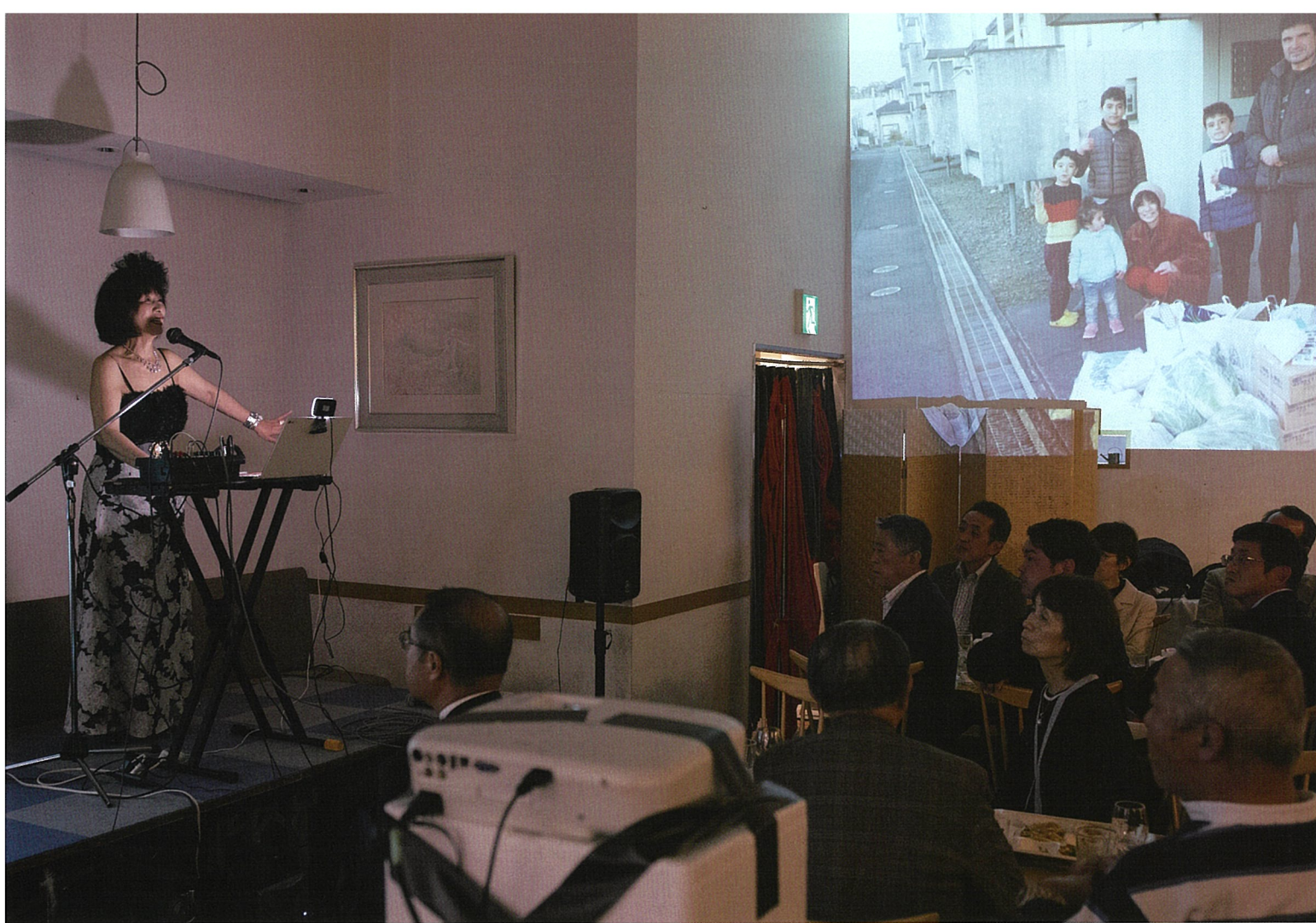
いつも一緒に、きりんさんの活動を支える夫の史人さん

らみの活動にのめり込みすぎて、自分の時間がなくなることもしばしばだ。そんなときに適切な助言をしてくれるのが夫の史人さんである。

「彼女は音楽家だからか、感受性が強い。悲しいことにはすぐ涙を流し、社会奉仕でも困っている人を助けようと夢中になって何でもやろうとする。ですから、横から時々『ほどほどにね』と声をかけています」

勢井由美子 宮崎アカデミーRC会員、音楽家。宮崎県日南市生まれ。1980年宮崎大学教育学部（特音ピアノ科）卒業。女子高の音楽非常勤講師などを勤めた後、88年宮崎県立妻高校音楽教師。宮崎わたぼうしコンサート作曲部門で大賞など受賞多数。2002年から「きりん」の名前でコンサートを始め、2000回を超えた。





子高校（現在の宮崎学園高校）で8年間非常勤講師に就いた。お見合いで会ったのが宮崎県庁職員だった現在の夫、勢井史人さんだ。優しさと誠実さに加えて「声が良かった」ことに引かれて、付き合ってから半年後の1981年秋に結婚、2児（長男と長女）に恵まれた。

実家でピアノ教室をしたこともあったが、結婚7年目に西都市にある県立妻高校の常勤音楽教師になった。この高校でシンセサイザーと出会った。

「クラシックの世界では通用しないので、ピアノからシンセサイザーに逃げたんです」

独学でシンセサイザーを練習し、空オーケストラ（カラオケ）の曲を何曲も作り、作曲もした。筋ジストロフィーで障害のあった子どもたちの詩や文にも曲を付けた。施設で演奏すると好評で、「うちの子どもの詩にも曲を付けて」という依頼が殺到。音楽ボランティア「小枝の会」を作って積極的に作曲した。ファーストCD「明日を信じて」など、これまでに10枚以上作った。作曲はトータルで1000曲近くもしたそうだ。

県立宮崎農業高校で非常勤講師を務めていた時、東京のレコード会社から依頼されてカラオケを作る仕事もした。宮崎わたぼうしコンサートの作曲部門に応募して「わたぼうし大賞」や県知事賞など数年続けて受賞したのもこの頃だ。

「小枝の会」を含むボランティア活動

が地元新聞などに取り上げられた時に、「売名行為だ」とSNSなどで批判されたこともある。ショックだった。以来、勢井由美子という名前はできるだけ出さず「きりん」の名前で活動している。

「きりん」は延岡市主催の若山牧水青春短歌大賞の審査員をしていた俳人の坪内稔典さんが付けた俳号だという。

「私は30代後半から俳句を始めたのですが、俳号はなかった。坪内さんから『勢井さんなら、きりんがいいよ』とポロっと言われたんです（笑）。もう覚えてないでしょうが。坪内さんは動物の名前を付けるのが好きなんです」

それはともかく、きりんさんの活動を知った宮崎県から、教育研修センターで「人権について」講演をしてほしいかとの依頼が来た。人権について詳しいわけではなかったが、映像や自作の曲を使って講演をやり遂げた。すると、県内各地の幼稚園、小中学校や高校から、「うちでも講演コンサートを」

との申し込みが。中には、愛犬祭りでもぜひに、と言われたそうだ。

これも縁だったのかもしれない。2002年に宮崎で開かれた健康な街づくりのヘルスプロモーション全国大会で、短いコンサートをした。視察でその場に陸前高田市役所の人に来ていた。やがてアプローチが。

「陸前高田で03年に行ったコンサートでは、私のCDが200枚以上も売れ



「3・11 & 1・1大震災チャリティーきりんコンサート 命を歌う夕べ」。今回の主人公、勢井由美子さんの演奏会に向かった。3月11日、宮崎空港から高速道路を利用すると、車で1時間弱のイオンモール都城駅前店1階にあるベーカーリー「SAKURA」へ。「きりん」とは歌手で、シンセサイザー奏者、作曲家でもある勢井さんが舞台に立つときの名前である。チケットは完売。80人の観客で会場は満席だった。ビュッフェ形式で簡単な食事をしてから開演した。

彼女がステージに上がると「きりんさん」と声がかかる。地元では知る人ぞ知る人気者のようだ。プロジェクトで東日本大震災の被災地や今年1月の能登半島地震の映像が映し出され、そこに被災者の言葉などがかぶさる。

そこに合わせるように、きりんさんの歌が流れる。私知っている歌は最後の「上を向いて歩こう」だけだったが、映像ときりんさんの歌と語りがうまくマッチして聴く者の心に迫る。ハンカチで涙を拭く人たちもいた。

映像はテレビで流された場面などをきりんさんが編集したものだ。能登半島地震被災地にきりんさんが支援に行った際に撮影した写真もあった。映像と音作りには2カ月以上かかったそうだ。手作りの温かさでいっぱい。

コンサートには、都城ロータリークラブ(RC)会員をはじめ、パストガバ

ナーも複数駆け付けた。その一人、東京の直前ガバナーの嶋村文男さん(東京都江戸川RC)は、この日ベトナムから戻り、成田経由での参加。各地のロータリークラブでも歌われているという「あすという日」を舞台のきりんさんと一緒に歌った。

コンサートの主催者で、きりんさんを全面的にバックアップしている大淀開発(株)社長で、都城RC会員の堀之内芳久さんは言う。

「2015年に都城RCで岩手県の陸前高田に行った時に、宮崎の人が支援活動で頑張っていると聞いて、初めてきりんさんに会った。それ以来、(コロナで一度休んだが)毎年このコンサートをやってもらっている。あの人は災害支援だけじゃなく、子ども食堂や障害者支援、アフガニスタン難民支援などアグレッシブに活動している。あの小さな体のどこにエネルギーがあるのかと思うくらい、いずさきに頭が下がります」

音楽家の肩書以上にボランティア活動で多くの人に知られているきりんさんなのだ。

## 子どもたちの詩や文に 音楽ボランティアで作曲

宮崎県日南市生まれ。父が小学校教員で、へき地での生活もあった。幼い頃から音楽が好きだった。3歳の誕生日に



勢井さんが支援している「te と te の会」(左)と「ぼると」(右上)。アフガニスタン難民支援は、宮崎アカデミーRCの活動の一つ

父に買ってもらった童話の本に付いていた赤いソノシートを毎日何回も聴いていた。きりんさんには4歳離れた脳性小児まひの兄がいた。その兄が同級生にいじめられているのを見ると、

「兄ちゃんをいじめたらダメ」と言ってしまうような勝気な女の子だった。



両親に頼んでピアノを習い始めたのは小学校2年から。スタートは早い方ではなかったが、1日3時間以上練習して上達した。中学・高校でもピアノを続け、宮崎大学教育学部(特音ピアノ科、現在の音楽専修)に進学した。大学では

ピアノの腕がきりんさんより数段上の方がたくさんいて、「音楽の能力はないから、早く結婚してすてきな主婦になりたい」と思ったそうだ。卒業後は私立宮崎女



この人  
訪ねて

勢井由美子

さん

宮崎アカデミーロータリークラブ

弱者支援に飛び回る  
きりんさんコンサート





います。自分たちの地域のため、社会のため、そして、やっぱり自分たちの学びが楽しいので、目を輝かせながら取り組んでいる姿が。

この学ぶことを楽しむ雰囲気、後輩たちにも伝わり、研究を引き継がせていたのではないかと思います。地域にとって良いと生徒が思い付いたことは、どんどん取り入れました。地元で新たに開発された「よっぱらいサバ」も使いました。かつては若狭湾で大量に取れたサバも、今はほとんど水揚げがない。そこで小浜の海で、酒かすを餌にサバを養殖したのです。これを用いれば、地域の技術や水産物の品質の高さを世界へアピールできます。何よりおいしい。

宇宙飛行士の意見も伺いながら、試作を重ねていきました。「硬くてスプーンじゃ食べれない」と言われれば、生徒たちは海に行き、魚を針金でプスッと即殺する神経締めをし、すぐにおろして魚が硬くならないようにしたり。標準的な味付けより濃くして、郷愁を感じられる味にもしました。もし食材が飛び散り、機械に付着すれば、故障の可能性が出てくる。味もさることながら、粘度も必要となり、この粘度は、地元素材・特産の葛根（カゼ）を使って、とこだわりました。

研究は進み、ついに18年11月1日、私たちのサバ缶は、JAXAの定める宇宙日本食に認証され、常食として提供されました。何百ページにも及んだ申請書。

延べ60人の生徒が研究活動を行い、約300人の生徒が缶詰製造には関わっています。

高校生の開発した食品が国際宇宙ステーションで利用されるなんて、世界初の快挙。宇宙食サバ缶には、缶詰の技術の積み重ね以外にも、それを支えた教育改革の積み重ねが詰まっているのです。宇宙飛行士の方には、小浜の海、教育を感じながら、たくさんの方が詰まった宇宙食サバ缶を、食していただきたいと願いました。

ロケット打ち上げの19年9月25日には、種子島の宇宙センターのH2Bロケットの発射をバックに、現地に行った子たちは、自分たちで作った横断幕「鯖街道をのびせ 国際宇宙ステーション」を持っていく姿を、撮らせてもらいました。ロケットに、サバ缶が載ってるんです。かくして、ここ若狭の皆さんの力を集めたサバ缶が、国際宇宙ステーションの宇宙飛行士の食を支えることになりました。なお、宇宙食サバ缶は商品化されています。こちらは生徒による手作りではなく、サバもノルウェー産ですが、味は太鼓判を押します。

## 皆で幸せになるとは？

今後も、活動は継続していきますが、子どもたちの目標は変化するものです。

時代が変われば、目標も変わる。サバ缶を見届けた19年からは、海洋プラスチックごみ対策に、取り組んでいます。「International Microplastics Youth Conference」と題し、世界中の高校生へオンライン上で呼びかけ、プラスチック問題を議論する場です。調査方法を自分たちで開発し、結果をオンラインでディスカッションして対策を考えようとしています。アメリカの学生さんは、公的機関へ請願書を出し、条例を作ってもらったりして実に行動的、とっても刺激を頂いています。

また、「外に出る」ということは、いつもサービスを受ける側にいるだけではなく、与える側にもなるということ。高校生たちは小学校へ出向き、自分たちが教える立場になる活動をしています。心強いのは、大学、地元企業の方々、もちろんロータリーの方々も含めて、高校生のこうした活動のブラッシュアップ方法を議論し、常に私たちを支えてくださっているということです。

サバ缶の貢献から、私も20年に内閣総理大臣の表彰も受け、文科省からも表彰していただきました。

この地域で生きていく、と思った時に、幸せとは何なのかを、きちんと認識した方がいい、という意見を皆さんから頂いていました。今「ウェルビーイング（Well-being）」という言葉が耳にします。とにかく生徒が幸せになる学校づくり、

それにとどまらず地域も一緒に幸せになれたら、を目標に今も進んでいます。

ただし、幸せというものは人それぞれバラバラで、上からの押し付けになってはなりません。でも、幸せになるための努力とは、何かが一致していると思いませんか？

それが何かは、まだ分かりません。分かりませんが、生徒も保護者も教員も、地域も幸せになる学校づくりの中で、常に一緒に、今後も精進していきたいと思っています。

（ホスト 若狭RC）

## SPEECH



福井県立若狭高等学校海洋科学科教諭 小坂康之

1977年生まれ。東京水産大学（現在は東京海洋大学）卒業。2001年 福井県立小浜水産高等学校教諭。13年 同県立若狭高等学校教諭。福井大学教職大学院、福井県立大学大学院生物資源学研究科修了、博士（生物資源学）。文部科学大臣優秀教職員、福井県優秀教職員、授業名人。



と悲しい。「授業」ではないんですね。

聞き取りと、大学の先生方による調査研究で分かってきたのは、学生時代、主体的に取り組んできた対象を、人は大人になっても大事にしているということ。その時に得た経験を、社会で同じような場面に遭遇した時、経験として判断の基準にしているということでした。

ということは、子どもたちの主体的な要素を、教師はいかに良いものに育むか。確かに、サボることを主体にした子は、サボるプロになる。一生懸命貢献することを主体にした子は、その後も貢献する人生を歩む。新しい学校は、自ら調べ、じっくり考えることを、主体的に取り組む子どもたちを育てよう、という目標設定が定まりました。

現在の若狭高校は、2年次から国際探究科と理数探究科に分かれる文理探究科、普通科、海洋科学科の3構成です。探究科の子らは、田んぼの土を掘って地層を調べたり、建物の耐震構造を調査したり、海外にも飛び出して実験します。普通科も、政策提言などをする機会を市町村に与えてもらっています。外に出て、多方面で発表する学校になりました。わが海洋科学科は今、研究に終わらず、経済も視野に入れる研究をしています。全学科が探究活動を行い、進学実績も伸ばしています。

水産高校時代の代々の生徒が重ねてきた探究活動のバトンが、渡せることにな

りました。サバ缶を宇宙食に、という探究が続けられる環境が整いました。

古の鯖街道は宇宙へ届くのか？「産地翔」となるのか？

## 学ぶことを楽しむ雰囲気 後輩にも伝わる

「宇宙飛行士の野口聡一です。皆さんは宇宙日本食ってご存じですか。宇宙日本食とは、宇宙食としての基準を満たしている」と評価、認証された日本の食品のことなんです。なんと、日本初、高校生が開発した宇宙日本食のサバ缶があるんです」「私たちの自作です。野口さん、ぜひ宇宙で食べてください」「ありがとうございます。ぜひ宇宙に持っていきたいですね。

多くの挑戦から生まれる、バラエティー豊かな宇宙日本食とのおいしい出合い。これからも期待しています」

これは、JAXA（宇宙航空研究開発機構）制作動画での会話です。地上400メートル上空に建設された国際宇宙ステーションにいる野口飛行士と、うちの海洋科学科の子どもたちとの会話なのです。日本航空の飛行機の中で、2年ほど前まで流されていたので、ご存じの方もおられるかもしれません。

国際宇宙ステーション。開発に携わったロシア初の宇宙船名は、何と「平和」だったそうです。現在の世界情勢を顧みると、実に複雑。でも、20年のステー

ションではうちのサバ缶をロシア、アメリカ、日本の宇宙飛行士の皆さんが分け合って召し上がりました。「鯖街道とだけ国際宇宙ステーション!!」。長らく終点は京都だった鯖街道も、国際宇宙ステーションに本当に届きました。

この大成功の前、缶詰開発の前。いざ統合してみると、生徒が主体的に製品開発できる授業を計画する、生徒主体の授業内容やカリキュラムの改善がまず必要でした。ひそかに悩む私でしたが「先生、私たちの宇宙食、今度JAXAの方が来て食べてくれるんですよ」と生徒は質問に来る。次第に、学校に、課題研究で学びを深めていこうという、授業改革の風が吹くようになりました。

あとは缶詰開発に集中。06年のHACC取得に始まる長い道のりでした。いくらHACC取得をできても、サバ缶を地元で商品化していても、いざ宇宙食となると、当時は明確な承認基準が示されているわけではなかった。どこにどう、何を提出したらよいかなど、具体的な説明も見つけられず、生徒と一緒に「あ〜分からん。どうしたらいいんだろう」と私は頭を抱えていました。しかし、代々の生徒はいつも前向き。「とりあえず、いろいろ作ってみましょうよ」と明るい笑顔で言ってくるのです。振り返ると、ほとんどの時間は子どもたちの笑顔で埋まっています。子どもたちの主体的で、前向きな姿勢が心に残って



代々の生徒は、いつも明るい笑顔のバトンも渡していました 写真提供 小坂康之



プをはじめ、民間企業に相談に行くのが一番です。「現場」の皆さまの率直な、厳しい意見を聞くこと。教員もまず子どもに声を傾け「こういうふうにしたらどうや」と対話することです。

良い流れができたところ、次は当校ダイビングクラブで「小浜湾アマモマーマイドプロジェクト」を始めました。アマモとは海草の一種で、これが生えているのは、豊かな海である証拠。アマモ場は「海のゆりかご」と称されます。かつては小浜湾内に群生していたアマモを定植しよう、という活動です。今、最先端の「ブルーカーボン生態系」・藻場の保護活動のはしりですね。

活動名は、ここ小浜の「八百比丘尼」という人魚伝説から。アマモは、人魚のモデルともされるジュゴンの餌なのです。わが校を皮切りに活動は広がり、民間の団体もでき、今では市の研究会に発展しています。漁師さんが主体的にアマモを植えるという活動になりました。

## 宇宙へ鯖街道がつながる

生徒たちが育つてくると、水産高校を見る目が変わり、教員も変わりました。探究活動を行う先生が増え、校内も活性化してきました。こんな雰囲気のところ、生徒から宇宙食の話が出てきたのです。始まりは現在、取得が義務化されて

いるグローバルスタンダードの食品衛生基準・HACCP (Hazard Analysis and Critical Control Point)。食品業者自ら異物混入などの恐れを把握し、原材料の入荷から製品の出荷まで、全工程を管理して安全性を確保する衛生管理の方法ですが、実はこれ、アメリカ航空宇宙局(NASA)が開発した、宇宙食を作る食品衛生管理法でもあるのです。

従来の調査法の場合、最終製品の中から抜き取りをします。HACCPは原料の時からチェック。魚を切った段階で、金属探知機をかけチェック。チェックがもう、非常に細かく入ります。でも、エラーが出れば、そのロットだけ排除できるので、会社にとっては面倒ではありませんが、ロス削減もできる。

06年、全国でHACCPの許可を取っている食品工場は、全国で2000カ所もないぐらいで、福井県では3工場だけ。魚を切る包丁の刃欠けなどが混入していないか、私たちは徹底的にチェックを重ね、この年、HACCP取得に成功しました。

その翌年、生徒が「先生、私らのあのサバ缶、HACCPを活用すれば、宇宙食にできるんじゃない？」と言い出しました。面白いな、でも、いくら何でもそんな無理やろな……しかし、子どもたちは「鯖街道とどけ国際宇宙ステーション!!」と題して研究を始めました。これまた、小浜は京都へつながる鯖街道の起点

# SPEECH

であるという歴史が、力になりました。

確かに、缶詰なら魚の骨、カルシウムが丸ごと取れます。骨が弱くなる宇宙飛行士に食べてもらいたい。しかも、福井には缶詰づくりに関して、世界に誇る技術力の高さがある。その技術を宇宙まで届けたい、世界にPRしたい。

ワクワクしました。学校の雰囲気も良くなってきた。教職員も頑張ってきた。地域も応援してくれるようになった。水産高校の課題研究、探究活動いぞ、地産地消の活動もいいぞ。

でも、もう廃校決まってるよね？ それに、進学実績となると全然やし……。

## 廃校ではなく統合 大論争巻き起こる

県は英断を下したと思います。結局13年、廃校ではなく閉校、県立若狭高校に海洋科学科として、水産高校は統合

されました。この時の大論争が、今も教育に生きています。生徒の保護者、地元漁師さん、当然ロータリーの皆さんにも入って議論していただき、この時、海洋科学科の目標設定ができたのです。

実は、教師側としては、進学校と一緒になったことでもあるし、これからは最新の知識とか技術を教えるべき、と考えていました。ところが、地域の皆さんの意見はもっと厚くて幅が広がった。目標設定をしないといけない、と。船に乗るなら、海外とのコミュニケーションが必要だから英語教育、いやいや従来の生徒の興味関心が最優先、育ててきた地域との協働をつぶすな、など私たち教師が想像していた知識・技術ベースのことではない議論が、巻き起こったのです。

元の若狭高校側としては、「うちは進学校やから、その『探究活動』とかいうの、続けたいて言われても無理やで」「なんで地域に生徒出さなあかんや」「進学に関係ないやん」。ただ、当時の若狭高校は、昔ながらの知識詰め込み型でしたから、教育スタイルを変える時節にはありました。

水産高校の探究活動に関しては、卒業生の声が効きました。学生時代、自分が主体的に活動したことは、ものすごく記憶に残っているわけです。皆さんなら、何を覚えてますか？ 従来型の教育を受けてきた人は、文化祭とか体育祭とか部活とかおっしゃる。教師としてはちよっ





若狭湾の海景 写真提供 小浜市

本当に捨ててるやん」「おっちゃん、何か作ってくるわ」と請け負う。

皆、確実に変わりました。学校に帰ってから、小魚はとりあえず煮てエキスを取り、フリーズドライにしてお茶漬けを作ってみました。実はこの時点で、このどうなるかも分からない実験に、ロータリーさんは資金援助してくださっていたのです。でも、信じられないぐらい、ものすごくまずいものが出来上がりました。マスコミ取材があったのですけれど、さすが取材のプロ、「うんおいしい」。

他の生徒からは「下手くそ!」「教員のやらせや」と取り組みの発表会では、ヤジが飛び続けていたそうです。私は必死だったせいか、そんな記憶もまるでありません。けれども、発表者の子はもう、心底きつかったそうです。

## 現場で、膝と膝を突き合わせて地域を探究

一方、高校の110周年記念史をめぐると、開校翌々年の明治29年に「若狭缶」と名付けた缶詰やかまぼこ、ちくわを作り、天皇肝いりの水産博覧会へ、企業と一緒に堂々と出展していたのです。練り製品の原料には、捨てられていた魚を利用したらしい。つまり、地域の課題を外に出ていって解決する、子どもたちの力で地域を活性化する、ということをも明治から行っていた学校でした。

励まされました。記念史には、「膝と膝を突き合わせて地域で探究」という言葉もありました。これは、水産に携わる者ならではの目線です。現場でしゃがんで作業すると、本当に膝と膝が当たります。この言葉には心から感動しました。

課題研究の教育を突き詰めよう、と私は決意しました。次は、網に絡んで困るエチゼンクラゲだ! 煮たり焼いたり蒸したりしていると、何だか白い粉末が周りに付くことに生徒が気付きました。コラーゲンでした。そこで越前松島水族館と連携して、エチゼンクラゲのさくさくクッキーを作りました。すぐく売れました。調子に乗って作った福井名物・羽二重餅への応用は撃沈でしたが……。

1勝1敗、めげずに班単位でチャレンジしていきました。定置網で始まった研究ですから、廃棄される魚を使った雑魚揚げはんぺんの作製。小学校の給食のメニュー開発。小浜のホテルと福井の缶詰会社と連携して作ったサバカレー缶は、今も販売されています。アジからだしを取った「アジの素」は、売る気もない商品だと思えますけれど……。

地域の市場で調査して、学校で整理して考える。子どもたちは学びつつ楽しいな、と思うようになっていきました。教師としては、外での、現場での学びを得て、確実に生徒は成長したという実感がありません。このように、子どもの主体性を生かすには、地域のロータリークラ



小坂康之

福井県立若狭高等学校海洋科学科教諭

Yasuyuki Kosaka

## サバ缶宇宙へ行く 地産地消から地産地翔へ

最初に感謝申し上げたいのは、「宇宙サバ缶」を実現するに当たって、若狭ロータリークラブを中心に、ロータリーからは大変なご協力を頂いているということです。日本の他の学校より半歩、前を進んで活動しよう、と志していますと、正直、先進的な取り組みに関しては資金が……。そんなとき、まさに自分たちの地域から支援を頂けるのは、本当にありがたいことです。

海が好きで、海関係の仕事がしたい、  
と思っていた神奈川育ちの私。ここ、福  
井県の若狭に来たのは、スキューバダイ  
ビングをして、若狭の海に惚れたからで  
した。

若狭の海には、ケヤリムシというきれ  
いな海洋生物がいます。春先になれば小  
魚が群れ海藻が揺れる。岩場、砂地と景  
色に富み、「冬の荒々しい日本海」とい  
う場面もあり、実に多様性に富んでいま  
す。きつと、住んでいる方たちも多様な  
人たちなんだろうな、面白そうなところ  
だな、と思ったのです。

2001年、東京水産大学（現在の東  
京海洋大学）卒業後、私は福井県立小浜  
水産高等学校に着任しました。海に育て  
てもらった自分が、海のことを教え、地  
域の子どもたちに還元したいという気持  
ちで来た、その1日目。ガラツと職員室  
のドアを開けたら「先生、この学校つづ  
れるで」。

明治時代の1895年、日本初の水産  
高校が、10年後をめどに廃校だというの  
です。教員のモチベーションは正直め  
ちゃめちゃ低かった。「どうせ廃校やし」  
「もう新しいことしなくても」。さらに、  
子どもたちも「先生、学校なくなるんや  
ろ」と言っただけでした。

何とか子どもたちを学びの世界、面白  
い世界に連れていくことができないか。  
でも、廃校と決まっていたこともあり、  
その時はいわゆる底辺校。何をしてもう

まくいかなかった。ある先生に相談した  
ら「小坂先生、教室の中だけで頑張らへ  
んでもええのんちゃいますか？ 地元の  
漁師さんから、定置網で魚がたくさん取  
れ過ぎてちよつと困つとる、という話、  
聞いたで」と。少し気晴らし感覚で行っ  
てみたら？という話しぶりでした。

私、水揚げを手伝いました。定置網の  
船にも乗りました。「網はこうやって上  
げるんやで」「若先生、何かこれ、利用  
できへんか」「水深20メートルのところに  
穴が開いててな、助けてくれんか」など  
と、漁師さんと話をするようになりました。  
キラキラした朝焼けの光る海の中で  
の会話。いやあ、これが水産の現場なん  
だ、とすごく新鮮に感じ、本当に面白い  
なって。

網の上げ方一つをとっても、こんなふ  
うに親指で挟んで胸の力で上げるもん  
なんだ、など現場で体験しないと分からな  
いことがある。逆に、困ったことが起き  
た現場の人へ、自分が教科書で勉強した  
ことを伝えればすぐ、「ああそうか」と  
なり、学校の知識は役に立つもんだ、と  
いう発見もありました。

そこで、子どもたちを「現場」に連れ  
ていきました。すると、教室では居眠り  
していたような子が、本当によく動く。  
もう、前のめりになって魚を並べる。漁  
師さんは「捨てる魚、何とかできへんか。  
地域の食材を、地域で食べさせたいんや  
けど」と話す。生徒は生徒で「うわあ、



SPEECH ..... 4 69

## サバ缶宇宙へ行く 地産地消から地産地翔へ

福井県立若狭高等学校海洋科学科教諭 小坂康之

この人訪ねて ..... 9 64

## 勢井由美子さん 宮崎アカデミーRC(第2730地区)

記事・山本朋史 撮影・工藤隆太郎

Food for Thought 日本人とお米のはなし ..... 13 60

## 米国はお米の国? 久保田英男

ロータリー俳壇 ..... 14 59

ロータリー歌壇 ..... 14 59

ロータリー柳壇 ..... 14 59

友愛の広場 ..... 16 57

能登半島地震への支援に感謝

七尾みなと 姥浦昭二

会員104人でホーム100%出席例会達成 米子東 杉本真吾

ラジオ番組を持つ 和歌山南 北芝昌明

ポーランドから右近さんの卓話が実現 八戸 上村奉樹

「四つのテスト」の「真実」は真実か? 盛岡 下道利幸

奄美に米山奨学生を招き、理解を深める 鹿児島西 中馬輝彦

米山梅吉氏を巡る旅 瀬戸 小林 稔

◆うちの子 特別版

卓話の泉 ..... 22 51

墓の話 甲子園 平山伸吾

私の一冊 ..... 22 51

『マイホーム山谷』 別府 初瀬克己

声 2月号の感想 ..... 23 50

## 今月号の表紙 — 多才な障害者アートをお届け

段ボールに色を塗って、サボテンを作りました。  
今まであまり使わなかったクレヨン、  
自分で切るのは苦手なハサミ、  
おなじみの笑顔のお花のついた、  
かわいらしい作品に仕上がりました。

支援スタッフ代筆

四角い鉢は「くるるえびす」さんのビルなんですか?  
段ボールのサボテンの花たちはお友達なのかな?  
みんな笑顔、温かくて楽しくて、まるで家族みたいです。  
アートディレクション・五十嵐仁之



## くるるのサボテン

イラストレーション

渋谷区くるるえびす / T.S. さん  
東京都渋谷区180(W)×150(D)×230(H) mm  
ダンボール、絵の具、クレヨン、サインペン

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階  
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5958 (編集部) / 03-3436-5956 (管理部)  
hensyu@rotary-no-tomo.jp (編集部 / 本誌の内容・投稿)  
keiri@rotary-no-tomo.jp (管理部 / 購読・注文)  
https://rotary-no-tomo.jp



◆横組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。  
◆本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。





## 地区大会は会員が楽しむもの。工夫しました



電子版は毎月1日に最新号公開。  
創刊号から全て読めます。



ロータリーの友

電子版ご利用時の注意

購読のためのID・パスワードはクラブ事務局へご確認ください。

電子版は購読料をお支払いされている期間のみ閲覧いただけます。

[www.tomo-archive.net](http://www.tomo-archive.net)





ロータリーの友

# Rotary

5

2024

May

JAPAN

[www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)

SPEECH

小坂康之さん

**サバ缶宇宙へ行く**

地産地消から地産地翔へ

この人 訪ねて

**勢井由美子さん**

宮崎アカデミーロータリークラブ

